

> IFP50-3 シリーズ

インタラクティブフラットパネル ユーザーガイド



モデル番号: VS18105/VS18106/VS17117/VS17118

P/N: IFP5550-3|IFP5550-3A|IFP5550-3B|IFP6550-3|IFP6550-3A|IFP6550-3B /IFP7550-3|IFP7550-3A|IFP7550-3B/
IFP8650-3|IFP8650-3A|IFP8650-3B

**ViewSonic® をお選びいただき、
ありがとうございます。**

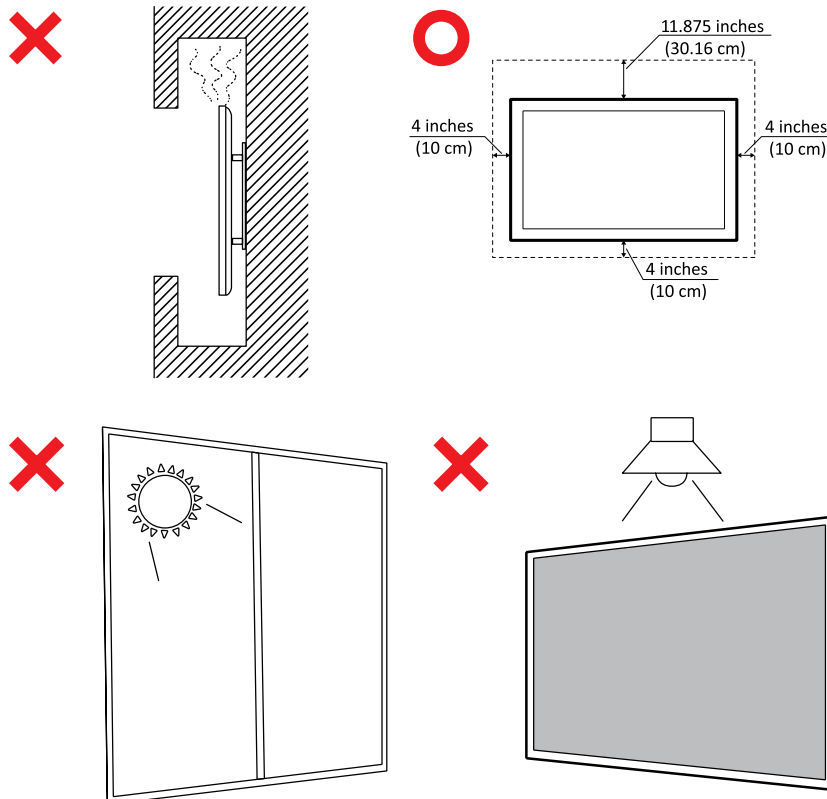
> 安全上のご注意

この製品をお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- 背面カバーを絶対に取り外さないでください。このディスプレイには高電圧部品が含まれています。触ると重傷を負う可能性があります。
- ディ스플레이は直射日光の当たる場所に置かないでください。
- エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。
詳細については、126 ページの「メンテナンス」をご覧ください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。
本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店または ViewSonic® カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
そのままご使用を続けることは大変危険です。
- この製品は、一般的なオフィスでの使用を目的とした LED バックライト付きの液晶ディスプレイです。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 付属品 / アクセサリーはメーカーが指定する物のみをご使用ください。



- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようご注意ください。
- 本製品は、24 時間連続使用を前提として設計されておりません。部品の消耗を加速させる原因や帯電による不具合の原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。
連続使用は 1 日最大約 8 時間が推奨となります。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。また、直接照明を避けてください。



- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
 - » 電源コードまたはプラグが破損している。
 - » 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
 - » 雨や湿気にさらしてしまった。
 - » 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。

> 目次

安全上のご注意	3
はじめに	9
付属品	9
壁取り付けキットの仕様 (VESA).....	10
各部の名称	11
正面パネル コントロールボタン 背面	11
I/Oパネル	13
リモコン	15
ジェスチャの使用	19
オブジェクトの選択と選択解除 (クリック)	19
メニューオプションの表示 (右クリック)	19
ダブルクリック	19
オブジェクトの移動	20
デジタルインクの消去.....	20
上にスワイプして一般設定.....	20
本体の接続	21
外部デバイスの接続とタッチ接続	21
HDMI接続	21
VGA (D-SUB) 接続.....	21
RS-232接続	22
USBおよびネットワーク接続	23
メディアプレーヤー接続.....	24
SPDIF接続	25

ViewBoardの使用	26
ViewBoardの電源のオン/オフ	26
初期起動セットアップ	27
vLauncher-カスタマイズ可能なウェルカム画面.....	29
vLauncherメッセージ	29
アプリケーション	30
ツールバー	32
オンスクリーンディスプレイ - OSDメニュー.....	38
一般設定.....	39
入力設定.....	40
ウィジェット.....	41
設定 - HDMIおよびVGA入力ソース.....	42
音声設定.....	42
画面設定.....	43
ディスプレイ設定.....	44
Blue Light Filter と目の健康.....	45
調整設定.....	47
設定 - ViewBoardプレーヤー	48
ワイヤレスとネットワーク	48
Wi-Fi.....	49
イーサネット	50
ワイヤレスホットスポット	51
VPN.....	52
共有.....	54
SAMBA.....	54
ディスプレイ	56
壁紙.....	57
保護.....	59
環境設定.....	60
タッチ	61
言語選択.....	61
キーボードと入力方法.....	62
日時.....	63
起動モード.....	64
スタートアップとシャットダウン.....	66
ツールバー設定.....	67

入力ソース.....	68
入力ソースの名称変更する.....	69
入力ポート.....	70
アプリ.....	71
アプリ.....	72
システム.....	74
USB メモリへの複製.....	75
ディスプレイ ID.....	76
セキュリティ.....	77
システムアップデート.....	80
本機について.....	81

組み込みアプリケーションと設定 82

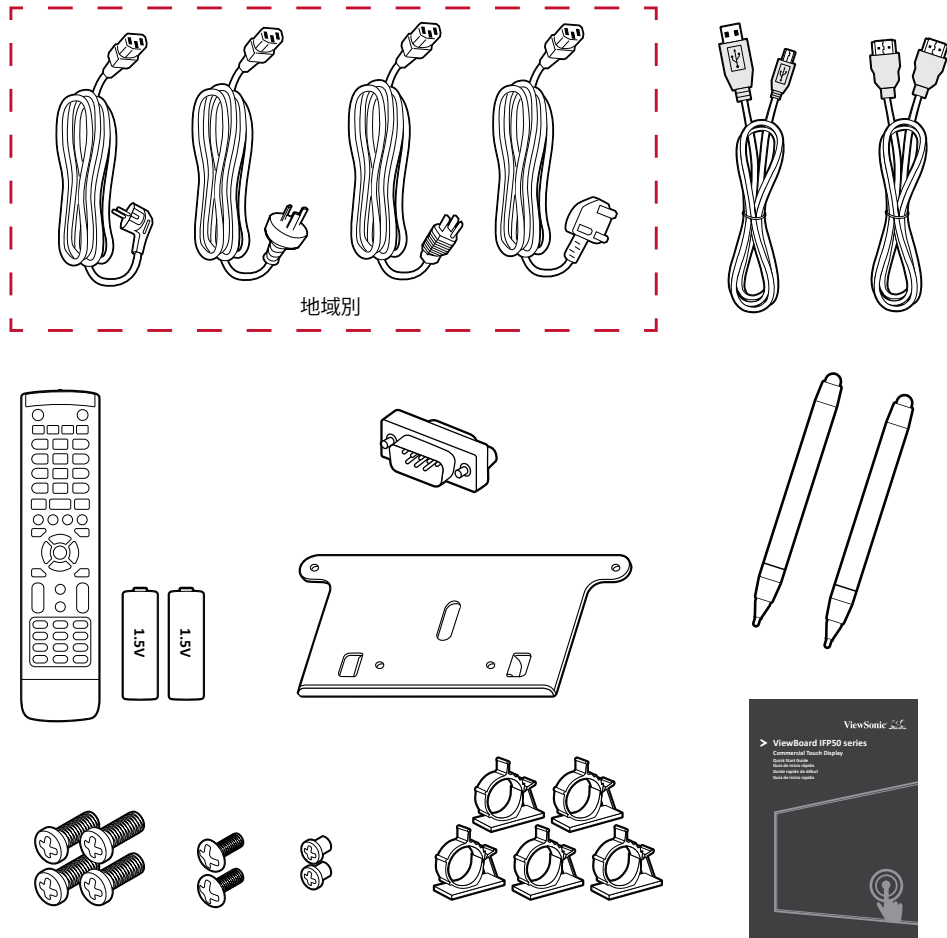
組み込みデジタルホワイトボードアプリ.....	82
myViewBoard Whiteboard.....	82
ViewBoardCast.....	84
Windows、Macbook、およびChromeデバイスから送信者をキャスト.....	85
iOS、Androidモバイルデバイスから送信者をキャスト.....	86
iOS、Androidモバイルデバイスによる操作.....	87
画面レコーダー.....	88
Air Class.....	89
Voter（選択）.....	91
Judge（正誤）.....	93
Responder（解答者）.....	94
Selector（参加者選択）.....	95
Grouping（グループ）.....	95
Message（メッセージ）.....	96
Manager（管理者）.....	96
終了.....	96
その他のデフォルトアプリケーション.....	97
vSweeper.....	97
画面ロック.....	98
Chromium.....	99
フォルダ.....	100
Miracast.....	102

RS-232プロトコル	103
詳細	103
RS-232ハードウェア仕様	103
LANハードウェア仕様	104
RS232通信設定	104
LAN通信設定	104
コマンドメッセージリファレンス	104
プロトコル	105
Set-関数リスト	105
Get-関数リスト	111
リモコンパススルーモード	119
付録	122
仕様	122
ディスプレイモード	123
VGA (D-SUB)モード	123
HDMIモード	123
トラブルシューティング	124
メンテナンス	126
お手入れの際の注意	126
画面のお手入れ	126
ケースのお手入れ	126
規制およびサービス情報	127
コンプライアンス情報	127
FCCコンプライアンス声明	127
カナダ産業省の声明	127
CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)	127
欧州諸国のCE適合	127
RoHS2コンプライアンス宣言	128
ENERGY STAR®に関する声明	129
著作権情報	130
カスタマーサポート	131

> はじめに

付属品

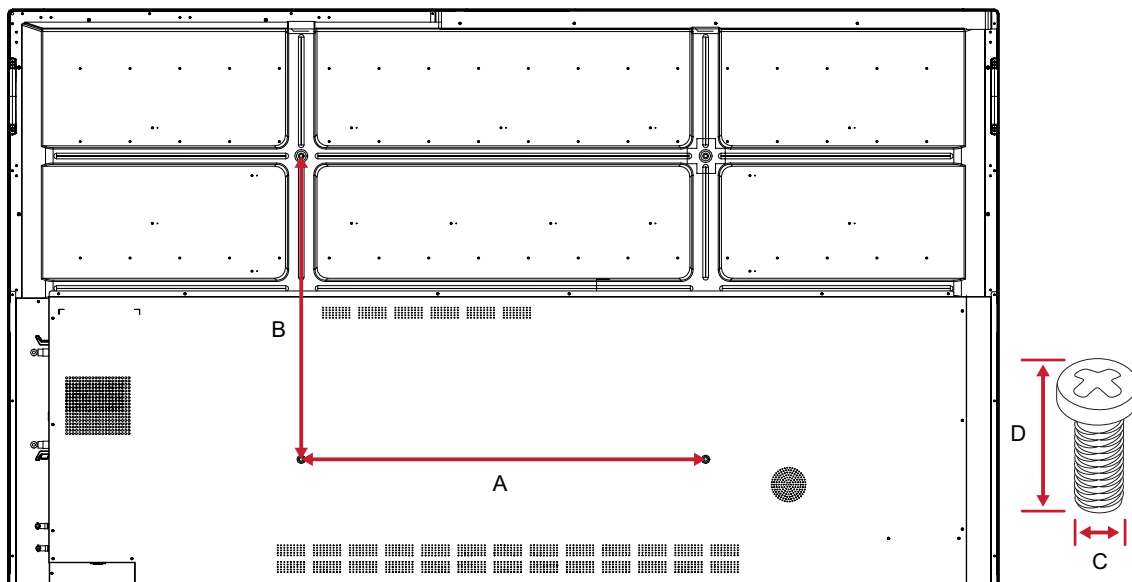
- HDMI ケーブル (3m) x 1
- 電源ケーブル x 1
- リモコン x 1
- 単四電池 x 2
- USB ケーブル (3m)
- ウェブカメラプレート
- タッチペン x 2
- クイックスタートガイド x 1
- RS-232 アダプタ x 1
- クランプ x 5
- ネジ x 8
- 保証書 x 1



注意事項： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。
詳細については、お近くの販売代理店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

壁取り付けキットの仕様 (VESA)

注意事項： 壁取り付けまたはモバイルマウントブラケットを取り付ける場合は、壁取り付けガイドの指示に従ってください。他の建築材料に取り付ける場合は、最寄りの販売店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせくださいにお問い合わせください。

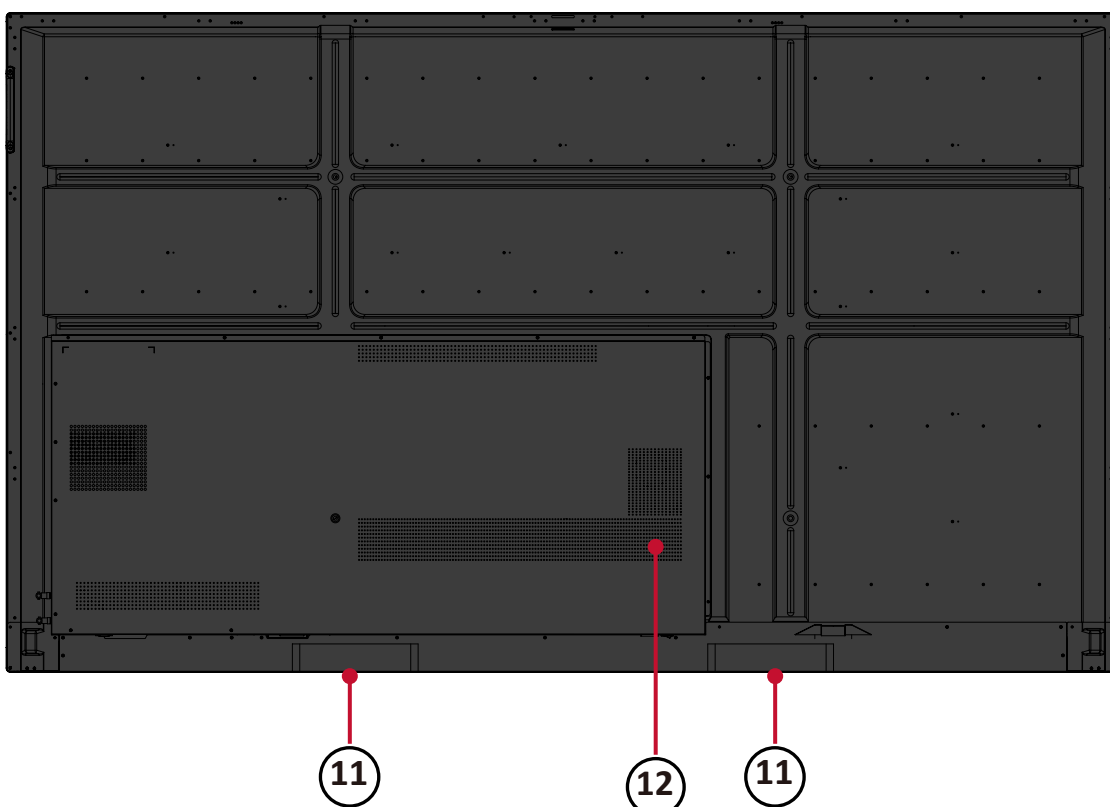
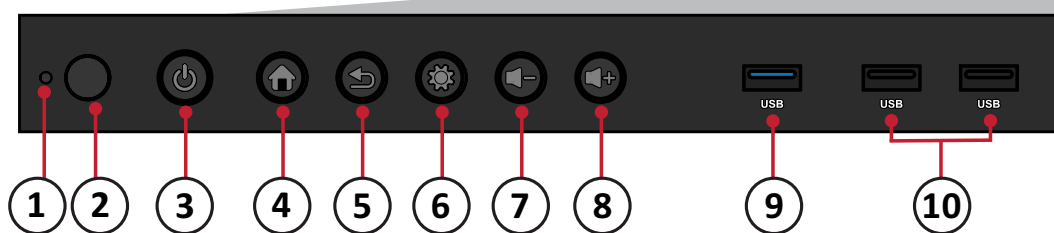


モデル	VESA仕様 (A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
IFP5550-3/A/B - 55"	400 x 200 mm	M8 x 25 mm	4
IFP6550-3/A/B - 65"	600 x 400 mm	M8 x 25 mm	4
IFP7550-3/A/B - 75"	800 x 400 mm	M8 x 25 mm	4
IFP8650-3/A/B - 86"	800 x 600 mm	M8 x 25 mm	4

注意事項： ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、ネジ仕様寸法より長いネジは使用しないでください。

各部の名称

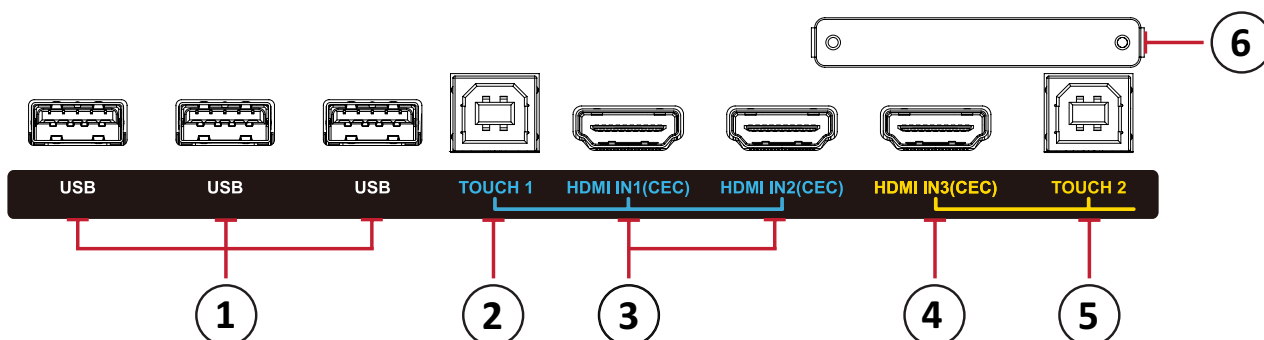
正面パネル | コントロールボタン | 背面



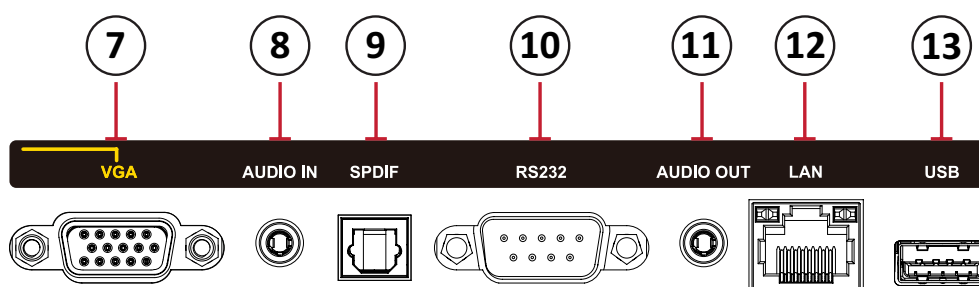
数	項目	詳細
1		電源インジケータ
2		リモコンレシーバー
3		<ul style="list-style-type: none"> 電源のオン / オフを切り替えます。 押して省エネモードに移行します。 2 秒間以上長押ししてスタンバイモードに移行します。
4		ホーム画面に移動します。
5		前の画面に戻ります。
6		<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューにアクセスします。 3 秒間長押しして画面フリーズを有効にします。
7		音量を下げます。
8		音量を上げます。
9	 USB	PC、HDMI、VGA、Android 入力用 USB 3.0 ポート。
10	 USB	PC、HDMI、VGA、Android 入力用スマート USB 2.0 ポート。
11		スピーカー
12		サブウーファー

I/O パネル

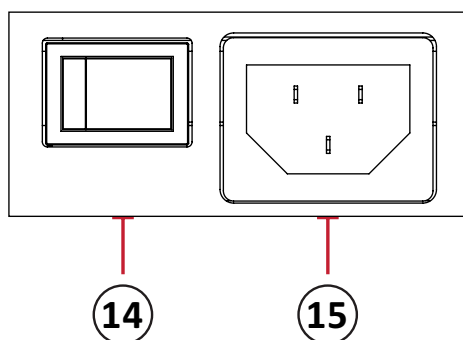
右側面下



前面右下



左下

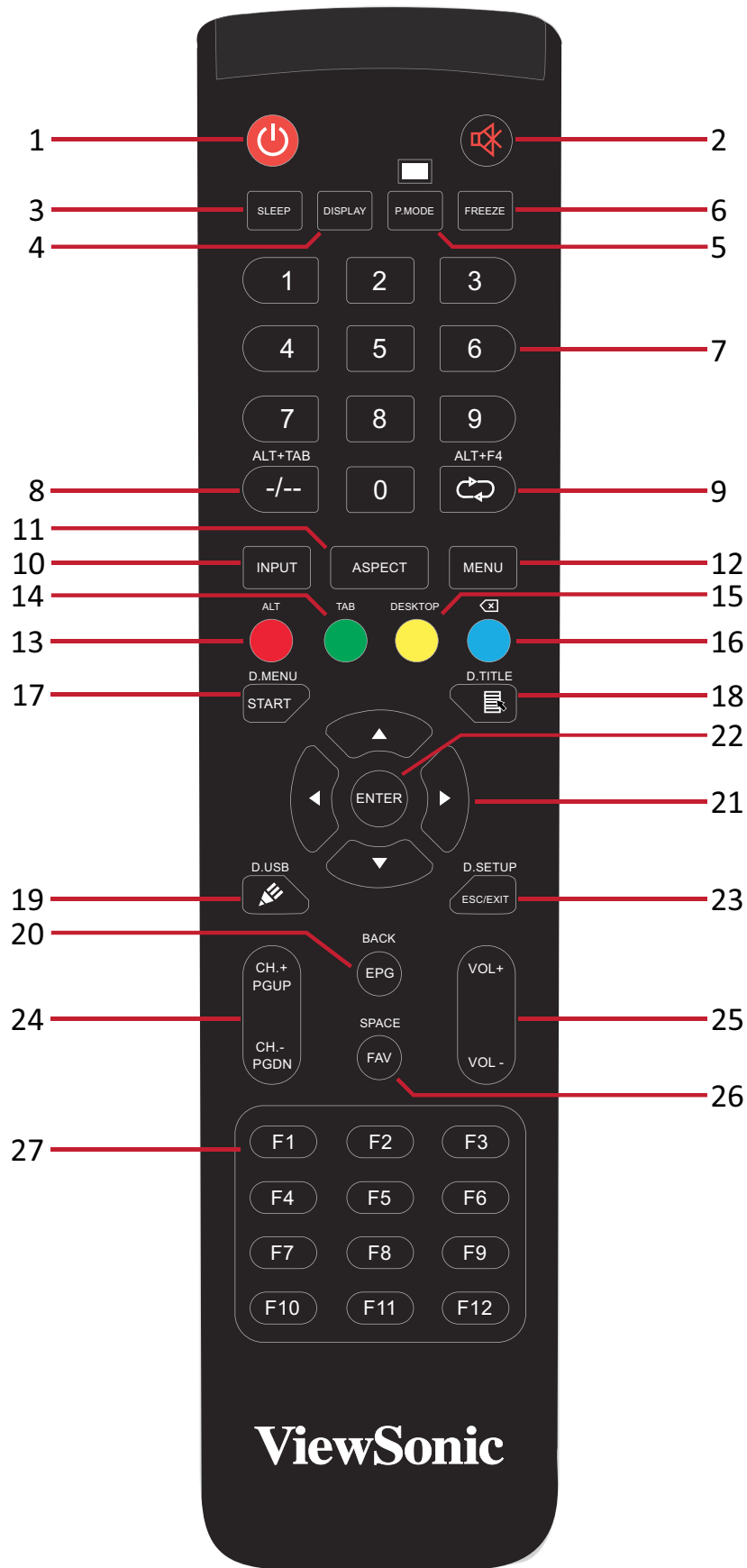


注意事項：

- TOUCH、HDMI、VGA ポートは、色別にグループ化されます。TOUCH 1 を HDMI 1/2 ポートと共に使用する必要があります。
- Android モードでは、USB ポートに対応されていますが、ファイル転送速度はを USB 2.0 のみに制限されます。

数	ポート	詳細
1	USB 3.0	ハードディスク、キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続します。また、スロットイン PC と ViewBoard の使用環境でもご利用することができます。
2	TOUCH 1	外部 PC へのタッチ信号出力。
3	HDMI IN 1/2	高解像度入力ポートです。 外部 PC からの HDMI 入力、セットトップボックス、またはその他のデバイスに接続することができます。
4	HDMI IN 3	(HDMI IN 1/2 をご参照ください)
5	TOUCH 2	(TOUCH 1 をご参照ください)
6	Wi-Fi モジュールスロット	オプションの Wi-Fi モジュールを設置するためのスロット。
7	VGA (D-SUB)	外部 PC からのビデオ入力を接続します。
8	音声入力	外部 PC、外付けデバイスからの音声入力を接続します。
9	SPDIF	光通信を介してマルチチャンネルサウンド機器に接続することができます。
10	RS-232	シリアルインターフェイス、デバイス間のデータの相互転送に使用されます。
11	イヤホン	外部スピーカー / イヤホンへの音声出力。
12	LAN	標準 RJ45 インターネット接続用インターフェイス (PC の場合は 10M/100M/1G、Android の場合は 10M/100M)。 注意事項： このネットワークポートは、内蔵 ViewBoard プレーヤーおよびスロットイン PC に使用されます。
13	USB 2.0	ハードディスク、キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続します。また、USB 2.0 ポートは 5VDC/0.5A 電源出力を提供します。
14	AC スイッチ	AC 電源のオン / オフを切り替えます。 「I」 = 電源オン、「O」 = 電源オフ
15	AC IN	AC 電源入力

リモコン



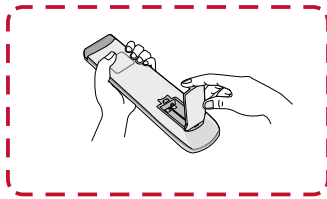
数	項目	詳細
1		電源オン / オフ
2		ミュート / ミュート解除
3	SLEEP (スリープ)	スリープモード
4	Display (ディスプレイ)	非 Android ソースの場合、現在の入力ソースの情報を表示します
5	P.MODE	画面をブランクする
6	FREEZE (フリーズ)	画面をフリーズする
7		数字入力ボタン
8	ALT+TAB -/-	スロットイン PC を使用する場合、スペースバー、Alt+Tab を入力します。
9	ALT+F4 	スロットイン PC を使用する場合、プログラムウィンドウを閉じます。
10	Input (インプット)	入力ソースの選択
11	Aspect (アスペクト比)	アスペクト比を調整し、スロットイン PC を使用する場合はメインインターフェイスに戻ります。
12	Menu (メニュー)	Android の場合は、設定メニューを表示します、その他のソースの場合は、タッチメニュー設定を表示します。
13	赤色 /ALT	画面キャプチャ
14	緑色 /TAB	スロットイン PC の [Tab] ボタンを入力する
15	黄色 /DESKTOP	スロットイン PC のデスクトップに切り替える
16	青色 / 	スロットイン PC の [Backspace] ボタンを入力する
17	START/D.MENU	スロットイン PC の [Windows] ボタンを入力する
18	 /D.TITLE	スロットイン PC の [Menu] ボタンを開く
19	 /D.USB	ソフトウェア設定を保存する
20	EPG/BACK	戻るボタン
21	 /  /  / 	上、下、左、右にスクロールする
22	ENTER	選択 / 状態を確認する
23	ESC/EXIT/ D.SETUP	ダイアログボックスを終了するショートカットキー
24	CH.+ /PGUP/CH.-/ PGDN	CH+: スロットイン PC の場合は前のページに戻る CH-: スロットイン PC の場合は次のページに進む
25	VOL+ /VOL-	音量を上げる / 下げる
26	FAV/SPACE	スロットイン PC の [Space] ボタンを入力する
27	F1-F12	スロットイン PC の F1 ~ F12 のファンクションボタン

注意事項： すべてのスロットイン PC 関連のファンクションボタンは、スロットイン PC 無しではご利用できません。

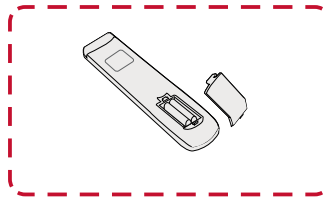
リモコン電池の交換

電池をリモコンに交換するには下図のように従ってください：

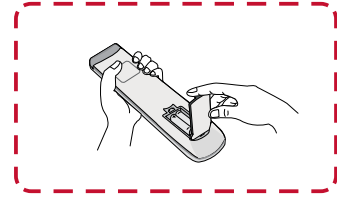
1. リモコンの背面にある電池カバーのグリップを押しながら取り外します。
2. 2本の「単四」電池を取り付けます。電池の「+」極性が電池スロットの「+」と一致することをご確認ください。
3. 電池カバーをリモコンのスロットに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



(1)



(2)



(3)

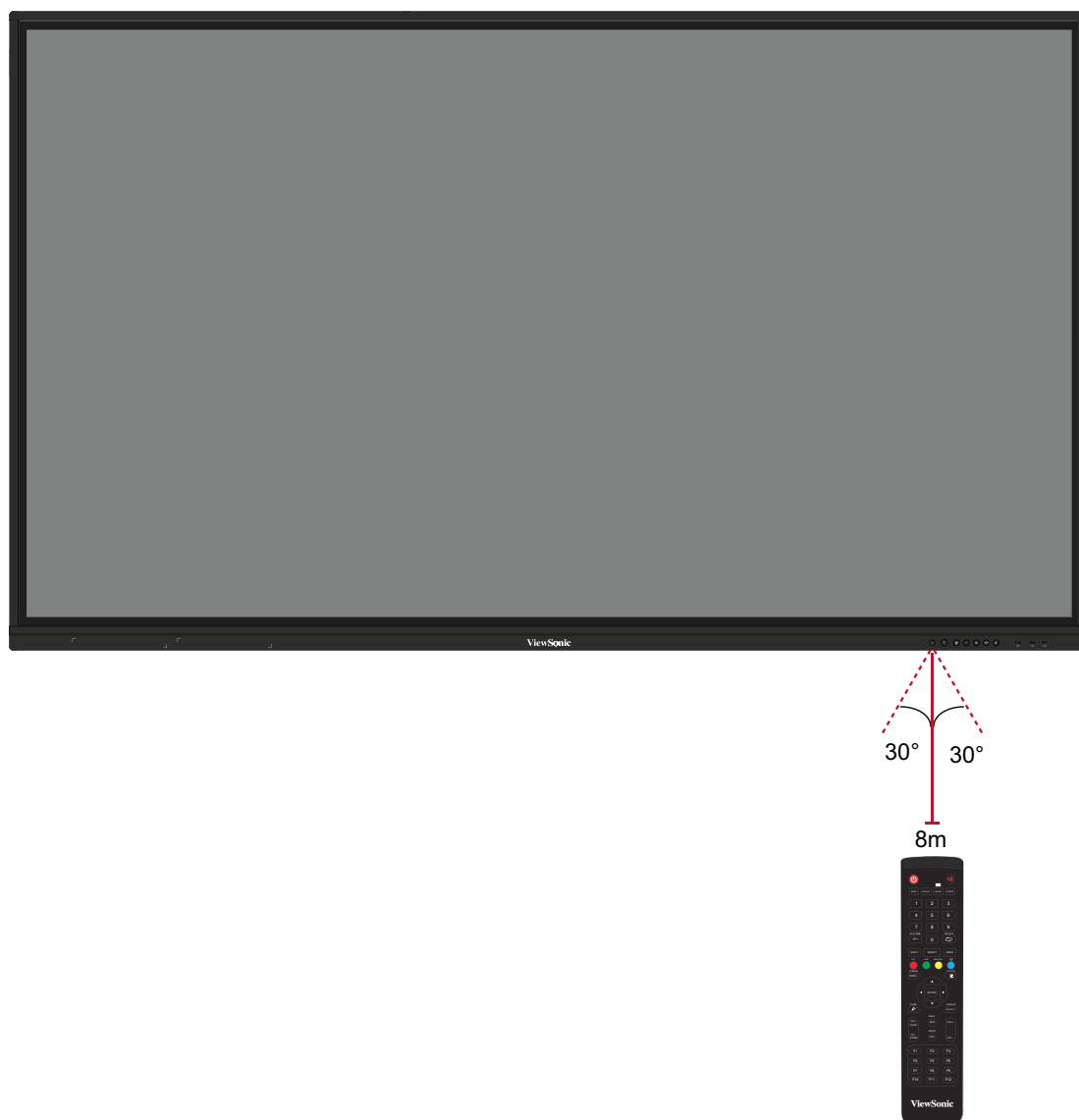
警告： 電池を間違ったタイプに交換すると、爆発の危険があります。

注意事項：

- 単四電池以外の電池は使用しないでください。
- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池が完全に消耗した場合、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

リモコンレーザーの範囲

リモコンの動作範囲を下図に示します。有効距離は 8 メートル、左右 30 度の範囲です。リモコンのレーザーへの信号を妨げるものがないことをご確認ください。

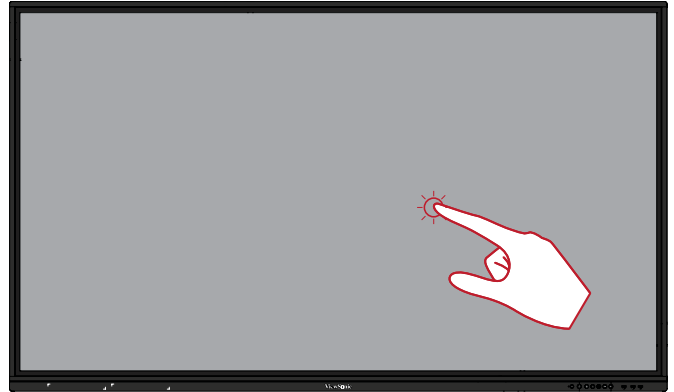


ジェスチャの使用

タッチジェスチャを使用すると、ユーザーはキーボードやマウスを使用せずに、事前に定義されたコマンドを使用できます。ユーザーは、ViewBoard のジェスチャを使用して、オブジェクトの選択 / 選択解除、オブジェクトの場所の変更、設定へのアクセス、デジタルインクの消去などを行うことができます。

オブジェクトの選択と選択解除 (クリック)

ViewBoard を押して放し、オプションまたはオブジェクトを選択 / 選択解除します。これは、標準的なマウスの 1 回の左クリックのように操作します。



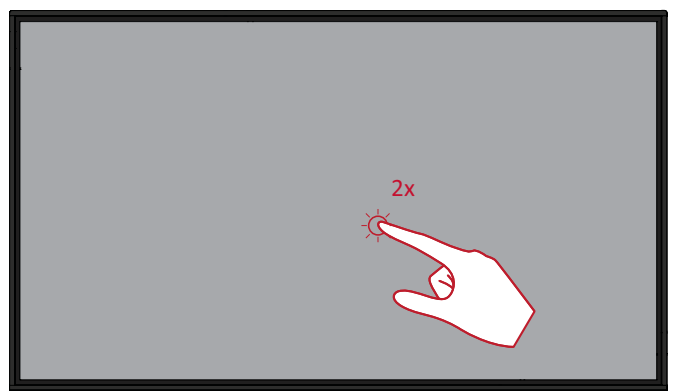
メニューオプションの表示 (右クリック)

ViewBoard を指で押し続けます。これは、標準的なマウスの 1 回の右クリックのように操作します。



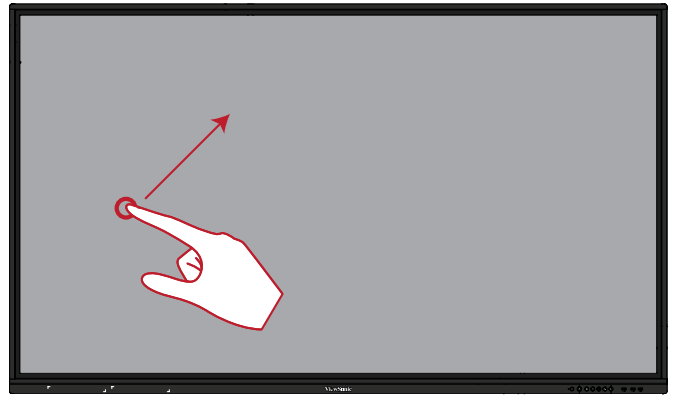
ダブルクリック

ViewBoard の同じ場所ですばやく 2 回押して放します。これは、マウスのダブルクリックのように操作します。



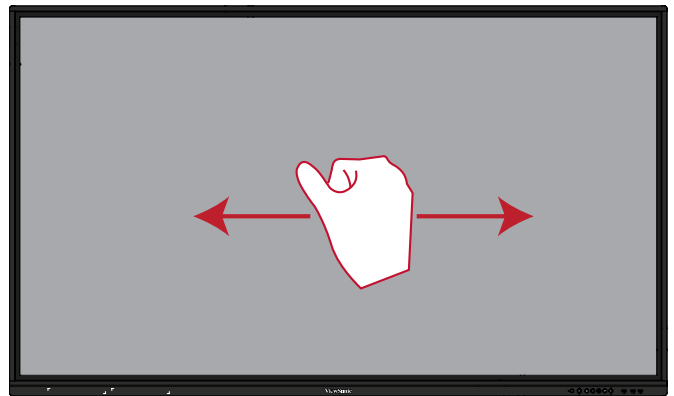
オブジェクトの移動

ViewBoard でオブジェクトを押したまま、指でゆっくりと目的の場所にドラッグします。



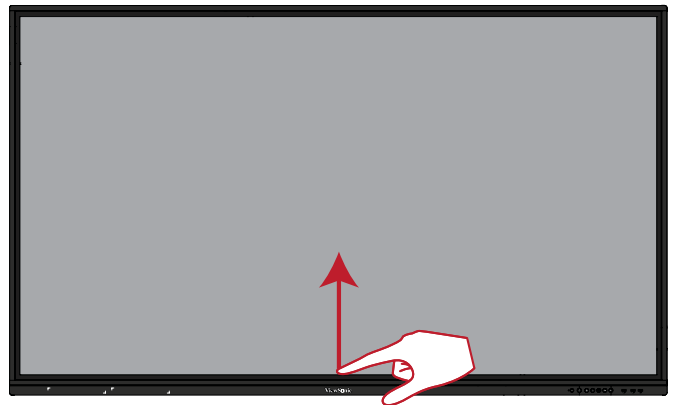
デジタルインクの消去

平らにした手、手のひら、または拳を ViewBoard で使用し、消去したい領域を横切って手を動かします。



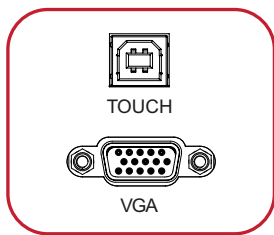
上にスワイプして一般設定

ViewBoard の下から上にスワイプして、一般設定を表示します。
詳細は、58 ページをご参照ください。

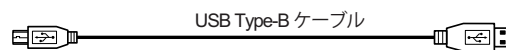
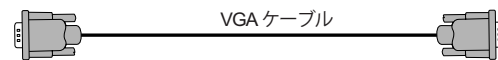
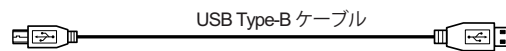
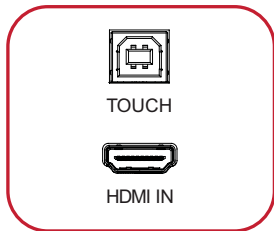


> 本体の接続

外部デバイスの接続とタッチ接続



または



外部デバイスは、次の構成のいずれかで接続できます。

HDMI 接続

HDMI 経由で接続するには：

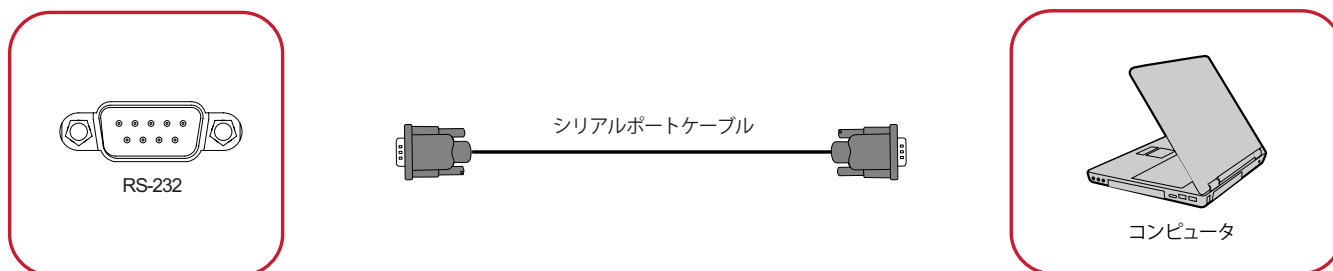
1. HDMI ケーブルを使って、外部デバイスを ViewBoard の HDMI 入力ポートに接続します。
2. USB ケーブルを使って、ViewBoard の TOUCH 1 ポートを外部デバイスに接続します。

VGA (D-SUB) 接続

VGA ケーブル経由で接続するには：

1. VGA ケーブルを外部デバイスから ViewBoard の VGA ポートに接続します。
2. USB ケーブルを使って、ViewBoard の TOUCH 2 ポートを外部デバイスに接続します。

RS-232 接続



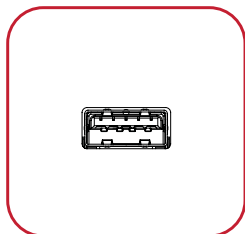
RS-232 シリアルポートケーブルを使用してディスプレイを外部コンピュータに接続すると、電源のオン / オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能を PC からリモートで制御できます。

USB およびネットワーク接続

パソコンのように、さまざまな USB デバイスやその他の周辺機器を ViewBoard に簡単に接続できます。

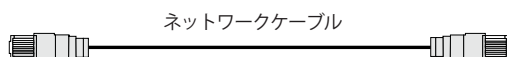
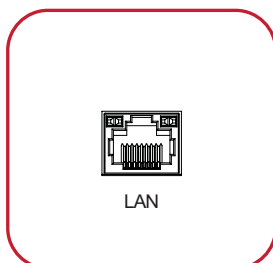
USB 周辺機器

USB デバイスカーブルを USB ポートに接続します。

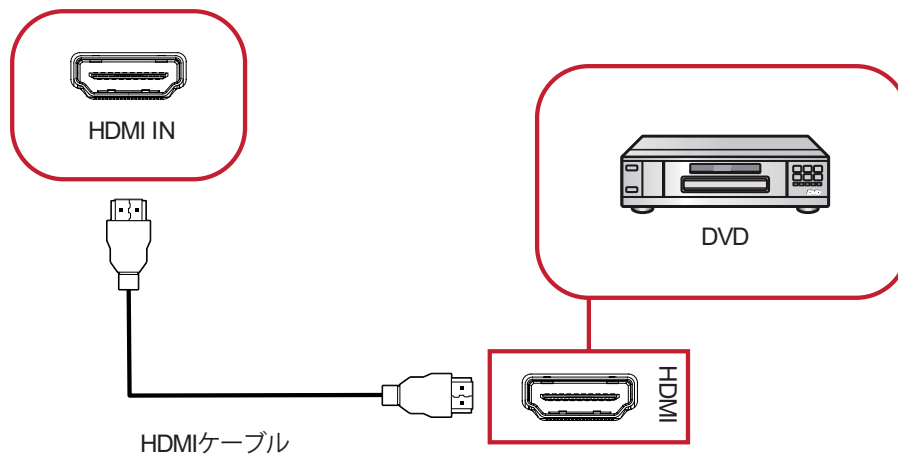


ネットワークおよびモデムケーブル

ネットワークケーブルを LAN ポートに接続します。



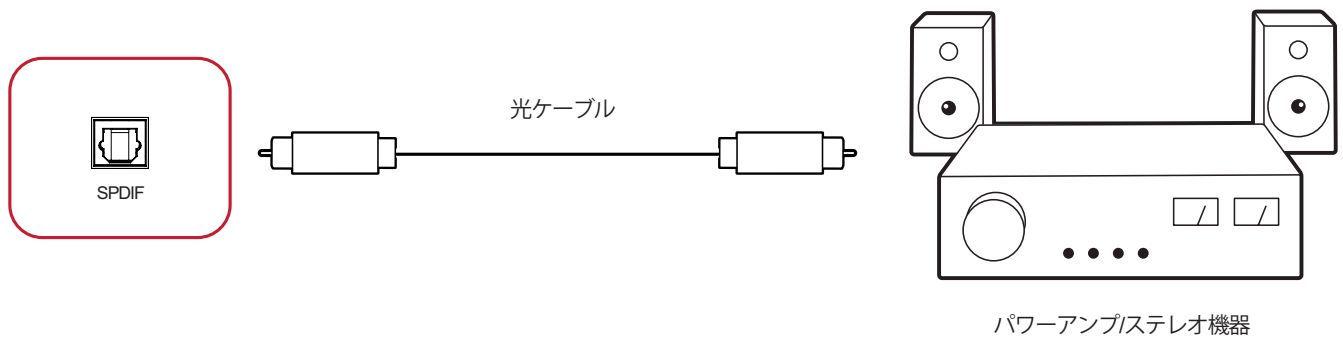
メディアプレーヤー接続




メディアプレーヤーに接続するには：

1. HDMI ケーブルを ViewBoard および周辺機器の HDMI ポートに接続します。
2. ViewBoard の電源コードを差し込み、電源スイッチをオンにします。
3. ViewBoard の右側にある電源ボタンを押して画面をオンにします。
4. リモコンの INPUT ボタンを押して、「HDMI」入力ソースに切り替えます。

SPDIF 接続



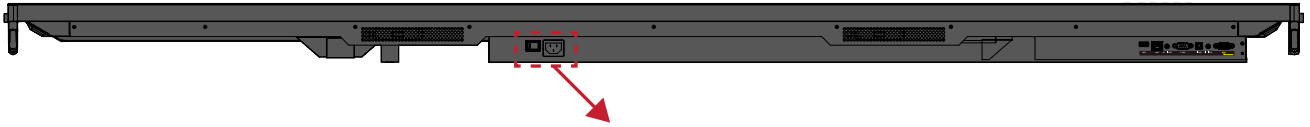
外部サウンドシステムに接続するには：

1. SPDIF ポートからサウンドシステムの光コネクタに光ケーブルを接続します。
2. ViewBoard の電源コードを差し込み、背面の電源スイッチをオンにします。
3. ViewBoard の右側にある  電源ボタンを押して画面をオンにします。

> ViewBoard の使用

ViewBoard の電源のオン / オフ

1. 電源コードが接続され、電源コンセントに差し込まれ、電源スイッチが「オン」の位置にあることを確認します。



AC 電源入力とスイッチは、
本体の下部にあります。

2. 電源ボタンを押して、ViewBoard をオンにします。
3. ViewBoard をオフにするには、電源ボタンを長押ししてください。

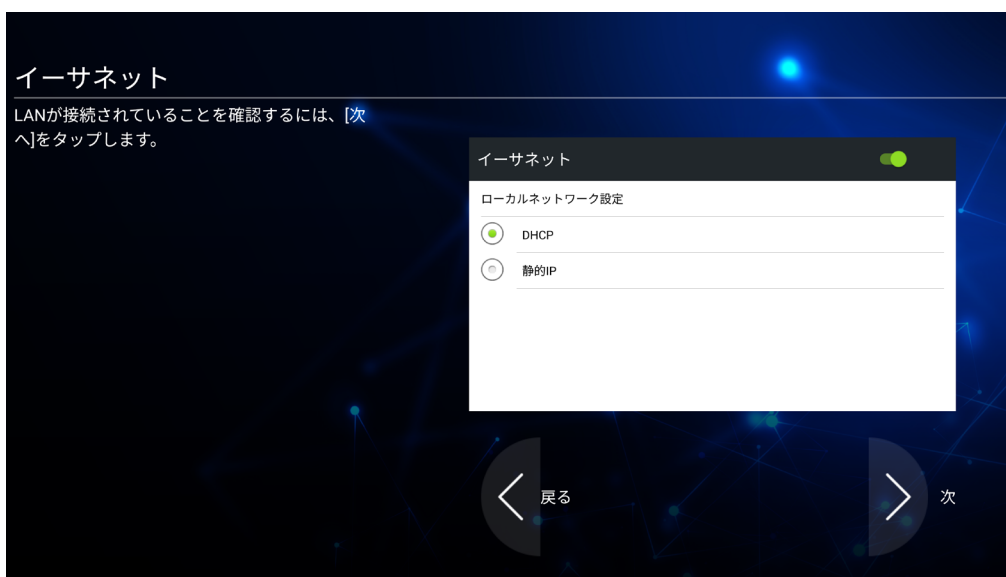
初期起動セットアップ

ViewBoard を最初にオンにすると、初期セットアップウィザードが起動します。

1. 言語の選択:



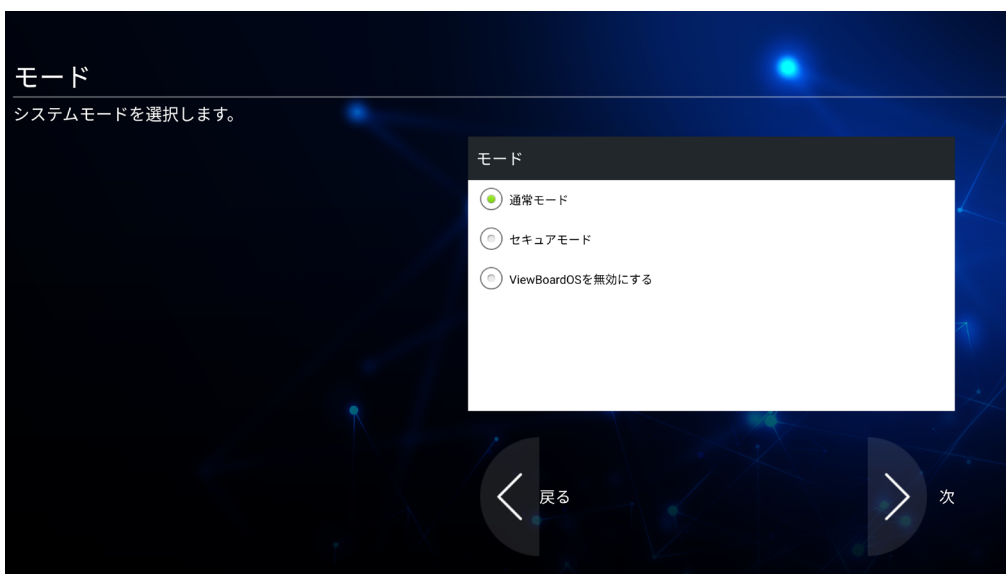
2. LAN 接続の設定と確認:



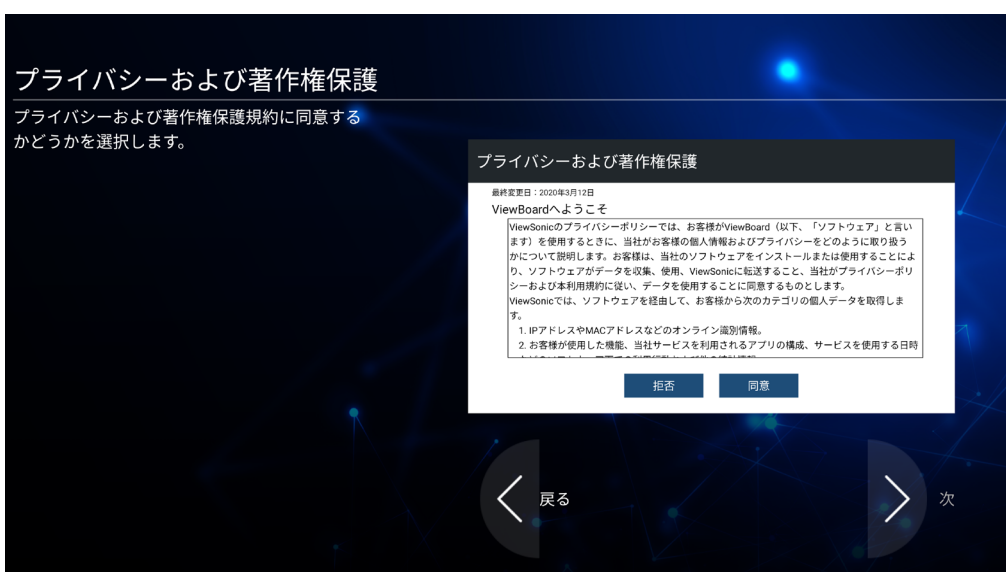
3. タイムゾーンを選択して日付と時刻を設定します。



4. ご希望のシステムモードの選択:



5. プライバシーと著作権保護の条件に同意するか拒否します。



vLauncher- カスタマイズ可能なウェルカム画面

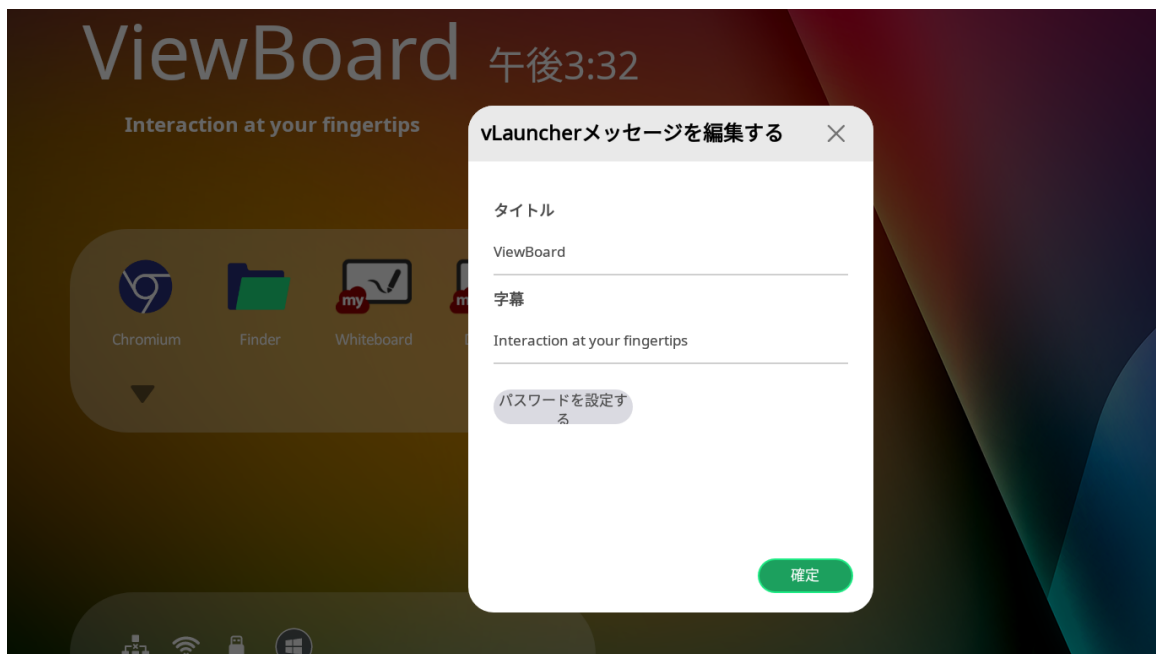


vLauncher メッセージ

vLauncher のタイトルとサブタイトルはどちらもタップすることでカスタマイズすることができます。



さらに、パスワードの設定をタップしてパスワードを設定できます。

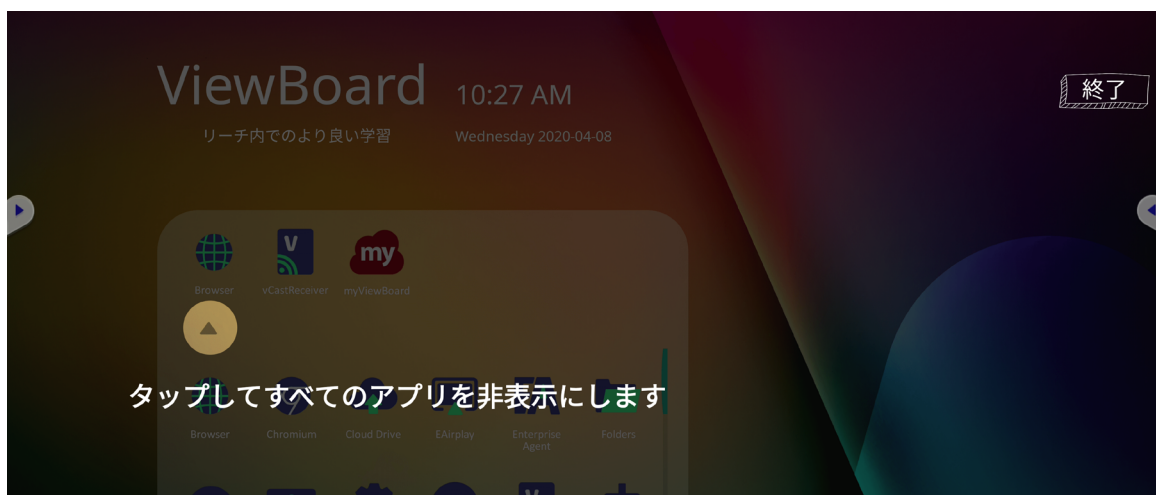


アプリケーション

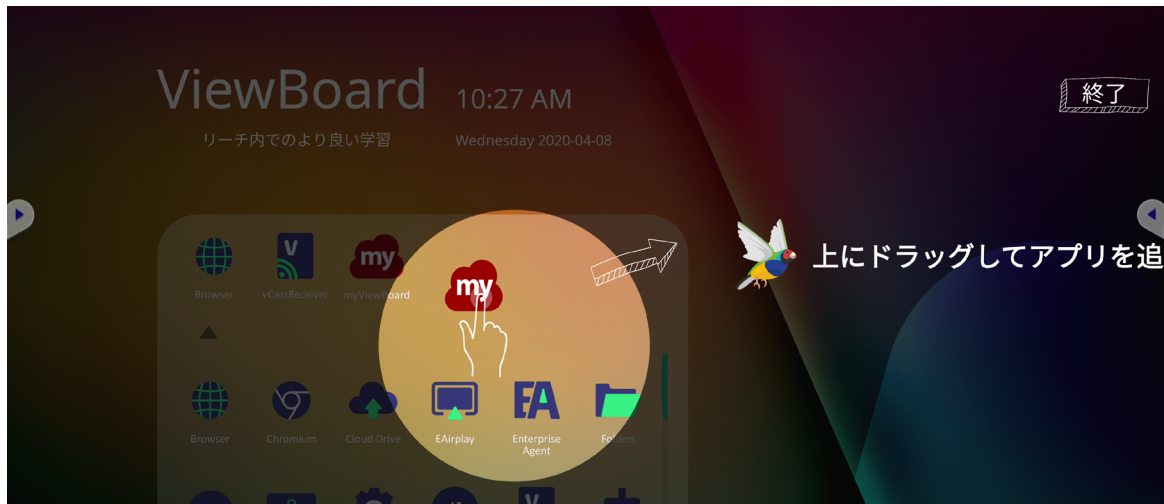
インストールされているすべてのアプリケーションは、ようこそ画面に表示されます。また、下矢印アイコンをタップすると、すべてのアプリケーションを表示します。



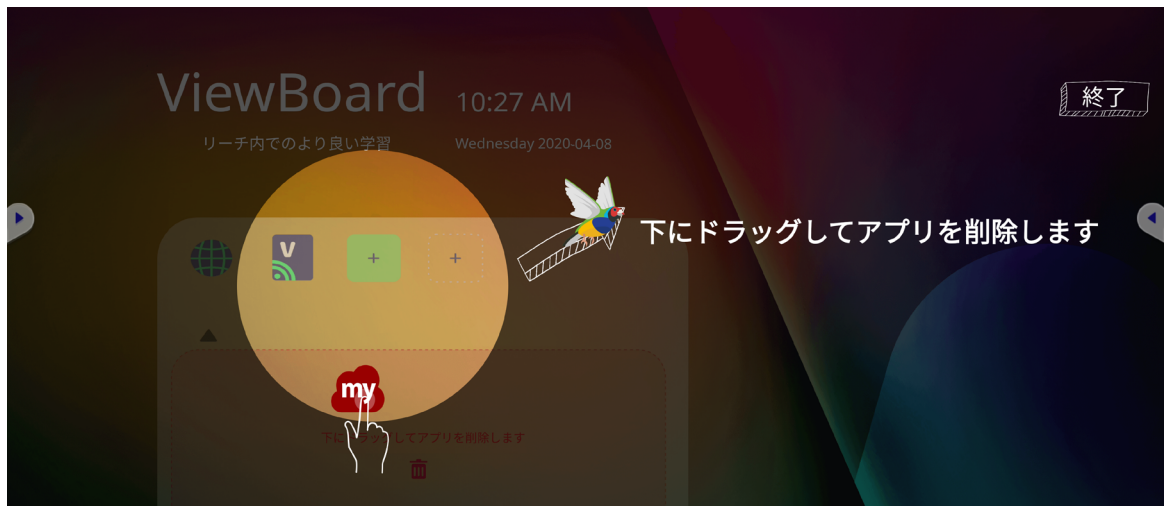
アプリケーションエリアを非表示にするには、上矢印をタップします。



アプリケーションをショートカットエリアに追加するには、追加したいアプリケーションアイコンをタップして、押したまま上にドラッグします。

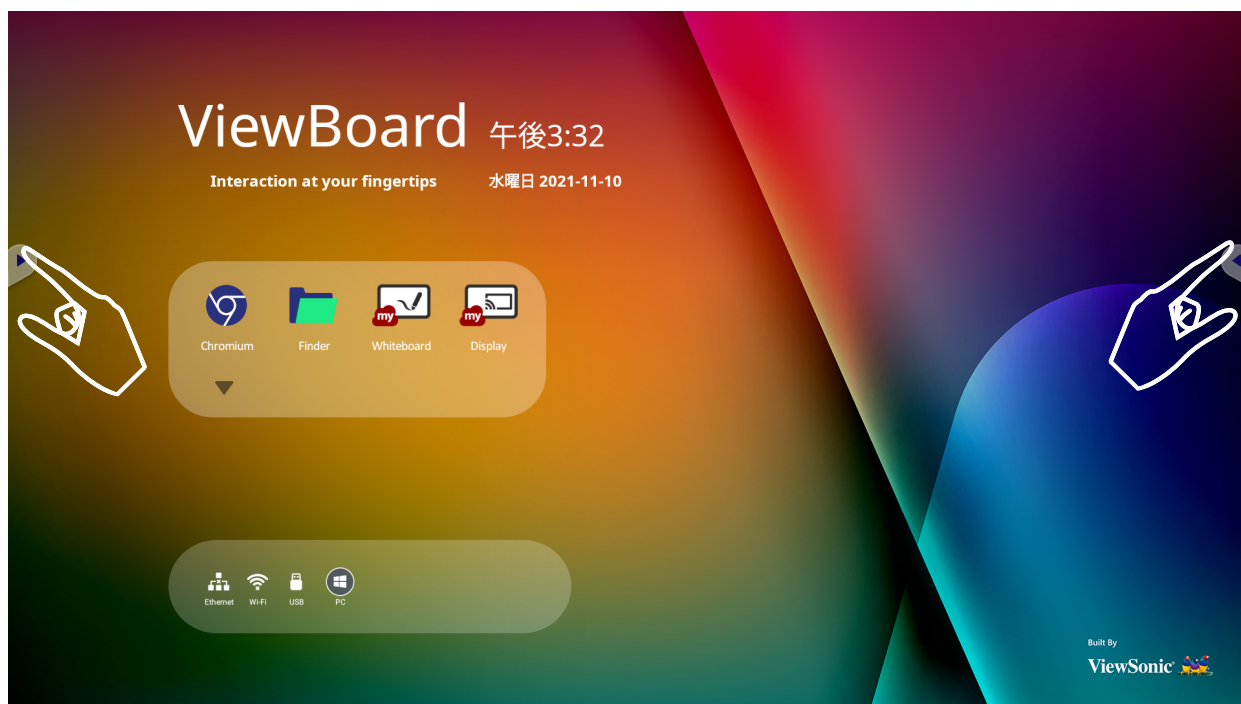


ショートカットエリアからアプリケーションを削除するには、削除したいアプリケーションアイコンをタップして、押したままエリアの外にドラッグします。



サイトツールバー

サイドツールバー表示のアイコンは、ViewBoard の vLauncher 画面の端にあり、タブするとサイドツールバーが表示されます。












ツールを起動するには：














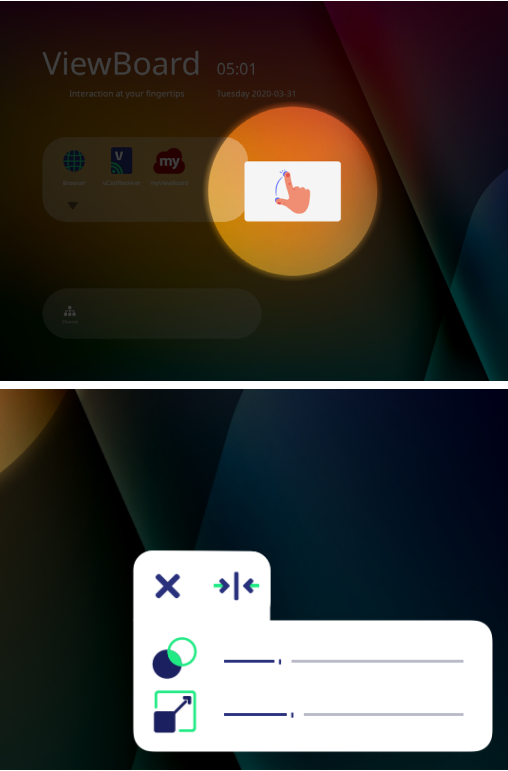
1. ツールバーのアイコンをタップします。
2. ご利用したいツールのアイコンをタップします。



注意事項： デフォルトのツールバー設定は、すべての入力ソースで使用することができます。ただし、設定 > 環境設定 > ツールバー設定に移動すると、オプション (1) すべての入力ポートソースで利用、または (2) すべての入力ポートソースで隠す、2つのオプションに調整することができます。

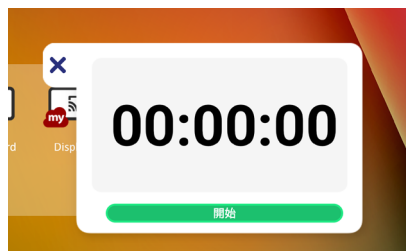
アイコン	詳細
 戻る	<p>前の操作画面に戻ります。</p> <p>注意事項： 内蔵の vLauncher オペレーションシステムのみに対応します。</p>
 ホーム	<p>内蔵の vLauncher システムのホーム画面に戻ります。</p>
 最近	<p>現在使用されているすべての内蔵アプリケーションを表示します。</p>
 アプリ	<p>インストールされているすべてのアプリケーションを表示します。</p>
 myViewBoard	<p>myViewBoard Whiteboard ホワイトボードソフトウェアを起動します。</p>
 レコーダ	<p>myViewBoard Recorder ソフトウェアで、画面上のコンテンツを記録、表示、および保存します。</p>

アイコン	詳細
 描画	<p>ペン、蛍光ペン、クリア、および保存オプションにアクセスします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> ペン</div> <div style="text-align: center;"> 蛍光ペン</div> <div style="text-align: center;"> 消しゴム</div> <div style="text-align: center;"> 元に戻す</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> やり直し</div> <div style="text-align: center;"> 消去</div> <div style="text-align: center;"> 保存</div> <div style="text-align: center;"> 終了</div> </div>
	<p><u>ペン</u></p> <p>入力ソースのオーバーレイに、黒色、白色、黄色、オレンジ色、赤色、ピンク色、緑色、または青色のインクで注釈を付けます。</p> <p>注意事項： デフォルトのペン設定は、最大 10 ポイントの書き込みをサポートします。</p>
	<p><u>蛍光ペン</u></p> <p>黄色、灰色、金色、オレンジ色、赤色、ピンク色、緑色、または青色のインクでマークしてハイライトします。</p> <p>注意事項： デフォルトの蛍光ペン設定は、最大 10 ポイントのマーキングをサポートします。</p>
	<p><u>消しゴム</u></p> <p>画面上のデジタルインクを選択的に取り除きます。</p>
	<p><u>元に戻す</u></p> <p>前のアクションを元に戻します。</p>
	<p><u>やり直し</u></p> <p>前のアクションをやり直します。</p>
	<p><u>消去</u></p> <p>画面上のすべてのデジタルインクを消去します。</p>
	<p><u>保存</u></p> <p>画面イメージと注釈を保存します。</p>
	<p><u>終了</u></p> <p>描画ツールを閉じます。</p>

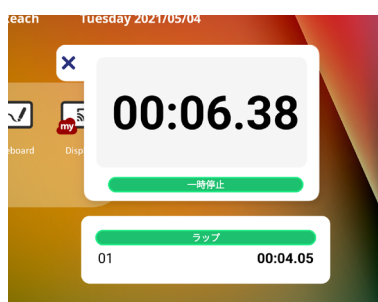
アイコン	詳細
	<p>ViewBoard ツールバー内のその他のアプリケーションを表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 画面フリーズ</div> <div style="text-align: center;"> スポットライト</div> <div style="text-align: center;"> ストップウォッチ</div> <div style="text-align: center;"> タイマー</div> <div style="text-align: center;"> エアクラス</div> <div style="text-align: center;"> 非表示 / 再表示</div> <div style="text-align: center;"> 画面キャプチャ</div> </div>
<p>● ● ● その他</p>	<p>画面フリーズ </p> <p>現在表示されているコンテンツを静止画像に変換します。次に、ズームイン、ズームアウト、全画面表示に戻って終了することができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> ズームイン</div> <div style="text-align: center;"> ズームアウト</div> <div style="text-align: center;"> フルスクリーン</div> <div style="text-align: center;"> 終了</div> </div> <p>スポットライト </p> <p>フォーカスコンテンツゾーンを強調表示します。設定アイコンをタップして、スポットライトのサイズとアルファブレンディング効果を調整します。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

ストップウォッチ

開始をタップすると、ストップウォッチが開始されます。



ストップウォッチはいつでも一時停止、再開、分割、またはリセットすることができます。



タイマー

● ● ●
その他

オプションのアラーム設定でカウントダウンタイマーにアクセスします。タッチしてスワイプして数値を調整し、開始をクリックします。







カウントダウンタイマーはいつでも一時停止、再開、またはリセットすることができます。



非表示 / 再表示

ツールバーのトリガーアイコンを非表示または再表示します。

アイコン	詳細
 その他	<p><u>エアクラス</u> </p> <p>教室で使用するための対話型の指導用ツールです。</p> <p><u>画面キャプチャ</u> </p> <p>現在の画面のスクリーンショットを取得します。</p>
 設定	<p>一般設定にアクセスします。</p>

オンスクリーンディスプレイ - OSD メニュー

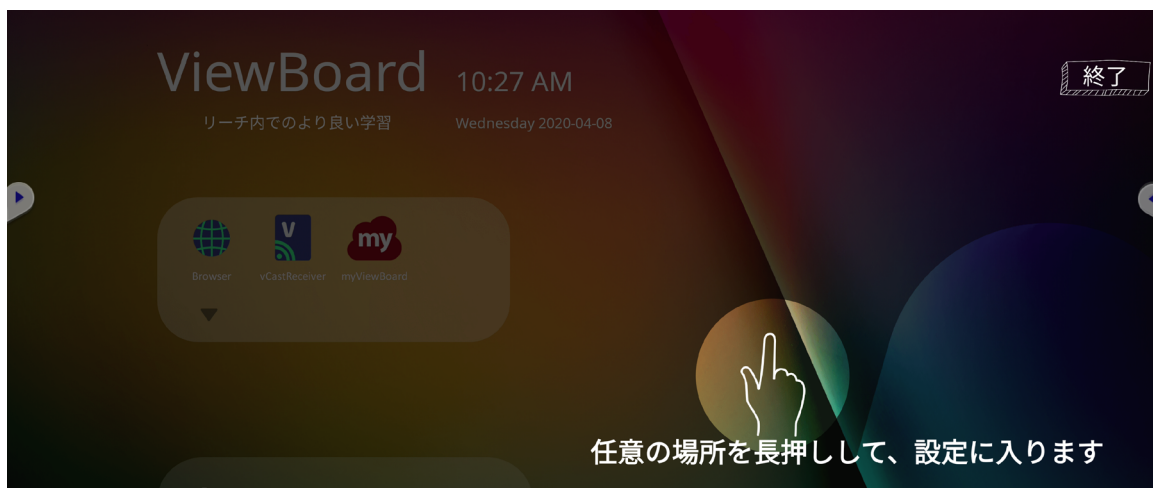
OSD メニューから一般設定、入力設定、ウィジェットにアクセスします。



ViewBoard には、2 つの OSD メニューを開けるオプションがあります。

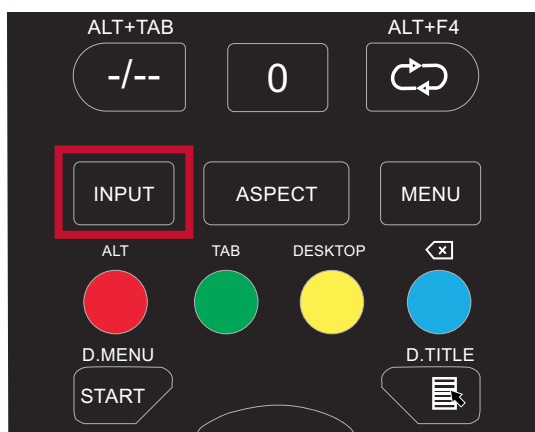
オプション 1

vLauncher の背景の任意の場所を長押しします。

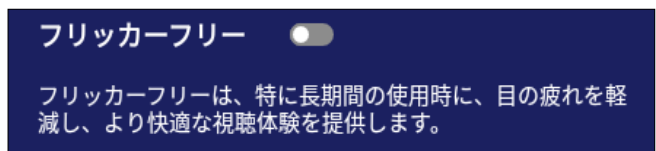
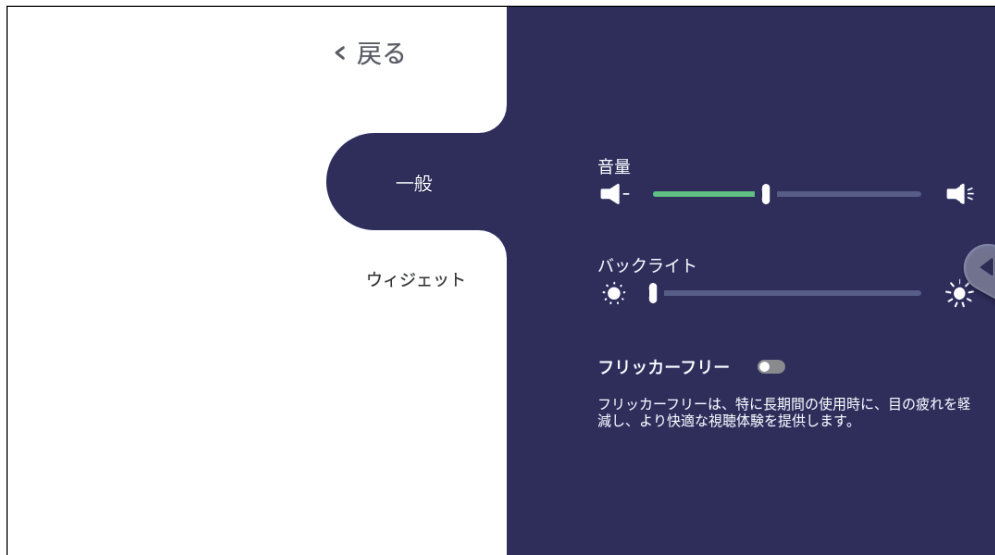


オプション 2

リモコンの INPUT ボタンを押します。



一般設定




バックライトの調整、およびアイケアを有効 / 無効にするには：

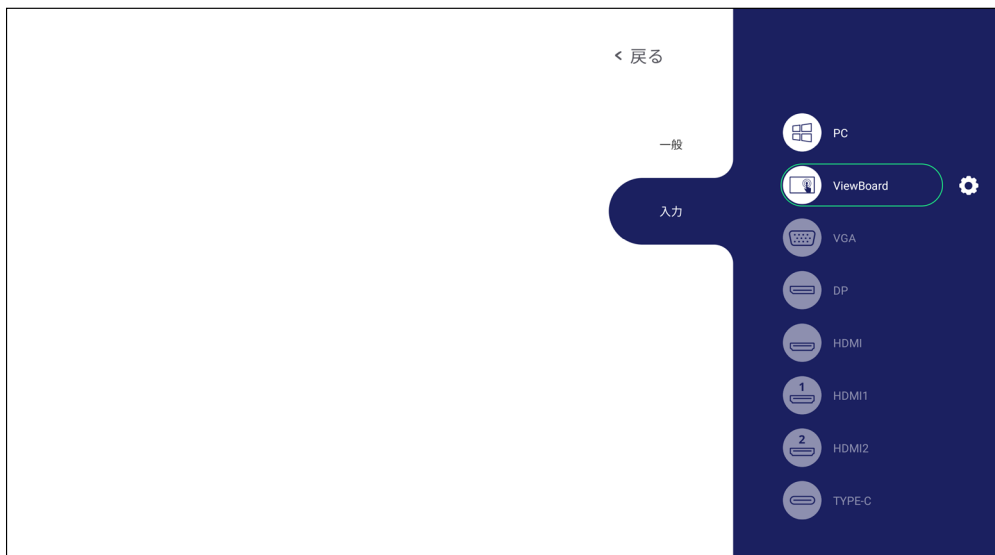
1. リモコンの INPUT ボタンを押すか、vLauncher の背景を長押しし、または画面の一般をタッチして、一般設定メニューが表示されます。
2. バックライトのスライダーを直接ドラッグして明るさを調整するか、アイケアのスイッチを切り替えてアイケア機能を有効 / 無効にします。
3. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。





音量を調整するには：

4. リモコンの INPUT を押すか、vLauncher の背景を長押しし、または画面の一般をタッチして、一般設定メニューが表示されます。
5. 音量のスライダーを直接ドラッグして音量を調整します。
6. リモコンの  (Mute) を押して、ミュート機能を有効または無効にします。
7. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

入力設定



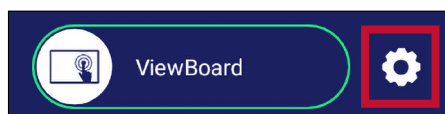
入力ソースを選択するには:

1. リモコンの INPUT を押すか、フロントパネルの設定ボタン  を押すか、ツールバーの  設定アイコンを押して、入力設定メニューを表示します。
2. ▼/▲/◀/▶ を押して、必要な入力ソースを選択します。

注意事項： PC ソースは、スロットイン PC が接続されている場合にのみ表示されます。

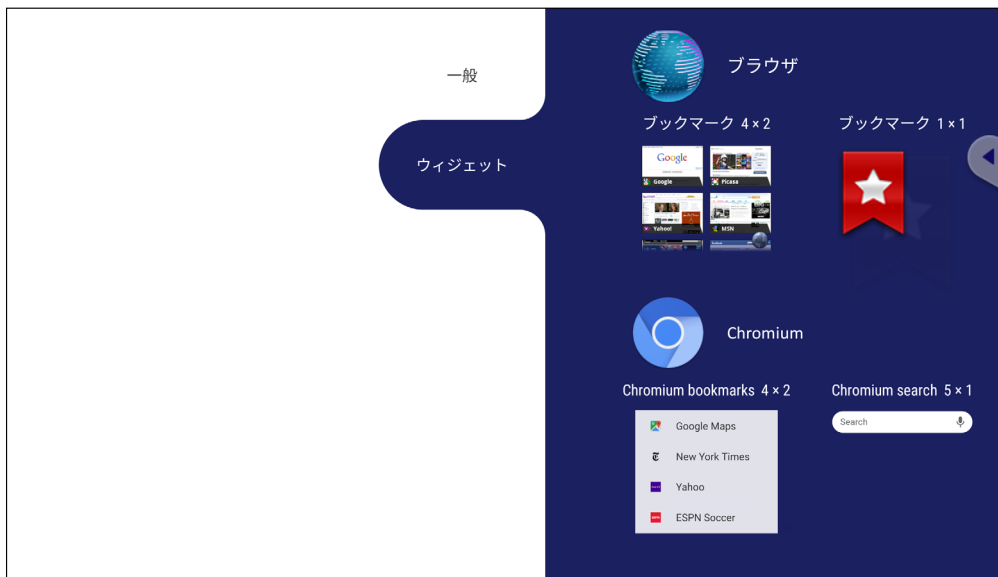
3. リモコンの ENTER を押すか、入力ソースをタッチします。
4. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

注意事項： 入力ソースの設定を調整するには、下図のように目標ソースに切り替えてから、入力ソースの横にある設定アイコンをタッチしてください。



ウィジェット

注意事項： ViewBoard vLauncher プレーヤーソースのみ使用できます。



vLauncher のウェルカム画面にウィジェットを追加するには：

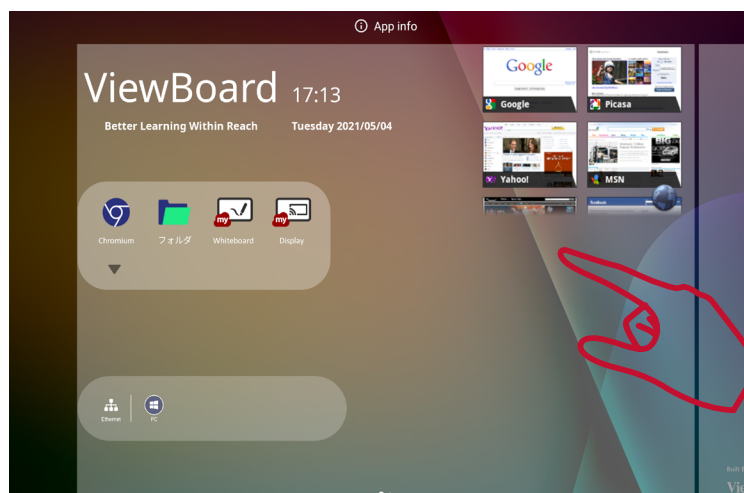
1. vLauncher の背景を長押しして、OSD メニューを起動します。



2. ウィジェットを選択します。

3. 目的のウィジェットを長押しします。

4. ウィジェットを vLauncher の背景にドラッグします。




設定 - HDMI および VGA 入力ソース

設定メニューを表示するには、目標ソースに切り替えて、入力ソースの横にある設定アイコンをタッチしてください。

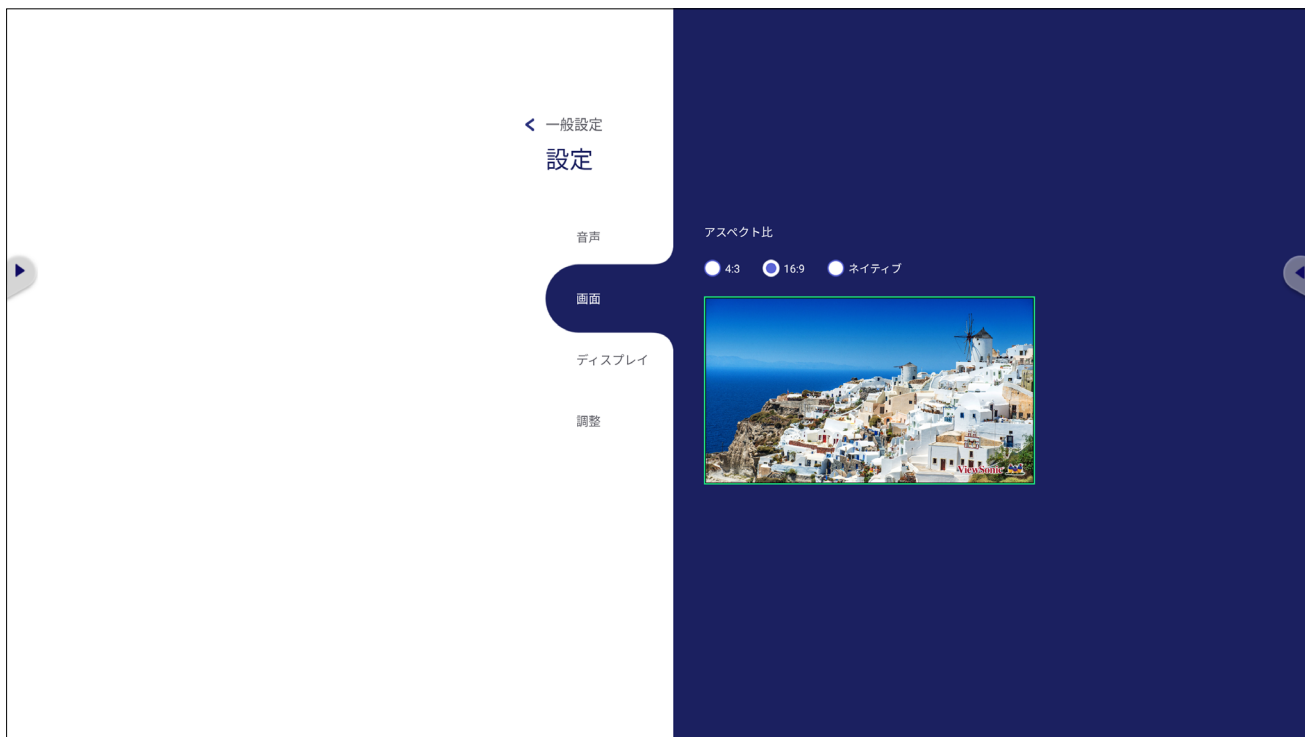
設定には、音声、画面、ディスプレイ、および調整が含まれます。

音声設定



1. リモコンの ▼ を押して、音声メニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 音量、低音、高音、バランスを直接調整するには、各値をタッチして調整します。
ENTER を押してリモコンを使ってオプションを調整します。
4. ミュートスライダーを直接タッチしてミュートを有効 / 無効にするか、リモコンの  (Mute) を押します。
5. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

画面設定



1. リモコンの ▼ を押して、画面メニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 各値を直接タッチするか、ENTER を押してリモコンを使って設定を調整します。
4. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

ディスプレイ設定



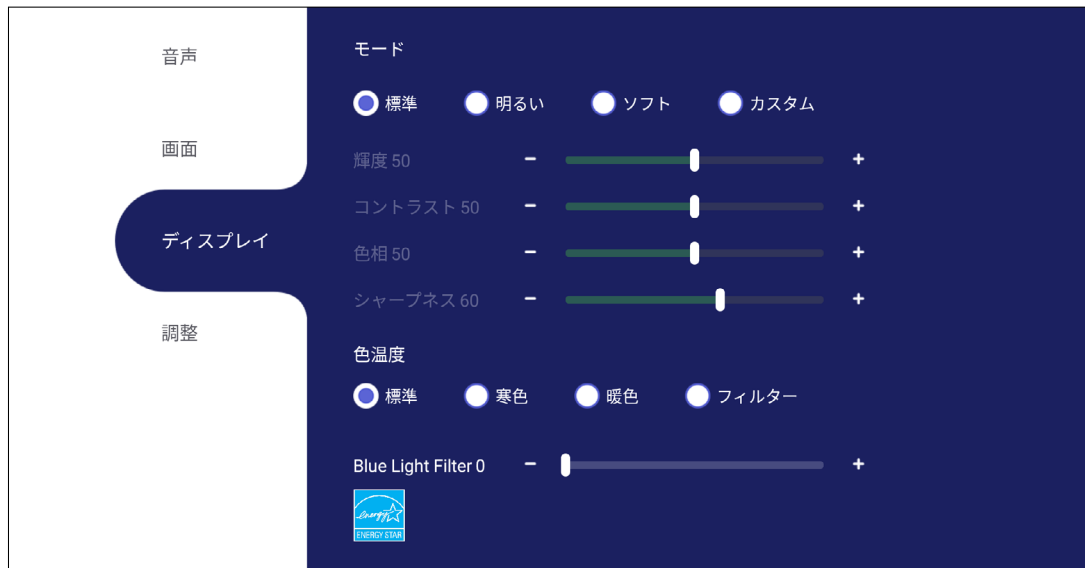
1. リモコンの ▼ を押して、ディスプレイメニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 輝度、コントラスト、色相、シャープネスを直接調整するには、各スライダーをタッチして調整するか、ENTER を押してリモコンを使ってオプションを調整します。
4. ブルーライトスライダーを直接ドラッグして、ブルーライトの値を調整します。



5. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

Blue Light Filter と目の健康

Blue Light Filter は、高エネルギー可視光線を遮断でき、より快適な視聴体験を実現します。



注意事項： TÜV Rheinland 低ブルーライト認定を満たすには、ディスプレイ設定を次のように設定する必要があります。

- モード:標準
- 輝度とコントラスト:50
- 色温度:フィルター
- Blue light Filter:0

定期的な休憩

長時間ディスプレイの画面を見るとき、定期的な休憩を取ることをお勧めします。約 1 時間連続見たあとは、少なくとも 10 分間の短い休憩をお勧めします。一般的には、短い休憩を頻繁に取るのが有効とされています。より短い、より頻繁な休憩を取るとは、頻度の少ない長い休憩よりも一般的に有益です。

目の疲れ対策 - 20-20-20 ルール

常に画面を見ることで目の疲れのリスクを減らすには、少なくとも 20 分ごとに画面から目をそらし、少なくとも 20 フィート (約 6m) 離れた遠くの物体を、少なくとも 20 秒間注視します。

遠くの物を見る

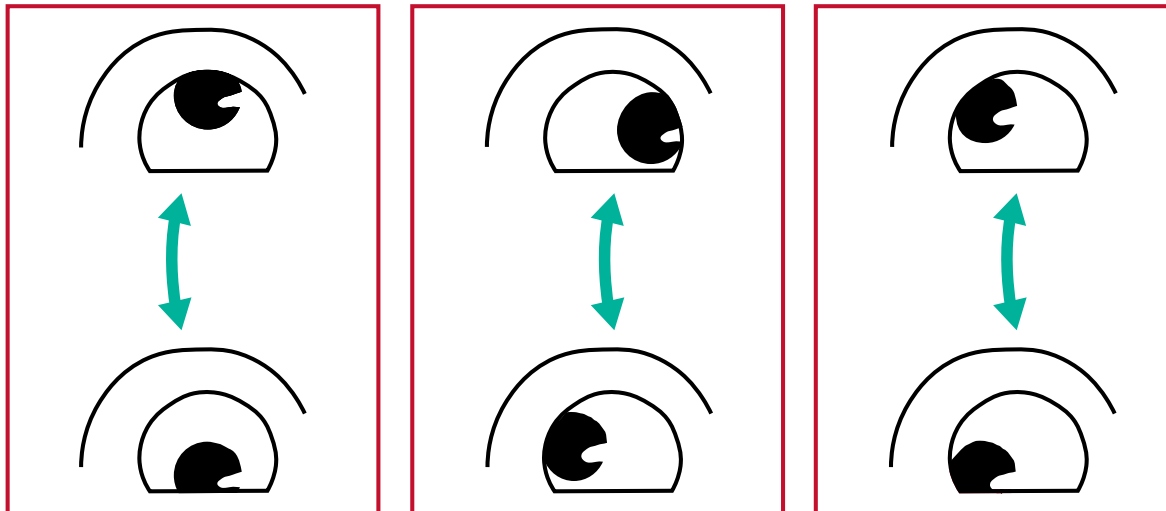
休憩しながら、10 ～ 15 秒間離れた場所にある物体に焦点を合わせ、10 ～ 15 秒間近くのを注視することで、目の疲れや乾燥をさらに軽減できます。これを 10 回繰り返してください。

目と首の運動

目の運動

目の運動は目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。ゆっくりと目を左、右、上、下に回転させます。必要な回数だけ繰り返します。

目の運動



(1)体と頭を直立させます。目を上に動かして天井を見てから、下に動かして床を見てください。

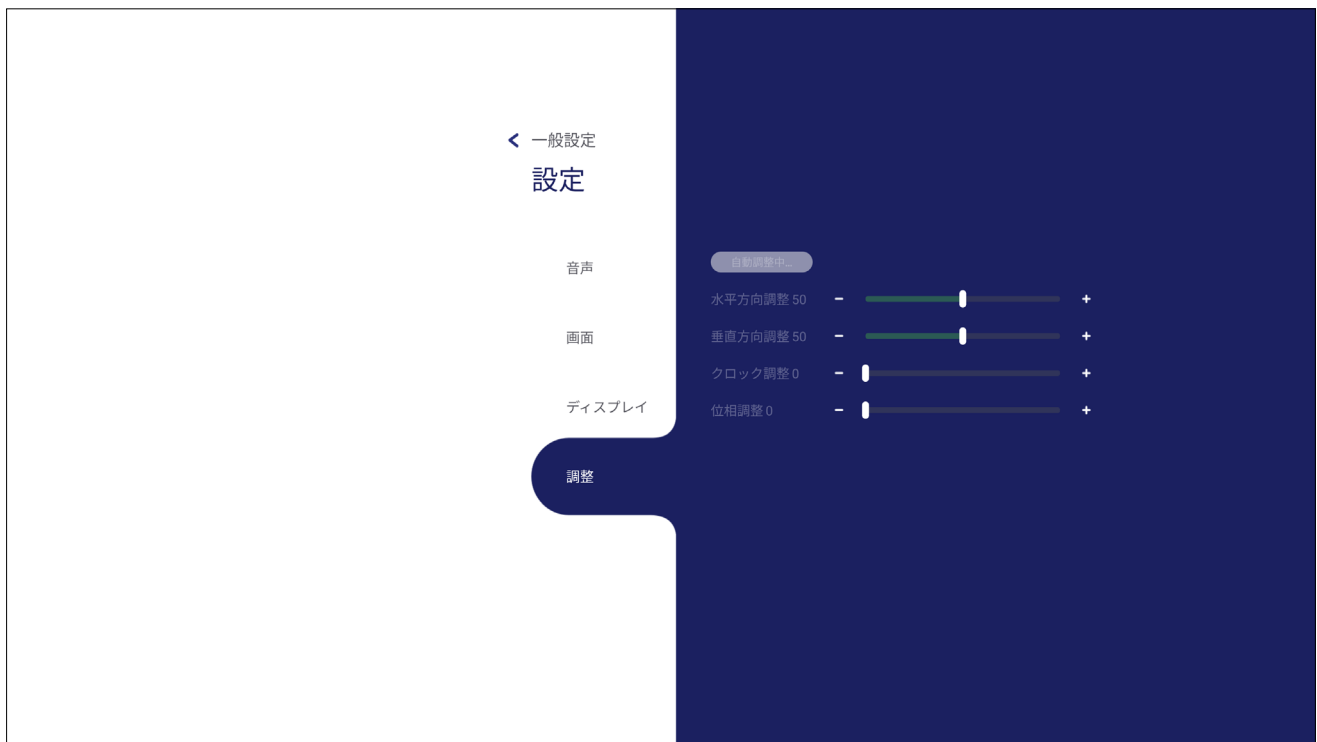
(2)目を左にゆっくり動かして、両側のオブジェクトを見てください。

(3)目を動かして、右上の方向、次に右下の方向のオブジェクトを確認します。上方向と下方向について繰り返します。

首の運動

首の運動も目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。腕をリラックスして脇にぶら下げ、少し前に曲げて首を伸ばし、頭を右および左に向けます。必要な回数だけ繰り返します。

調整設定



1. リモコンの ▼ を押して、調整メニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 各値を直接タッチするか、ENTER を押してリモコンを使って設定を調整します。
4. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の空白の領域をタッチして終了します。

注意事項： 調整設定には、VGA(D-SUB) 入力ソースのみに対応しております。

設定 - ViewBoard プレーヤー

ViewBoard プレーヤー vLauncher を利用している場合は、リモコンの MENU を押すか、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの入力設定の入力ソースの横にある設定アイコンをタップして、設定メニューに入ります。

ワイヤレスとネットワーク

現在のネットワーク接続ステータスを確認し、Wi-Fi、イーサネット、Bluetooth、および VPN をセットアップおよび管理し、ワイヤレスホットスポットを共有します。



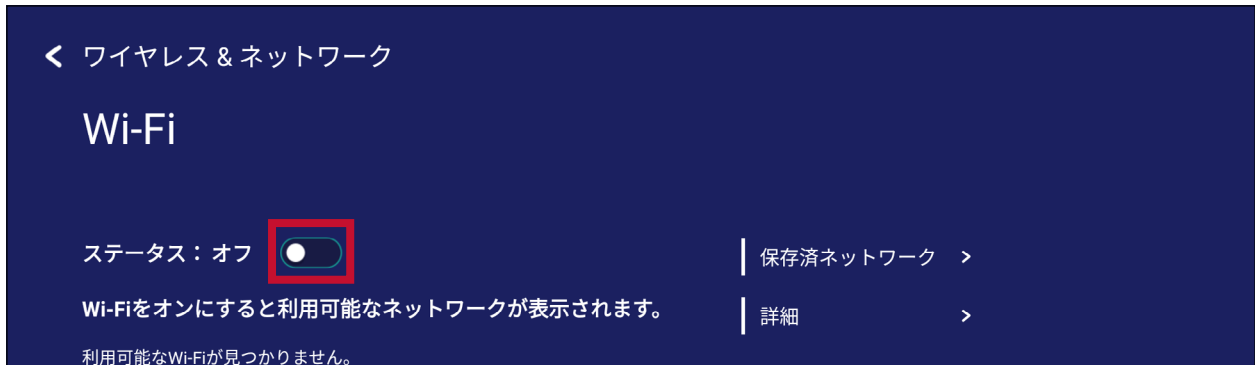
注意事項：

- Wi-Fi、ワイヤレスホットスポット、Bluetooth の設定は、オプションの Wi-Fi モジュール VB-WIFI-001 が組み込みされている場合のみに表示されます。
- Wi-Fi が有効になると、イーサネットは自動的に無効になります。イーサネットが有効になると、Wi-Fi は自動的に無効になります。ワイヤレスホットスポットが有効になっている場合、Wi-Fi は無効になりません。
- ワイヤレスホットスポットが有効になっている場合、デバイスはインターネットに接続することができません。

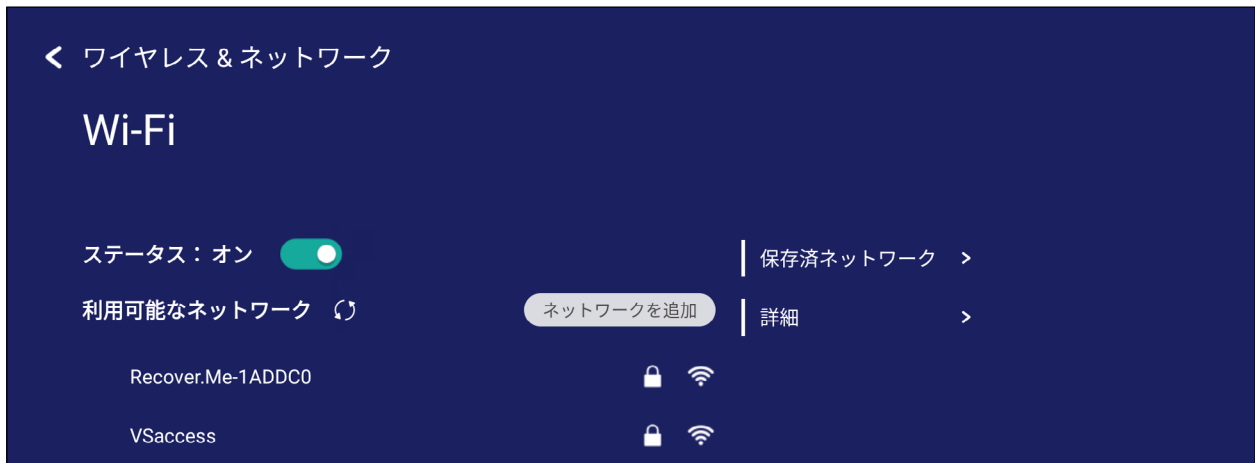
Wi-Fi

ワイヤレスアクセスポイントをセットアップおよび管理します。

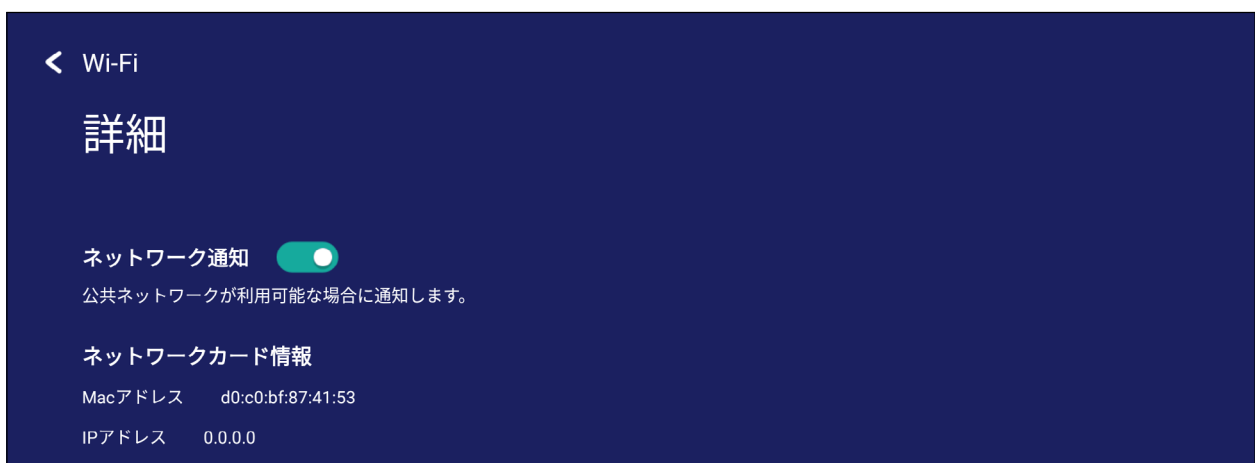
- トグルボタンをタップして、Wi-Fi をオンまたはオフにします。



- オンにすると、次の操作を行うことができます。ネットワークを追加、保存済ネットワークの表示、ネットワークリストの更新、または詳細設定の表示。



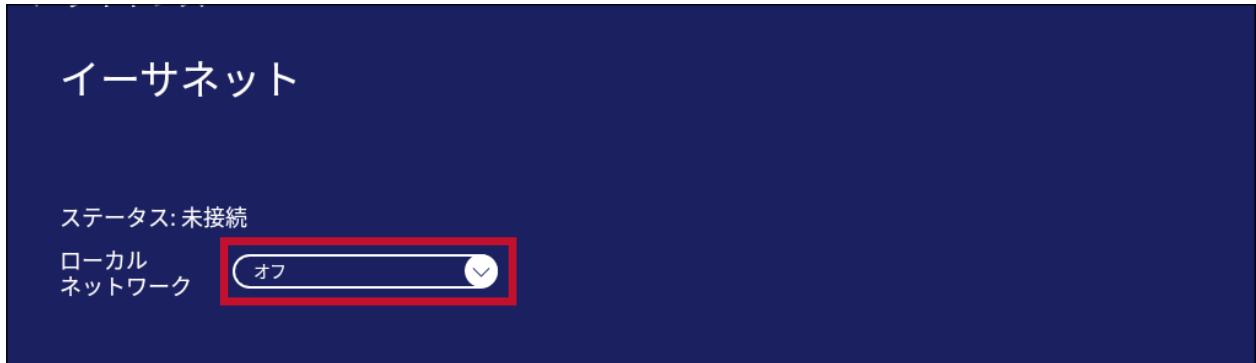
- 詳細設定では、ネットワーク通知のオンとオフを切り替えて、ネットワークカード情報を表示することができます。



イーサネット

ローカルネットワークとプロキシを設定します。

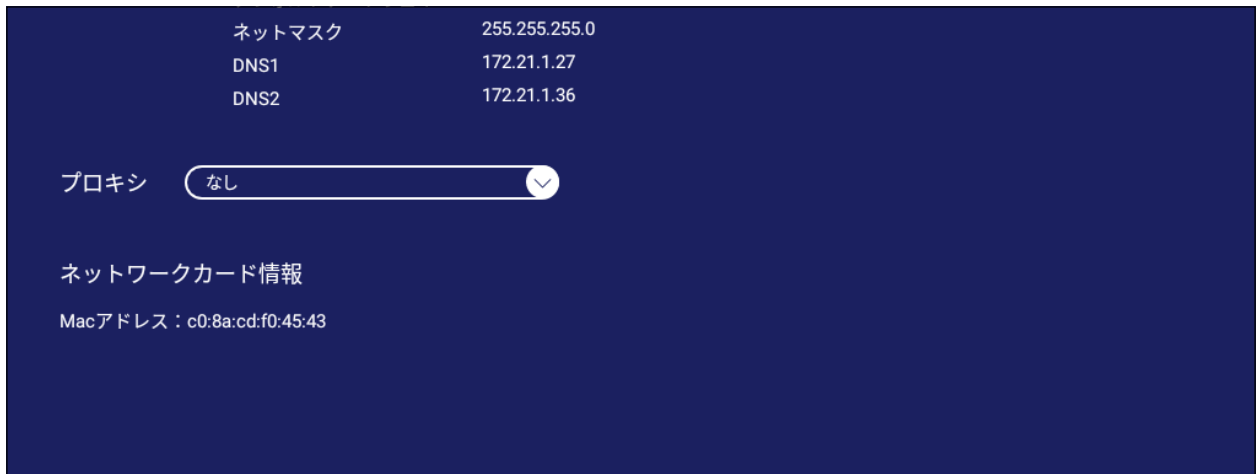
- ドロップダウンメニューをタップして、イーサネットを接続 / 切断します。



- ローカルネットワークとプロキシの設定も調整できます。



- 次に、下部にはネットワークカード情報を表示します。



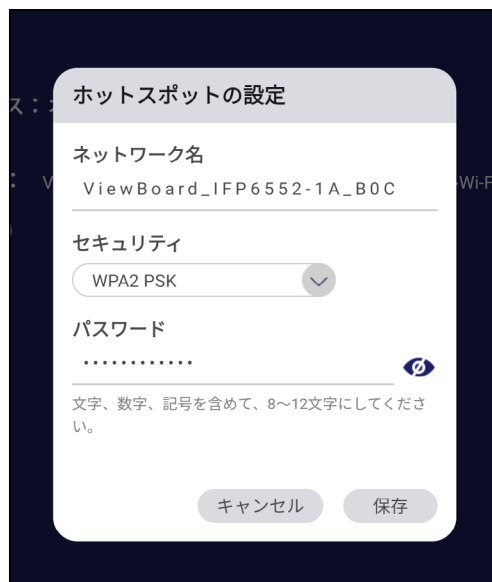
ワイヤレスホットスポット

インターネット接続を設定して他のデバイスと共有します。

- トグルボタンをタップして、ワイヤレスホットスポットをオンまたはオフにします。

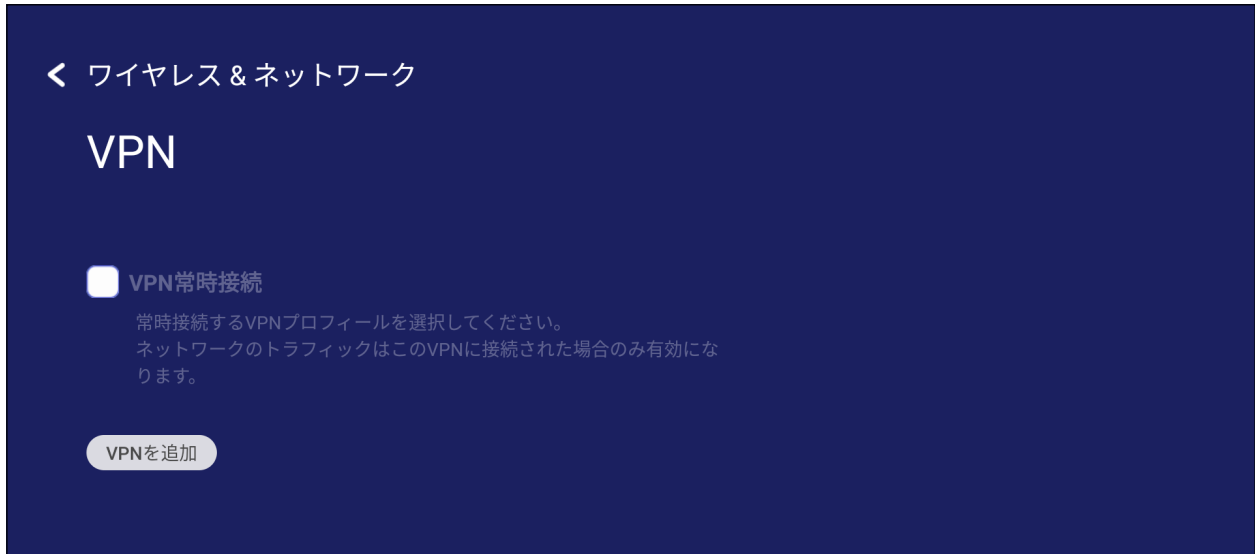


- 設定をタップして、ネットワーク名、セキュリティ、およびパスワードを設定します。



VPN

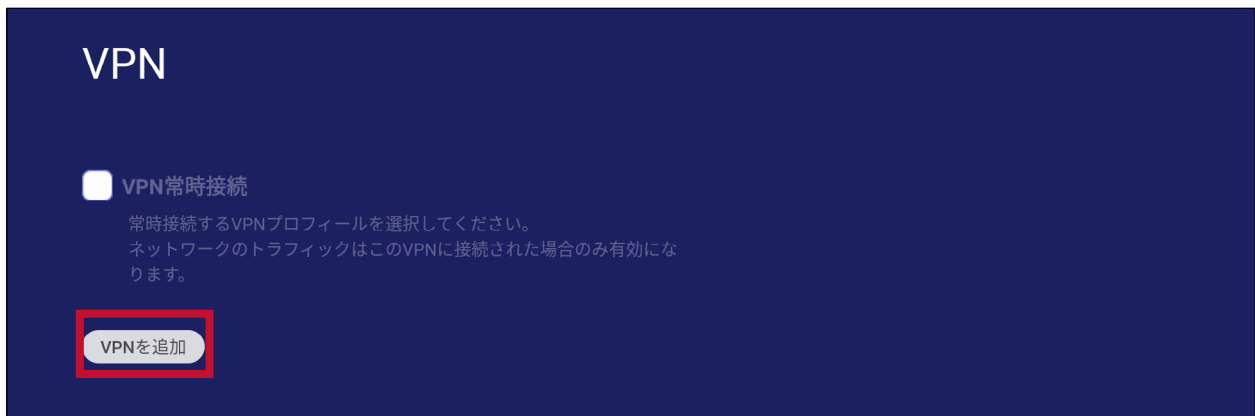
仮想プライベートネットワークを設定および管理します。



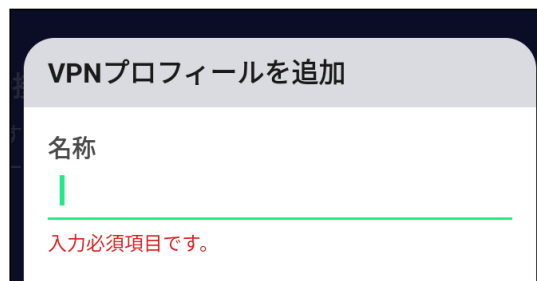
VPN プロファイルを作成するには:

1. 以下手順に従ってください:

設定 > ワイヤレス & ネットワーク > VPN、VPN を追加をタップします。



2. 名称を入力します。



3. VPN タイプを選択します。

VPNプロフィールを追加

名称
|
入力必須項目です。

タイプ
PPTP
PPTP
L2TP/IPSec PSK
L2TP/IPSec RSA
IPSec Xauth PSK
IPSec Xauth RSA
IPSec Hybrid RSA

4. PPP 暗号化を有効 / 無効にするか、詳細オプションを表示するかを選択します。

サーバーアドレス

PPP暗号化 (MPPE)

詳細オプション ▼

ユーザー名

パスワード

常時接続VPN
このVPNタイプは常に接続を維持できません。

キャンセル 保存

共有

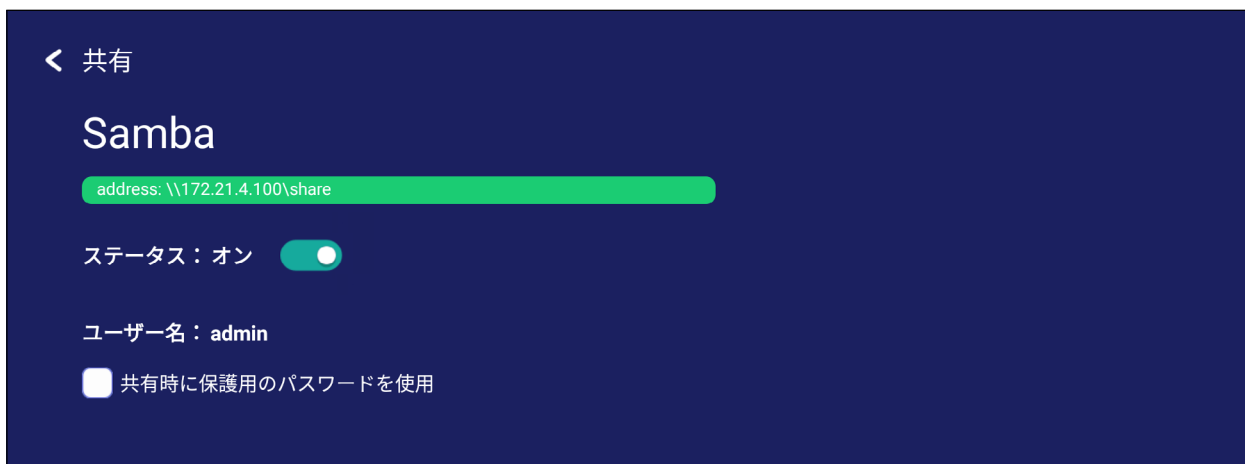
SAMBA

SAMBA サービスは、ネットワークでファイル共有を提供します。SAMBA サービスが有効になっている場合、ユーザーは PC または周辺機器を使用して、ViewBoard ファイルシステムを探索することができます。

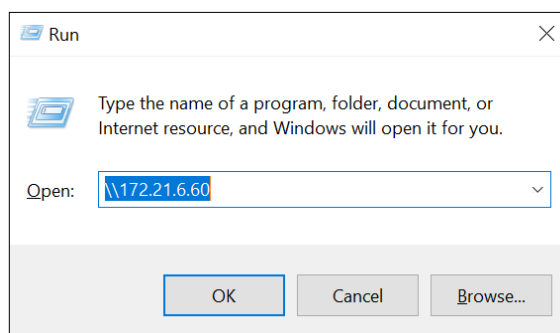
1. アクセスするには、設定 > 共有 > SAMBA に移動します。



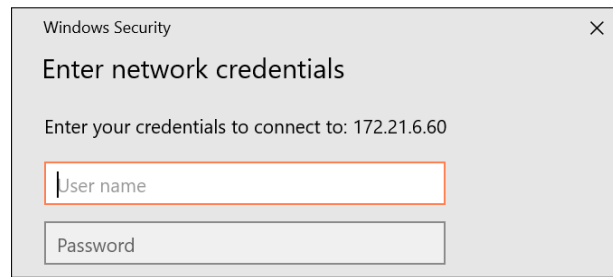
2. トグルボタンをタップして、SAMBA サービスを有効にし、必要に応じてパスワードを設定します。



3. ViewBoard とクライアント機器が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
4. クライアント機器を使用して ViewBoard にログインします。ViewBoard の IP アドレスを入力します。

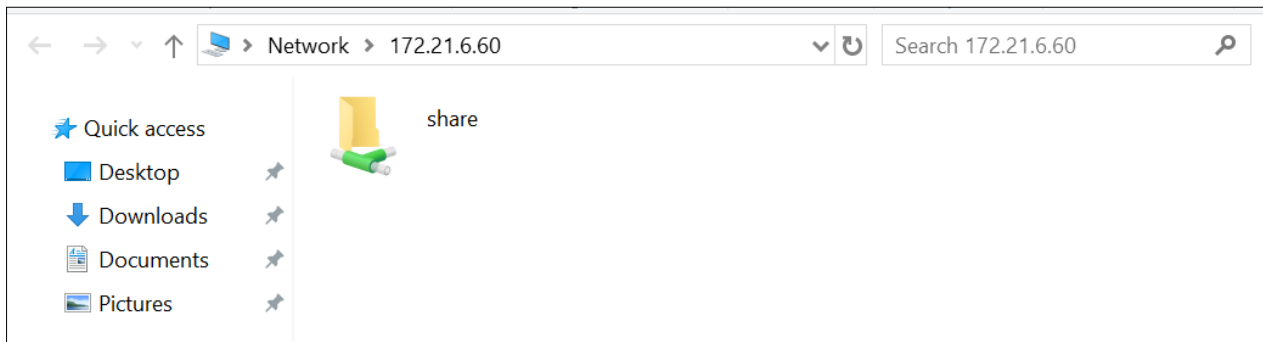


5. ユーザー名とパスワードを入力し、必要な場合は OK を選択します。



A screenshot of a Windows Security dialog box titled "Enter network credentials". The dialog prompts the user to "Enter your credentials to connect to: 172.21.6.60". It features two input fields: "User name" and "Password". The "User name" field is currently active and highlighted with a red border.

6. ログインに成功すると、ViewBoard ファイルが利用可能になります。



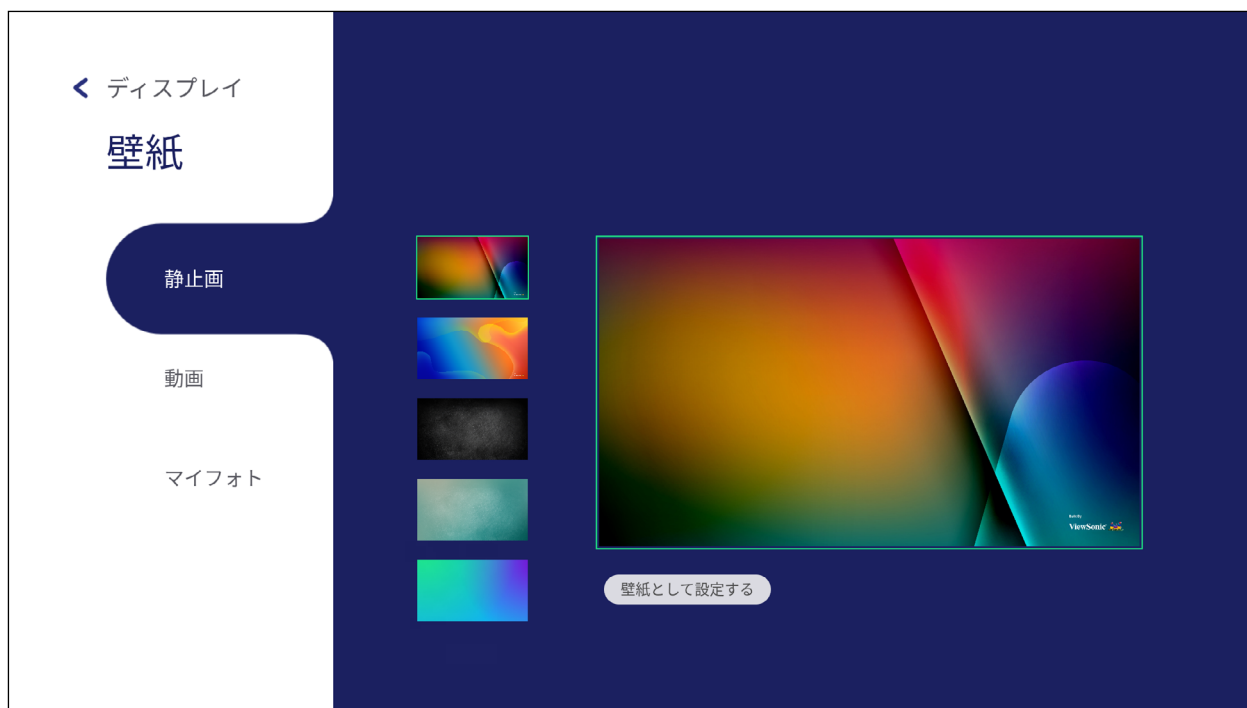
ディスプレイ

壁紙)、ディスプレイ ID、保護、HDMI 出力の設定を調整します。

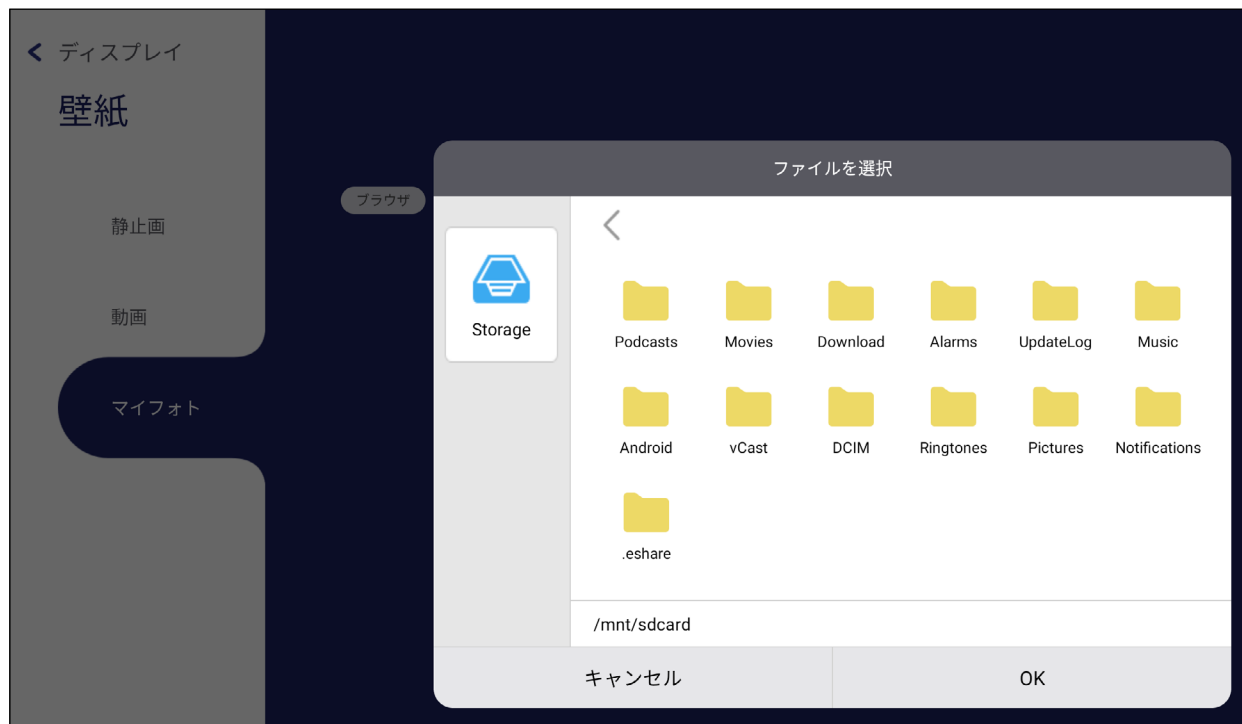


壁紙

デフォルトの画像（静止画とライブ画像の両方）で壁紙を変更するか、マイフォトをタップして画像ファイルを選択することで独自の壁紙を使用することができます。

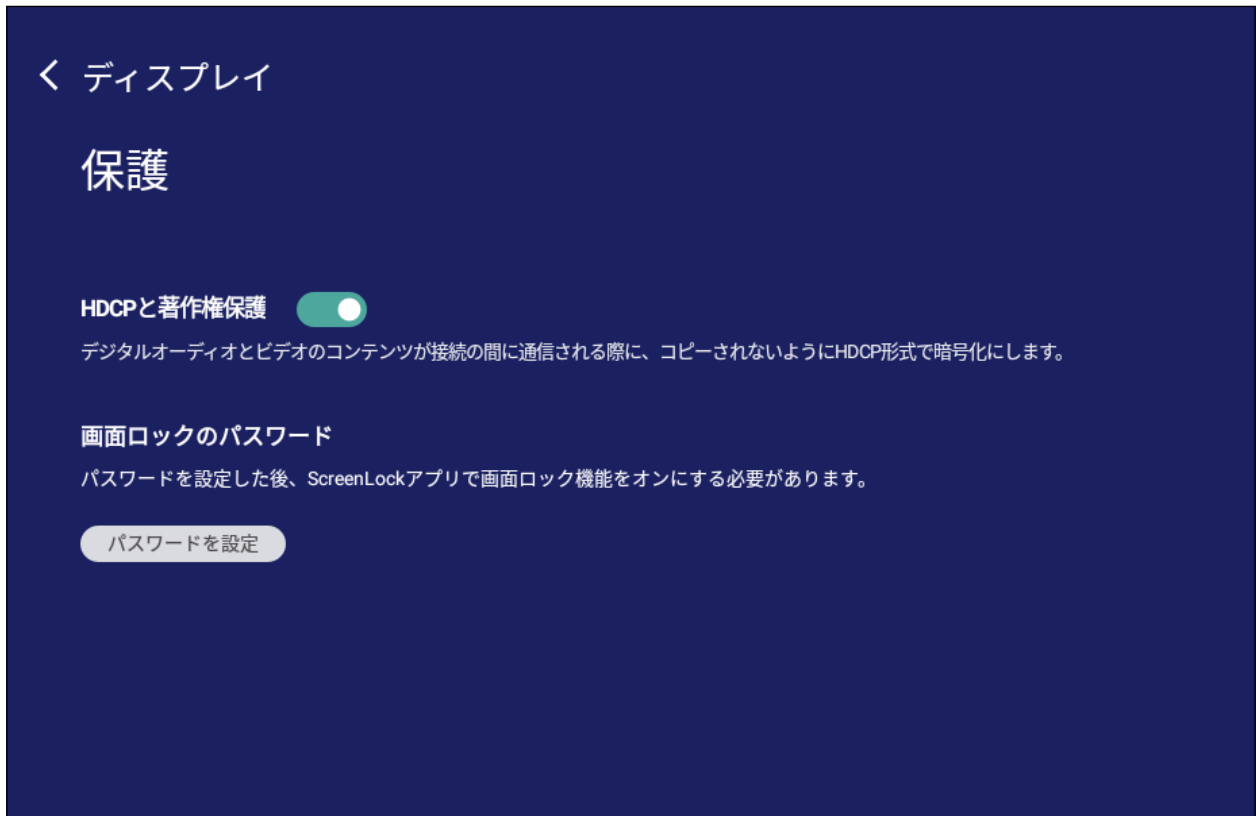


マイフォトをタップして画像ファイルを選択することで、独自の壁紙を使用することができます。

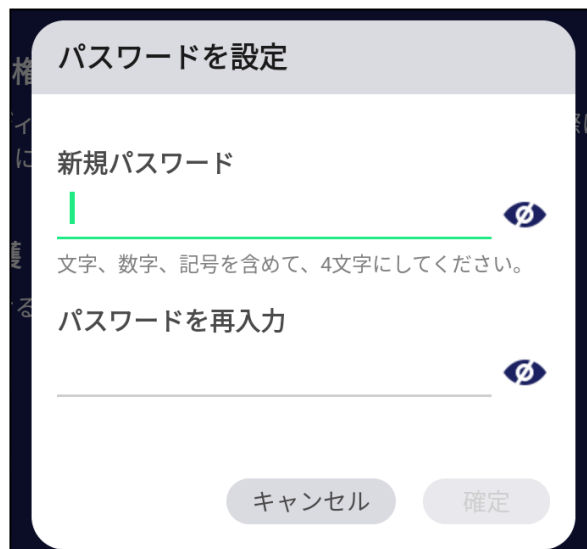


保護

HDCP と著作権保護、画面ロックのパスワードを設定します。



- 画面ロック用パスワードを設定するには、**Set Password (パスワードの設定)** をタップして、希望のパスワードを入力します。



環境設定

タッチ、言語選択、キーボードと入力方式、日時、起動モードと詳細設定、スタートアップとシャットダウン、ツールバー設定メニューを表示および調整します。

設定

- ワイヤレス & ネットワーク
- 共有
- ディスプレイ
- 環境設定**
- 入力ソース
- アプリ
- システム

タッチ
タッチ音の設定。

言語選択
言語を選択します。

キーボードと入力方式
バーチャルキーボードと現在のキーボードの設定。

日時
タイムゾーンと形式を設定します。

起動モードと詳細設定
起動モード、ViewBoard設定アクセスパスワード、およびローカル...

スタートアップとシャットダウン
起動時入力ソース、スタンバイモード、スケジュールを設定します。

ツールバー設定
ツールバー設定

タッチ

タッチ設定を調整し、タッチ時の操作音のオン / オフ切り替えます。



言語選択

使用可能な言語リストから、使用したい言語を選択します。

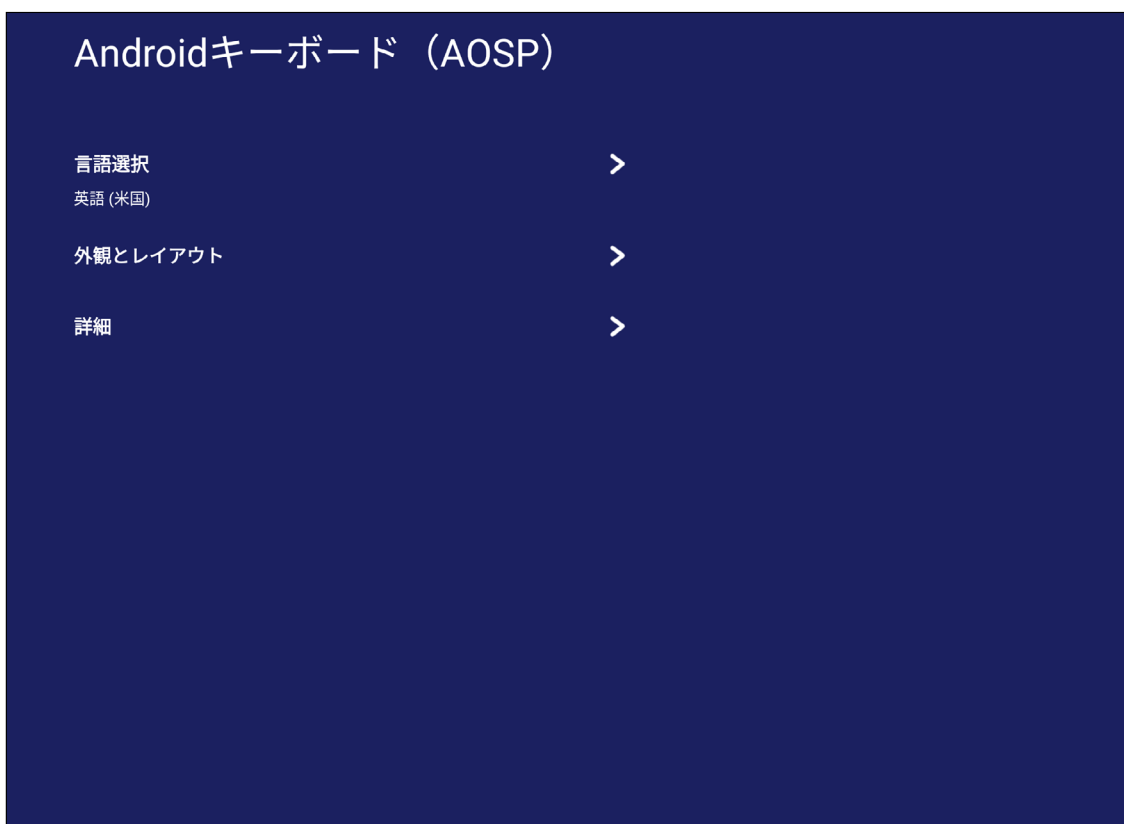
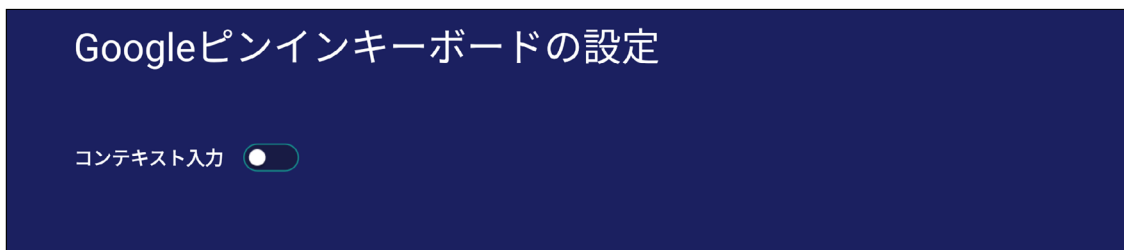


キーボードと入力方法

バーチャルキーボードの表示 / 非表示にしたり、キーボードと入力方法を変更したりします。



- 設定をタップして、キーボードの詳細設定を調整します。



日時

システムの日時、タイムゾーンと形式を設定します。



項目	詳細
日時を自動設定	有効にすると、ViewBoard はインターネットに接続される時に、日付と時刻を自動的に同期します。
タイムゾーン	適切なタイムゾーンを選択します。
24 時間の時刻表示	12 時間形式または 24 時間形式を切り替えます。
日付形式	使用可能な日付形式から選択します。

起動モード

起動モードを調整し、パスワードを設定 / リセットします。



項目	詳細
通常モード	有効に設置されたサービスを起動にし、インストールしたアプリとドライバーは正常に実行されます。
セキュアモード	V-Cast、E-Airplay、Chrome Cast などの組み込み画面共有アプリを削除します。
組み込み OS を無効にする	システムが自動的に再起動し、組み込み OS は無効になります。
ViewBoard 設定アクセスパスワード	ViewBoard 設定をロック / ロック解除が行えます。
Bootmode & ViewBoard 設定アプリの保護用パスワード	起動モードと ViewBoard 設定の入力パスワードを変更します。
ファイルモードの維持	フォルダーアプリでローカルストレージファイルを保持する期間を選択します。

項目	詳細
色補正	ViewBoard の表示画面は各形式色覚に補正できます。
非 ViewBoard OS モードのサイドツールのオン / オフ	非 ViewBoard OS の場合のサイドバーを有効 / 無効にします。
ViewBoard をリセット	ViewBoard を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

スタートアップとシャットダウン

起動入力ソース、スタンバイモード、EnergyStar モード、起動後に画面を表示しない、電源オフリマインダー、起動と電源オフ時刻のスケジュールを設定します。

スタートアップとシャットダウン

起動時入力ソース

シャットダウン直前の入力 デフォルトの起動時入力 PC

入力信号なしのディスプレイ設定

ディスプレイをオフにする

パネルのバックライトをオフにする

スタンバイモード

休止状態
休止状態では、パネルとシステム全体がオフになります。電源ボタン、リモコン、RS232制御によって、休止状態から復帰させることができます。

スリープ
スリープでは、パネルと主要機能がオフになります。スリープに設定しても、オペレーティングシステムは引き続き動作します。電源ボタン、リモコン、および RS232 と LAN 制御によって、ViewBoard をスリープから復帰させることができます。

Energy Star 

画面が1時間以上アイドル状態になると、システムは自動的にスリープに入ります。

起動後に画面を表示しない

電力を節約するために、起動後にバックライトが点灯しません。

時刻切替

電源オフリマインダー

電源オフリマインダーのオン/オフ

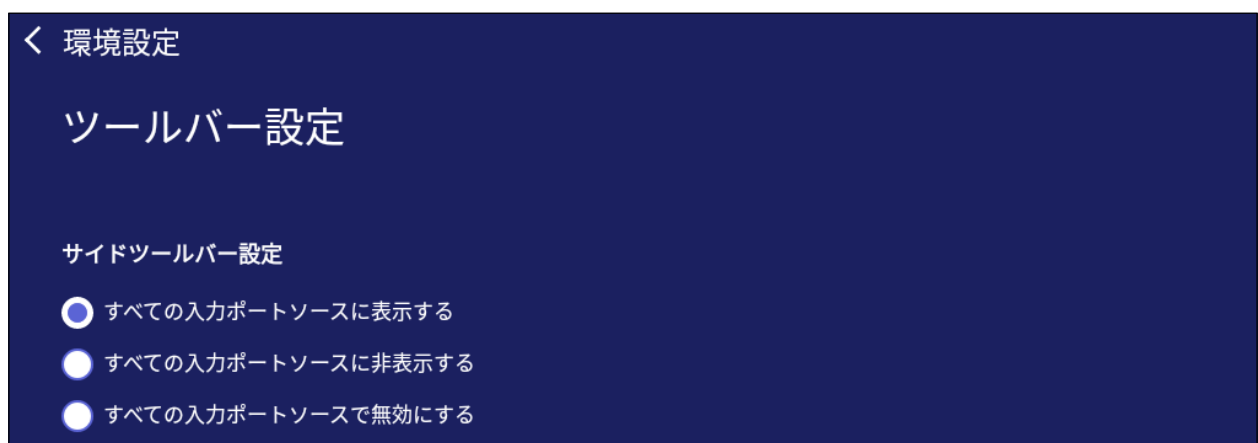
スケジュール

起動時刻	電源オフ時刻
------	--------

項目	詳細
起動入力ソース	起動時入力ソースを調整します。
入力信号なしのディスプレイ設定	HDMI、PC、または VGA ソースの入力信号がない場合にディスプレイがどのように動作するかを決定します。
スタンバイモード	ViewBoard がオンのときに電源ボタンを押したときの動作を決定します。
EnergyStar モード	画面が 1 時間アイドル状態のときに、スリープモードを自動的に開始できるようにします。
起動後に画面を表示しない	有効にすると、ViewBoard は起動後にバックライトを自動的にオフにします。
時刻切替 電源オフリマインダー	有効にすると、ViewBoard は、スケジュールされたオフ時間の後にリマインダーなしでオフになります。
スケジュール	起動およびシャットオフ時間をスケジュールします。

ツールバー設定

サイドツールバーの設定を調整します。



入力ソース

入力ソースの名前変更と設定を調整します。

The image shows a screenshot of the Windows Settings application. On the left, a vertical sidebar contains the following menu items: 設定 (Settings), ワイヤレス & ネットワーク (Wireless & Network), 共有 (Sharing), ディスプレイ (Display), 環境設定 (Environment Settings), **入力ソース (Input Sources)**, and アプリ (Apps). The 'Input Sources' option is highlighted with a dark blue background. The main content area on the right has a dark blue background and displays two settings cards. The first card is titled '入力ソースの名称変更' (Change Input Source Name) and includes the description '入力ポートの表示名を編集します。' (Edit the display name of the input port). The second card is titled '入力ポート' (Input Port) and includes the description '省エネと自動関連の設定です。' (Energy-saving and automatic association settings). Both cards feature a circular icon with a keyboard and a speech bubble.

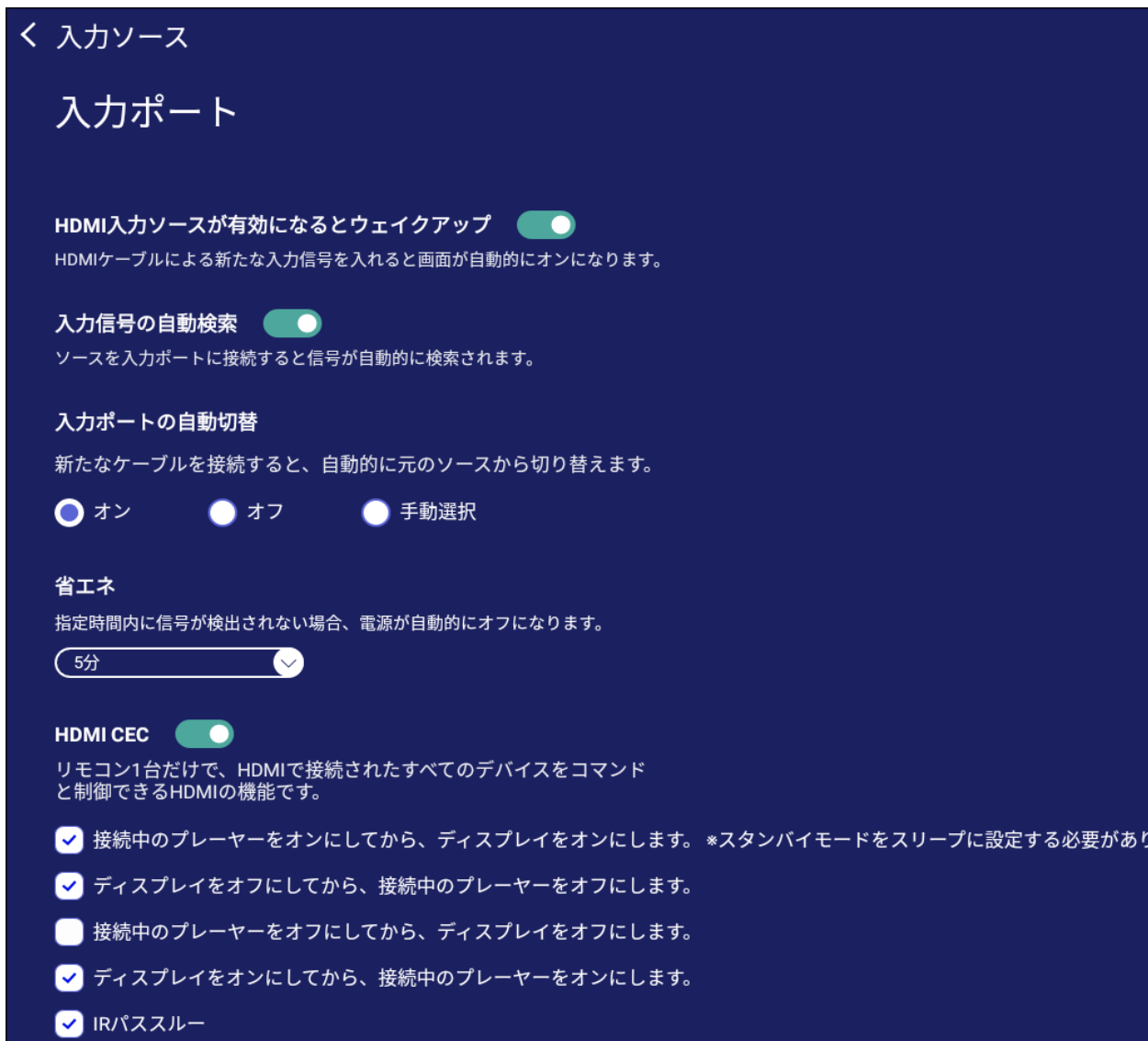
入力ソースの名称変更する

表示時により簡単に認識できるように、各入力ソースの名称をカスタマイズできます。



入力ポート

アクティブソースによるウェイクアップ、信号自動検索、HDMI CEC を切り替えて、入力ポート自動スイッチを選択します。



項目	詳細
入力ソースが有効になるとウェイクアップ	待機中の時に、信号のある HDMI ケーブルを接続すると、画面が自動的にオンになります。
入力信号自動検索	有効にすると、選択されているソースに信号がない場合、ViewBoard は入力信号を自動的に検索します。
入力ポート自動切替	新しいケーブルを接続すると、元の信号が自動的に新しい入力ソースに切り替わられます。
省エネ	指定された時間内に入力信号が検出されない場合は、電源が自動的にオフになります。
HDMI CEC	HDMI CEC 機能を有効 / 無効にします。

アプリ

アプリ情報を表示し、強制停止、アンインストール、USB ストレージへの移動、データのクリア、キャッシュのクリア、デフォルトのクリアを行うことができます。



注意事項：

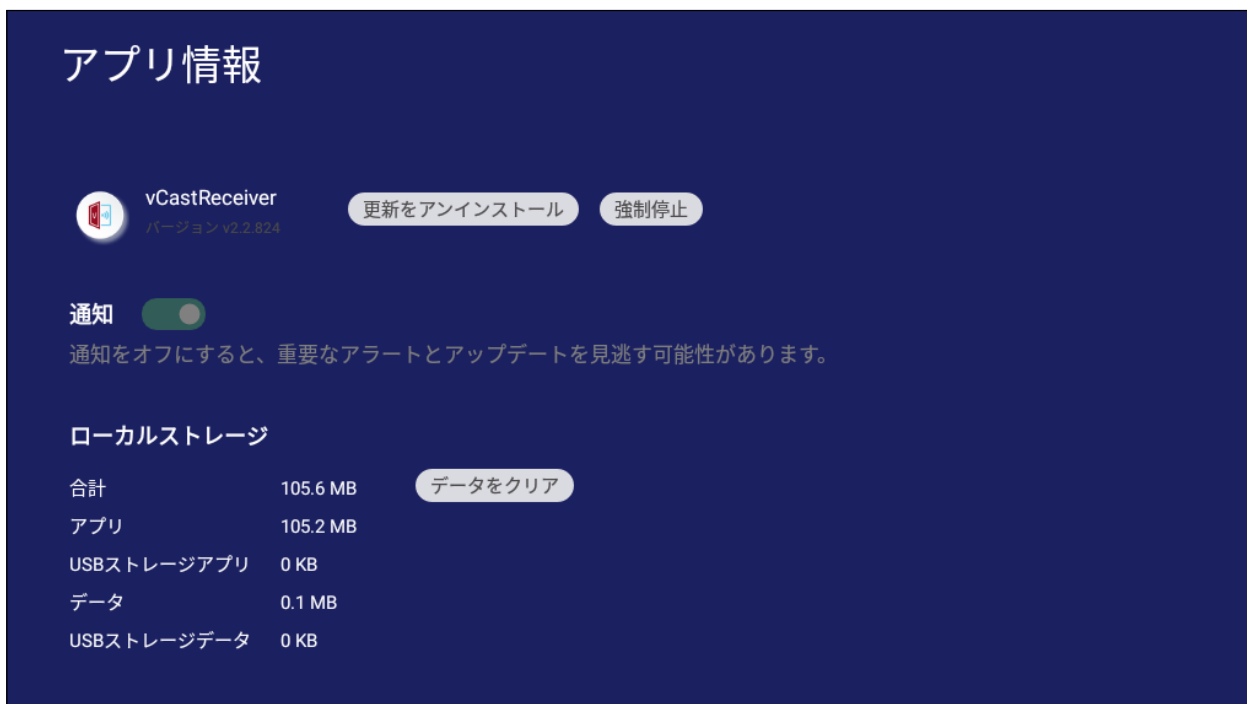
- プリロードされたアプリはアンインストールできません。
- すべてのアプリが、USB ストレージの移行機能をサポートしているわけではありません。
- すべてのアプリがデフォルトのクリアをサポートしているわけではありません。

アプリ

実行中またはインストール済みのアプリケーションを表示します。アプリ詳細とオプションについては、それらをタップしてください。



- 実行中のアプリケーションをタップすると、アプリケーションの詳細を表示したり、停止したり、レポートしたりすることができます。



- すべてまたはダウンロードを選択すると、インストールされているすべてのアプリケーションが一覧表示されます。



- アプリケーションをタップすると、詳細情報とオプションが表示されます。



システム

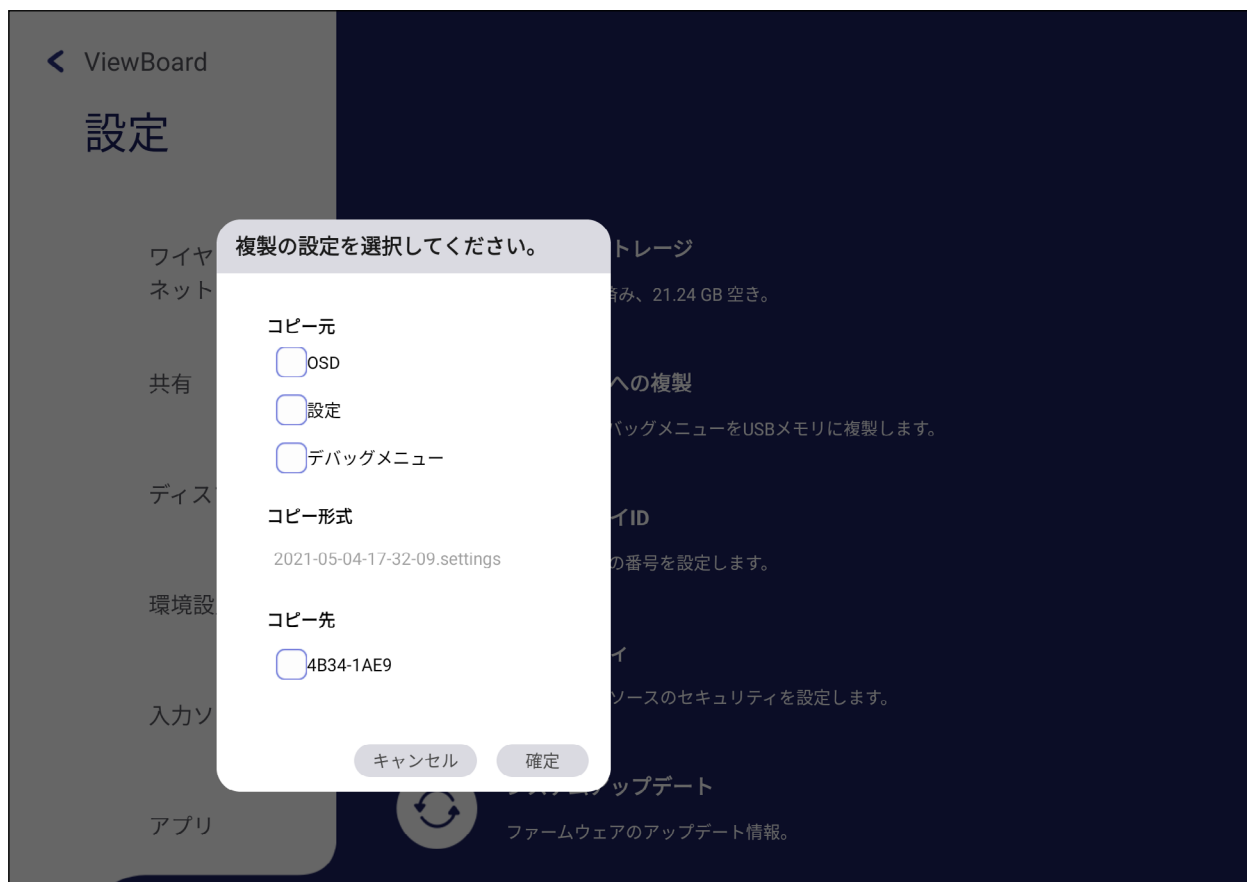
ローカルストレージ、セキュリティ、システムアップデート、および本機について設定を表示および調整します。



USB メモリへの複製

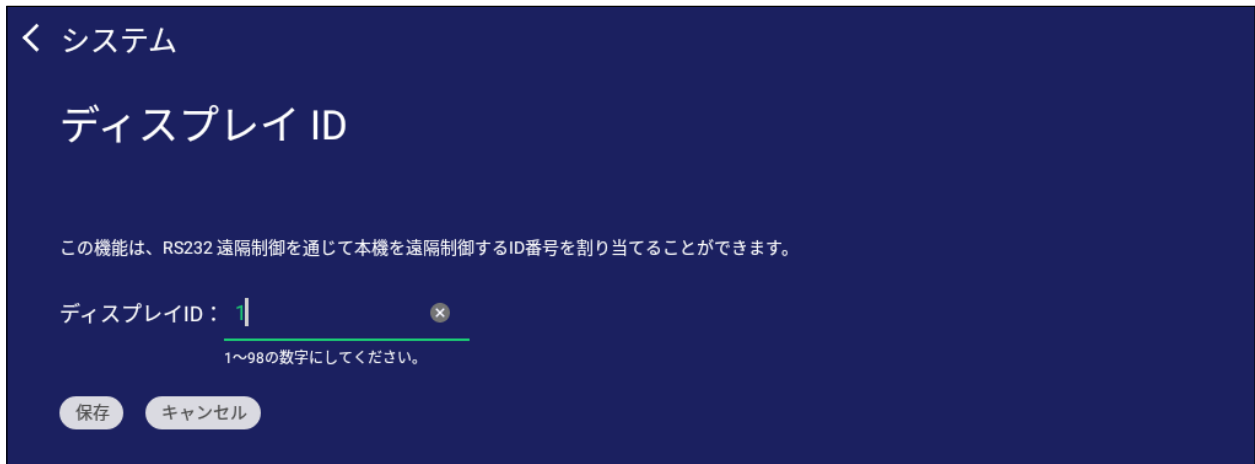
ViewBoard の設定を外部 USB メモリにコピーします。

USB メモリを差し込んでいない場合は、このオプションは選択不可になります。



ディスプレイ ID

RS-232/LAN でディスプレイをリモートコントロールする番号を割り当てます。



- ディスプレイ ID を割り当てまたは変更するには、編集をタップして番号を入力します。



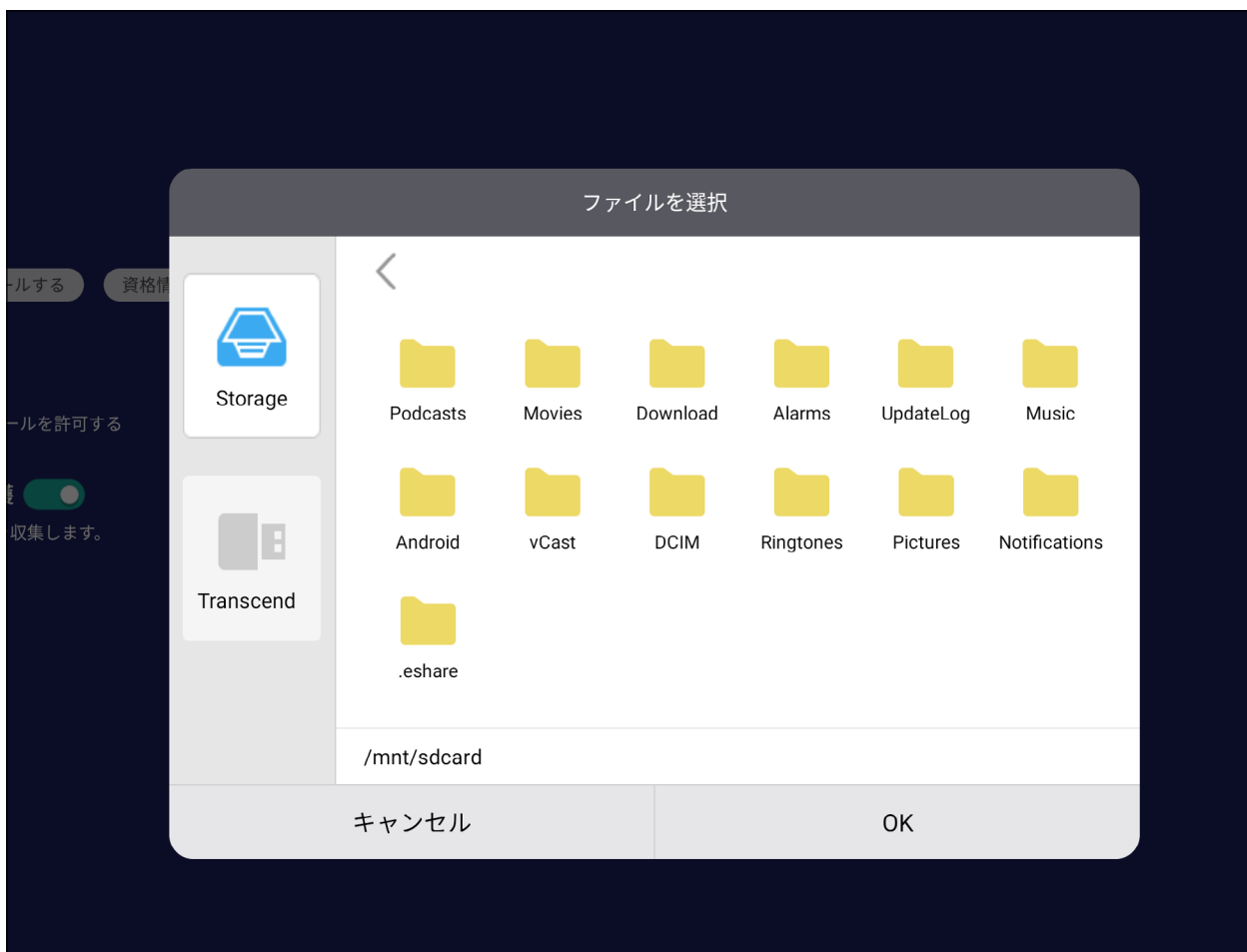
注意事項： ディスプレイ ID は RS-232 ユーザー用で、範囲は 01 ～ 99 です。

セキュリティ

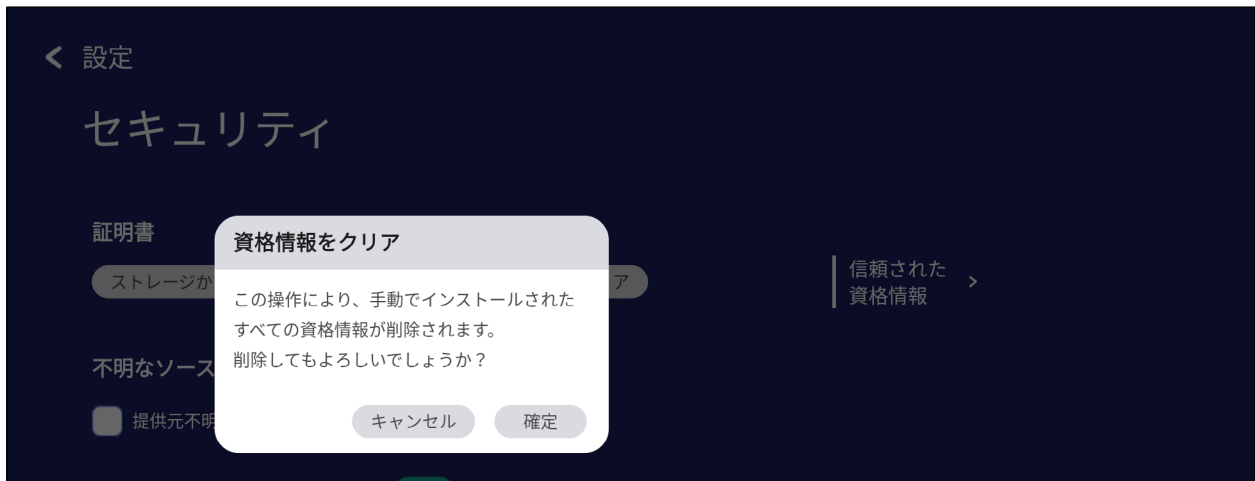
証明書、信頼された資格情報、および不明なソースのセキュリティのインストール設定を確認します。



- ストレージから証明書をインストールするをタップして、証明書を追加します。



- 資格情報をクリアを選択すると、手動でインストールされたすべての資格情報が削除されます。



注意事項： プリロードされた資格情報はクリアできません。

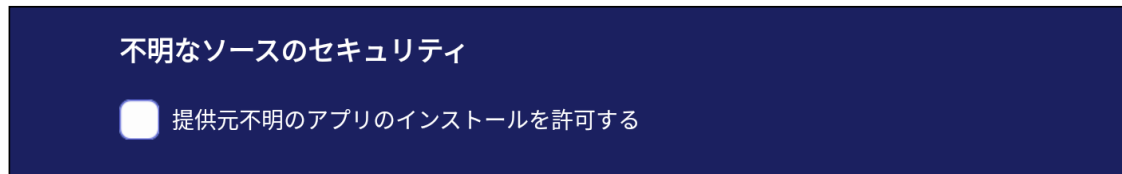
- 信頼された資格情報で、インストールされているすべての CA 証明書を表示および編集します。



- 証明書をタップすると、より詳細な情報が提供されます。



- 不明なソースのセキュリティの下のボックスを選択すると、不明なソースからのアプリケーションのインストールを許可します。



注意事項： ソースが不明なアプリは、互換性がないか、正しく機能しない可能性があります。

システムアップデート

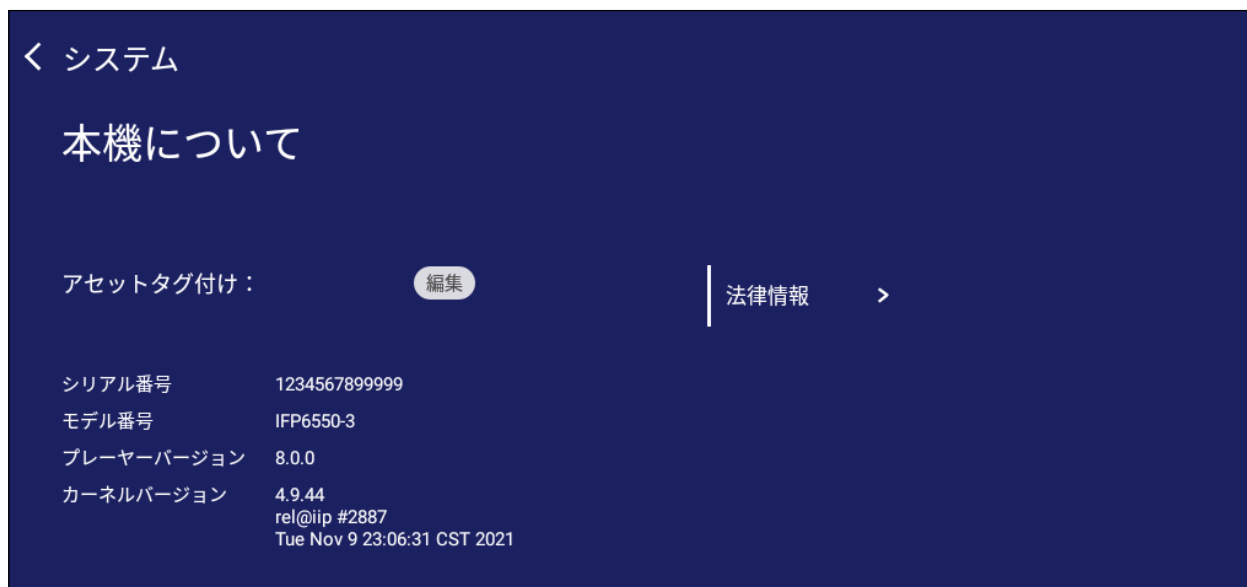
ViewBoard は、ネットワークに接続するたびに、ソフトウェア更新を自動的に検索します。ワンクリックで、ViewBoard ソフトウェアのバージョンを更新することができます。



項目	詳細
自動更新	自動更新の横にあるトグルボタンで自動更新の有効 / 無効を切り替えます。 有効にすると、ViewBoard をオフにする時に、システムは自動的に新しいバージョンをチェックします。新しいバージョンが見つかったら、システムは自動的に更新されます。更新が完了すると、電源が自動的にオフになります。
スケジュール	更新時間を設定します。
手動更新	ソフトウェアを手動で更新します。

本機について

内蔵の vLauncher プレーヤー情報、法律情報、およびアセットのタグ付けを表示します。



- 編集を選択すると、アセットタグ付けを調整することができます。



- 律情報をタップして、オープンソースライセンスを確認することができます。

















> 組み込みアプリケーションと設定

組み込みデジタルホワイトボードアプリ

ViewBoard 内で、ViewSonic は組み込みデジタルホワイトボードアプリ myViewBoard Whiteboard を提供します。






myViewBoard Whiteboard

フローティングバー

	 フローティングバーを動かします。
	 プレゼンテーションモードと準備モードを切り替えます。
	 クリップボードからキャンバスに貼り付けます。
	 クリックしてWebブラウザを開きます
	 前のキャンバスに移動します。
	 次のキャンバスに移動します。
	 新しいキャンバスを追加します。

ツールバー

	フルスクリーンキャプチャ	
	ツールバー移動ボタン	長押しすると、ツールバーが画面の左側、右側、または下部に移動します。
	ファイルボタン	
		
	1. 新しいmyViewBoardファイル 2. ファイルを開く 3. ファイルを保存	4. ファイルとして保存 5. エクスポート 6. 電子メール
	リソース(画像、ビデオ、オーディオなど)をホワイトボードにインポートします。	
	無限キャンバスボタン	両手を使用することで、キャンバスを移動し、キャンバス全体をプレビュー、ズームイン/ズームアウトします。
	選択ボタン	オブジェクト、テキスト、および画像を選択して、他のツールを入手します。
	ペンボタン	ペンツール、色、透明度、厚さなどの変更。
	消しゴム、オブジェクトを消去したりページをクリアしたりします。ダブルクリックすると消しゴムの様式メニューを開きます。	
	図形/線ボタン	図形を作成し、図形の色を選択し、矢印を挿入します。
	テキストボックス	テキストボックスを作成します。

	元に戻すボタン	前のアクションを元に戻します。
	やり直しボタン	前のアクションをやり直します。
	ページ切り替え ボタン	ページの選択、ページの並べ替え、ページの削除を行います。
	現在のホスト情報を表示または非表示にします。	
	ホワイトボードの背景管理メニュー。	

ViewBoardCast

ViewBoard® Cast ソフトウェアである vCastReceiver アプリを使用すると、ViewBoard® は vCastSender ラップトップ画面 (Windows/Mac/Chrome) およびモバイル (iOS/Android) ユーザーの画面、写真、ビデオ、注釈、およびカメラを受信できるようになります。



ネットワーク情報

- ViewBoard® Cast ソフトウェア、PC、およびモバイルデバイスは、同じサブネットとサブネットネットワークの両方に接続できます。
- 接続されたデバイスは、「デバイスリスト」の下に表示されます。
- デバイスが「デバイスリスト」の下に表示されない場合、画面上の PIN コードを入力してください。

ViewBoard Cast はワイヤレスピアツーピアデータ通信であるため、以下のポート設定が必要です。

ポート:

- CP: 56789、25123、8121、および 8000
- UDP: 48689 および 25123

ポートと DNS のアクティブ化:

- ポート: 8001
- DNS: h1.ee-share.com

Windows、Macbook、および Chrome デバイスから送信者をキャスト

ViewBoard®
Cast
Connect & Collaborate

ルームネットワーク:
<Ethernet>
デバイス名:
Cast-5898

vCastSender を起動し、パスワードを入力してください

FELS8F

1 ルームネットワークに接続する 2 vCastSender アプリをダウンロードし、起動する 閉じる

<Ethernet> [以下にアクセスする
http://172.21.4.100:8000
ノートパソコン](http://172.21.4.100:8000) モバイル AirPlay

Mac、Windows、Chrome デバイス:

1. お使いのデバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
2. ViewBoard に表示されているアドレスにアクセスして、アプリケーションをダウンロードします。
3. アプリケーションを起動して、PIN コードを入力するか、「デバイスリスト」をクリックしてから、接続したい「デバイス名」をクリックします。

ViewBoard に接続して PIN コードを入力してください

デバイス名	IP アドレス
Cast-5898	172.21.10.228
Cast-5652	172.21.8.177
Cast-2654	172.21.10.188
Cast-8432	172.21.8.176
Cast-5445	172.21.8.47
Cast-9102	172.21.10.218
ViewSchool	172.21.10.59
DQE ViewBoard	172.21.9.87

注意事項: デバイスが表示されない場合は、Connect with PIN-Code (PIN コードで接続する) をクリックして、ViewBoard に表示される PIN コードを入力してください。

iOS、Android モバイルデバイスから送信者をキャスト



Android/iOS:

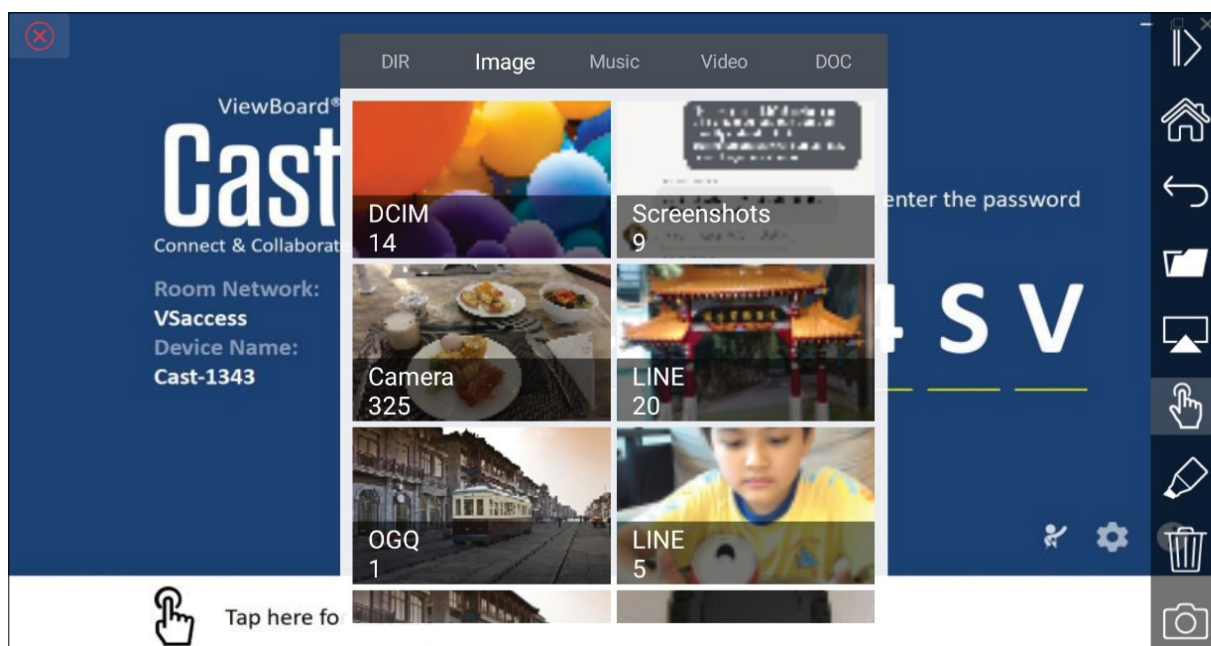
1. お使いのデバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
2. ViewBoard に表示されている QR コードをスキャンして、サーバーから直接ダウンロードするか、Google Play ストアまたは Apple ストアからダウンロードしてください。
3. アプリケーションを起動し、正しいデバイス名を選択して、接続する PIN を入力してください。ViewBoard に表示されている PIN コードを直接入力して接続することもできます。










Apple AirPlay®:

4. デバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
5. AirPlay を直接開き、接続するデバイス名を選択してください。
6. 別の「AirPlay パスワード」が接続用に画面上に生成されます。



iOS、Android モバイルデバイスによる操作




項目	詳細
 切り替え	クリックして、ツールバーを表示または非表示します
 ホーム	クリックして、ホームページに戻ります
 戻る	クリックして、前に操作インターフェイスに戻ります
 フォルダ	クリックして、モバイルデバイスの内部ファイルを表示または開きます
 画面共有	クリックして、画面を共有します (Android 5.0 以上バージョンでサポートされます)
 タッチ	クリックして、タッチモードに切り替えます
 ペン	クリックして、注釈を作成し、色や太さを変更します
 クリア	クリックして、画面上のすべてを消去します
 カメラ	クリックして、カメラを使用して、画像を ViewBoard に送信します

画面レコーダー

画面に表示されているすべての動作をビデオ形式でキャプチャします。



画面レコーダアプリケーションを起動するには：

1. ホーム画面のアプリケーションエリアから画面レコーダアプリケーションのアイコンを選択します。
2.  アイコンをタップし、ご希望の記録設定を選択します。次に、チェックマークをタップします。

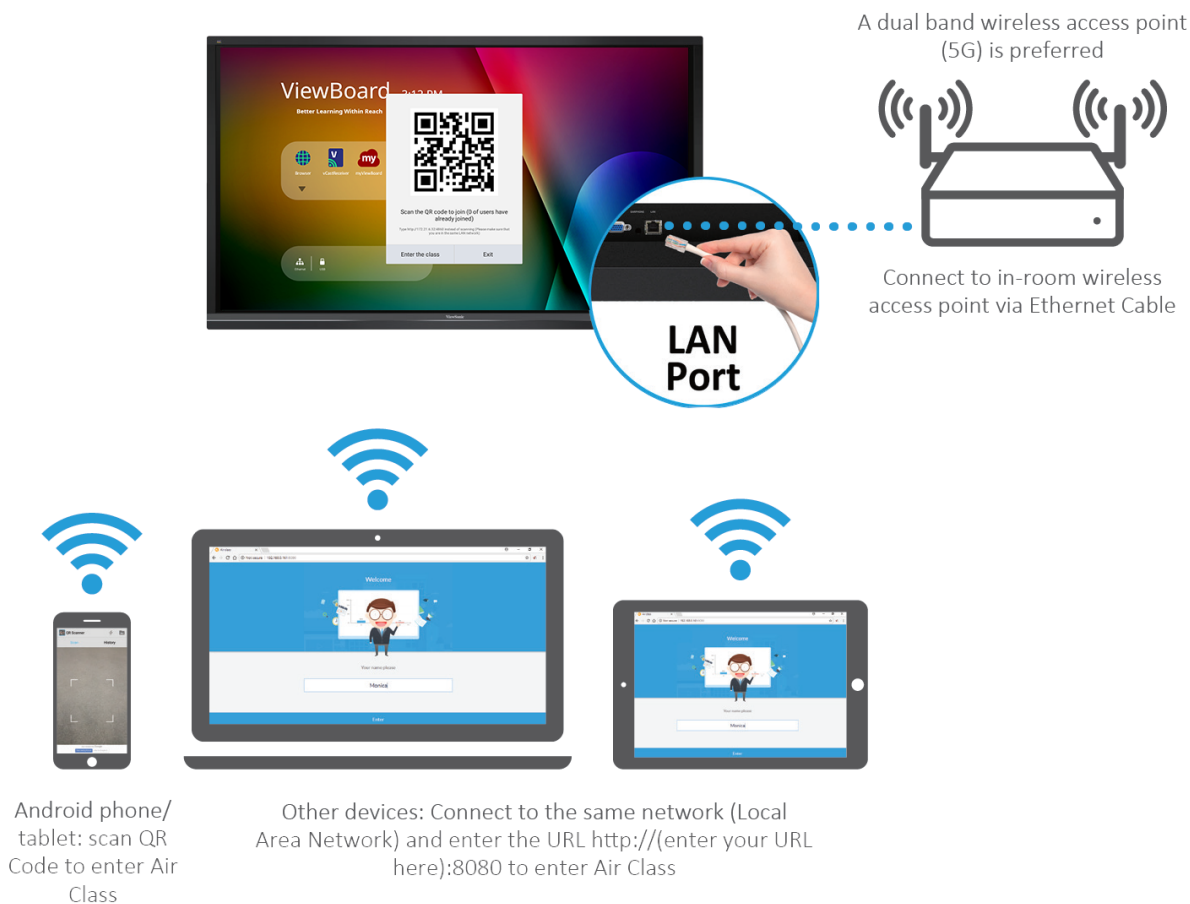


3. 「Start Now」を選択し、3 秒のカウントダウンが開始されます。画面の記録は、カウントダウンの直後に開始されます。
4. 録画を停止すると、ビデオをプレビュー、保存、または破棄できるようになります。

Air Class

ViewBoard 上にクイズを表示し、最大 30 人のモバイルユーザーが遠隔から解答を送信できるようにします。ViewBoard は、単一選択または多肢選択の問題を出し、使用される各デバイスの結果を記録します。

Air Class

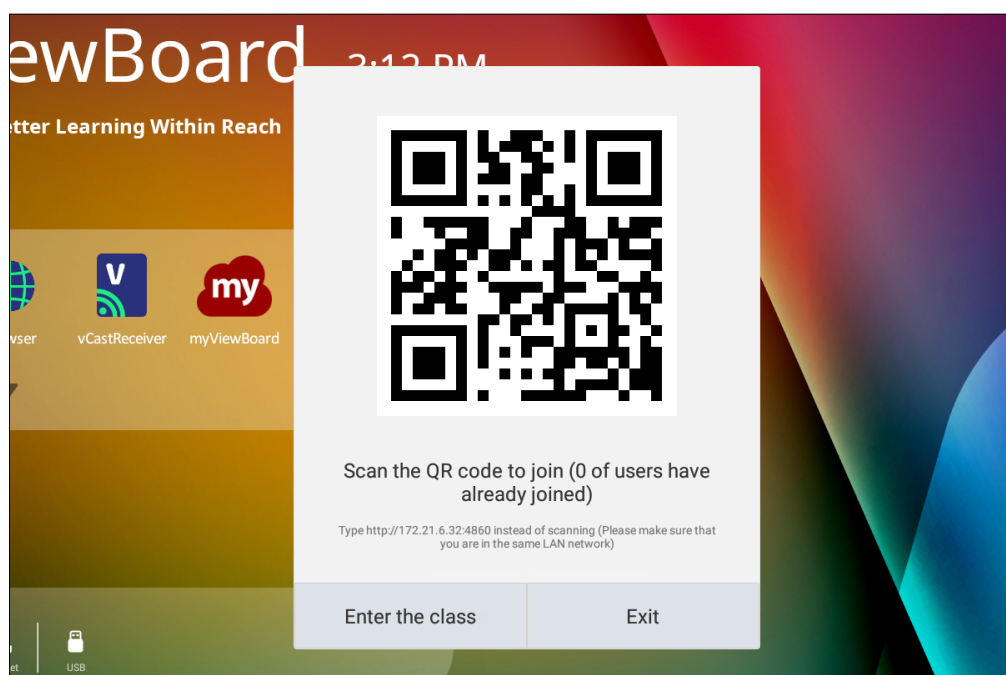


ネットワーク情報

- PC (Windows/Mac/Chromebook)、タブレット / モバイルデバイス (iOS/Android)、ViewBoard が、同じ LAN ネットワークのサブネットに接続されていることが必要です。
- ポート: TCP 8080









Air Class を起動するには：

1. ツールバーのトリガーアイコンをタップして、その他のツールアイコンを選択します。次に、Air Class アイコンを選択します。
2. 「Enter the class (クラスに入る)」を選択します。



3. 画面の下部から、利用可能な対話型機能を選択します。



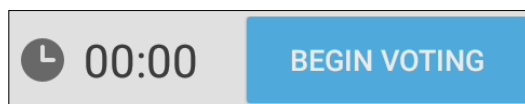
項目	詳細
 Voter (選択問題)	単一選択および多肢選択の問題。
 Judge (正誤問題)	正誤問題。
 Responder (早押しクイズ)	最初の解答を競います。
 Selector (参加者選択)	参加者をランダムに選択します。
 Grouping (グループ化)	参加者をグループに割り当てます。
 Message (メッセージ)	参加者に ViewBoard へのダイレクトメッセージを許可 / 不許可にします。
 Manager (管理)	参加者を追加します。
 終了	Air Class を終了します。

Voter (選択問題)

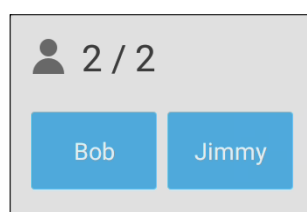
1. Single choice (単一選択) または Multiple choice (多肢選択) アイコンを選択して、解答の種類を選択します。



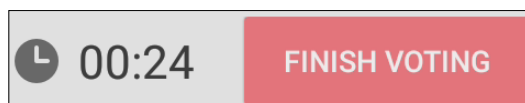
2. BEGIN VOTING (開始) をタップして、参加者が開始できるようにします。



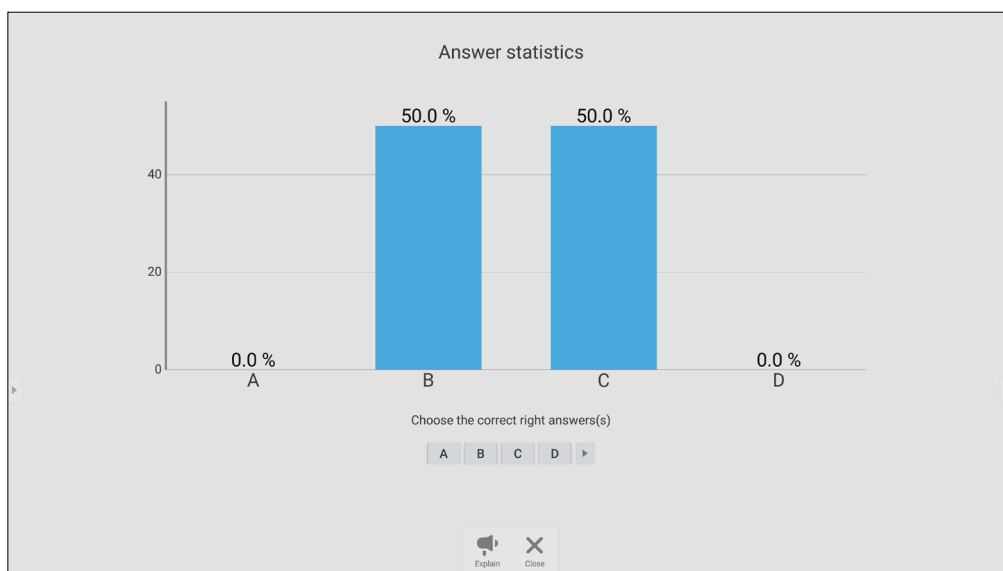
3. 参加者が解答を完了したら、OK を押します。ViewBoard が参加者の名前を画面に表示します。



4. FINISH VOTING (終了) をタップして、クイズを終了します。




5. 次に「Answer Statistics (回答統計)」が表示されます。



6. Right answer (正解) を選択して、正解率を表示します。

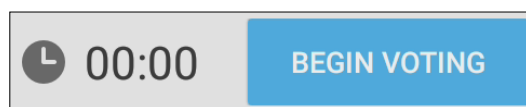


7. Explain (説明) アイコン() をタップして、ウィンドウが縮小になり、トピックをさらに分析します。

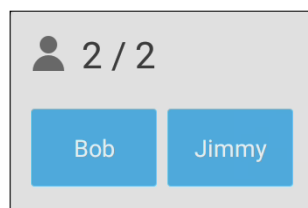
The image shows a digital whiteboard interface. At the top, the equation $2 \times 3 =$ is written in white. Below it are four multiple-choice options: A. 7, B. 6, C. 9, and D. 4. The numbers 7, 6, and 9 are written in yellow, while 4 is in white. On the left side, there is a vertical toolbar with various drawing and editing tools. At the bottom, there is a horizontal toolbar with icons for "Voter", "Judge", "Responder", "Selector", "Message", "Manager", and "Exit". In the bottom right corner, a small window titled "Answer statistics" is open, showing a bar chart with the same data as in step 6: B and C at 50.0%, and A and D at 0.0%.

Judge (正誤問題)

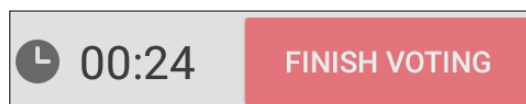
1. BEGIN VOTING (開始) をタップして、参加者が正誤問題を開始できるようにします。



2. 参加者が回答を完了したら、OK を押します。ViewBoard が参加者の名前を画面に表示します。



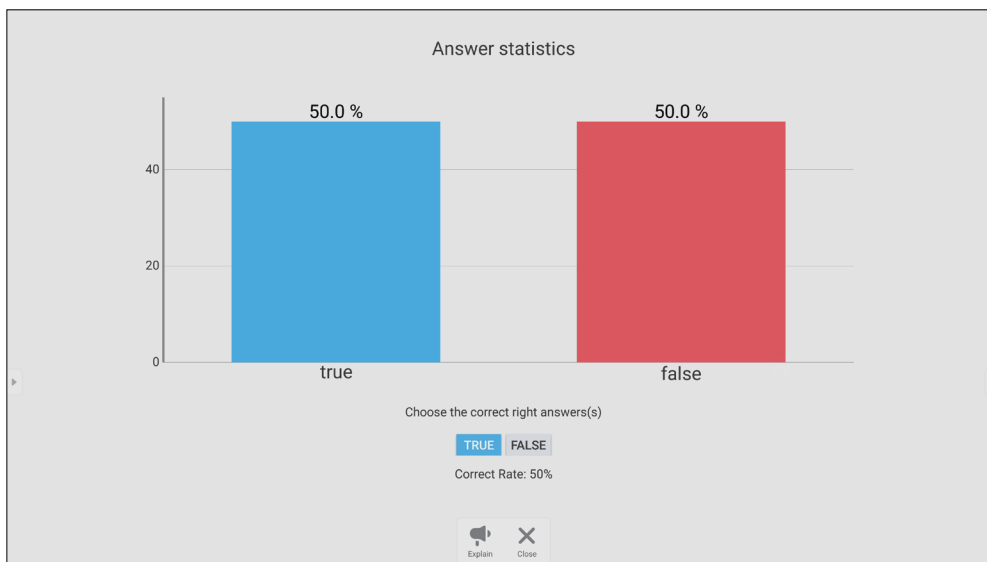
3. FINISH VOTING (終了) をタップして、クイズを終了します。




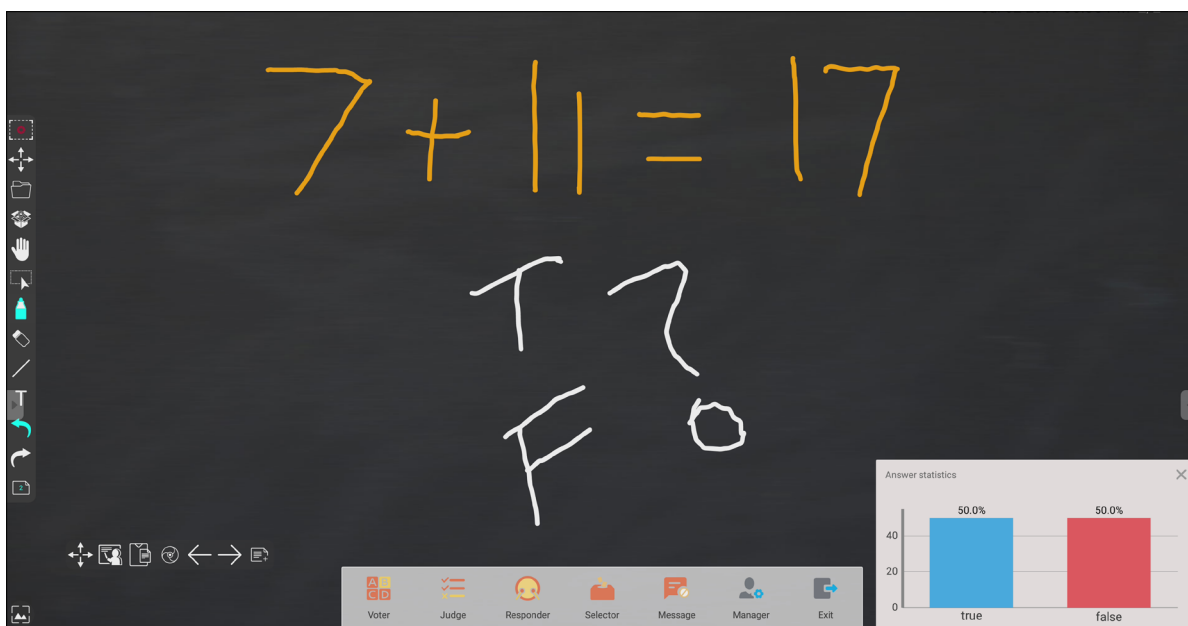
4. 次に「Answer Statistics (回答統計)」が表示されます。



5. Right answer (正しい回答) を選択して、正解率を表示します。

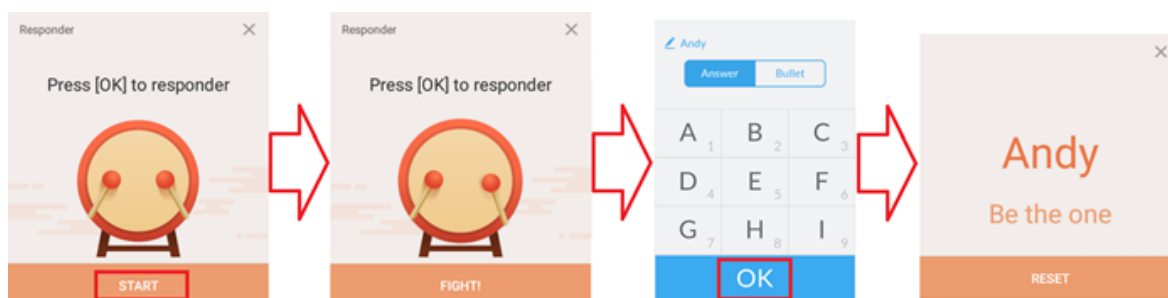


6. Explain (説明) アイコン() をタップして、ウィンドウが縮小になり、トピックをさらに分析します。



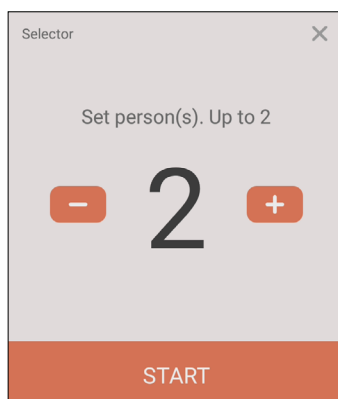
Responder (早押しクイズ)

参加者は解答を選択し、OK をタップして、解答を送信します。



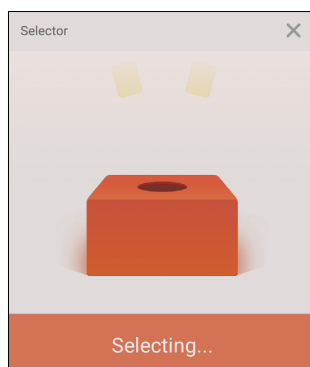
Selector (参加者選択)

1. Selector (参加者選択) アイコンをタップします。
2. 選択する参加者の数を設定します。

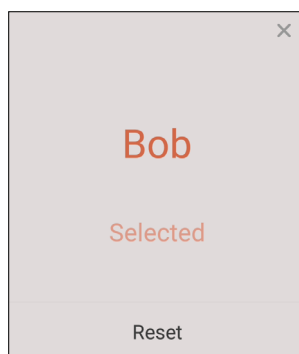


注意事項: 選択できる参加者の数は、参加者の総数に基づきます。

3. START (開始) をタップして、ランダム選択を開始します。



4. 選択された参加者の名前が表示されます。



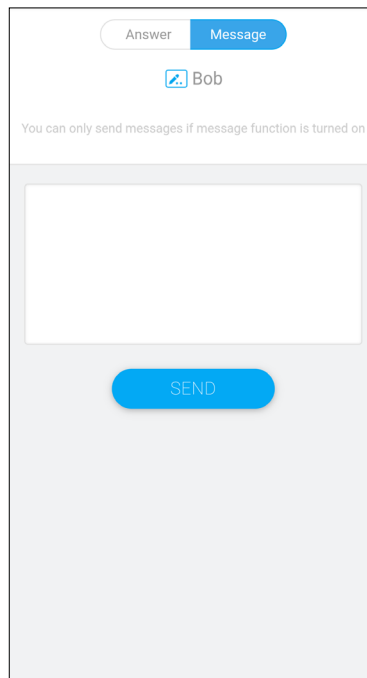
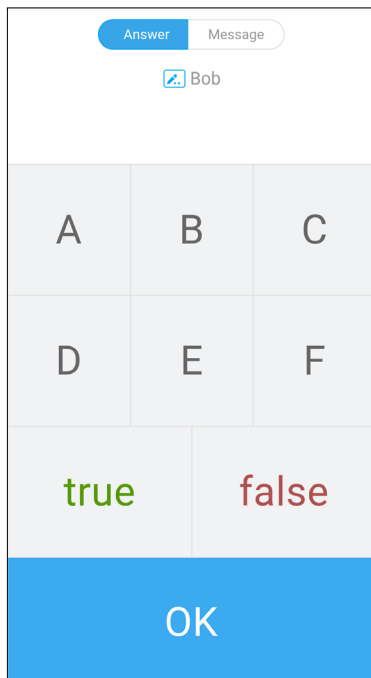
Grouping (グループ化)

アイコンをタップして、参加者をグループに割り当てます。

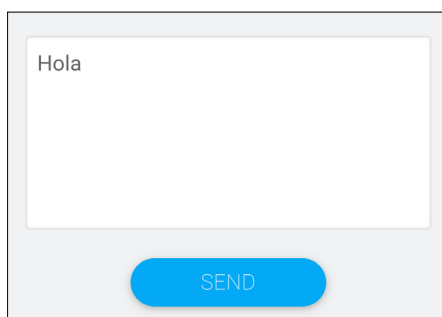
Message (メッセージ)

メッセージを許可する場合：

1. 「Message (メッセージ)」アイコンをタップして、機能を有効にします。
2. 参加者は、「Message (メッセージ)」を選択して、メッセージボックスに切り替えます。



3. 参加者は、メッセージを入力し、SEND (送信) を選択します。



4. メッセージは、ViewBoard の上部にスクロールされます。

Manager (管理者)

アイコンをタップして、参加者がクラスに参加できるようにします。

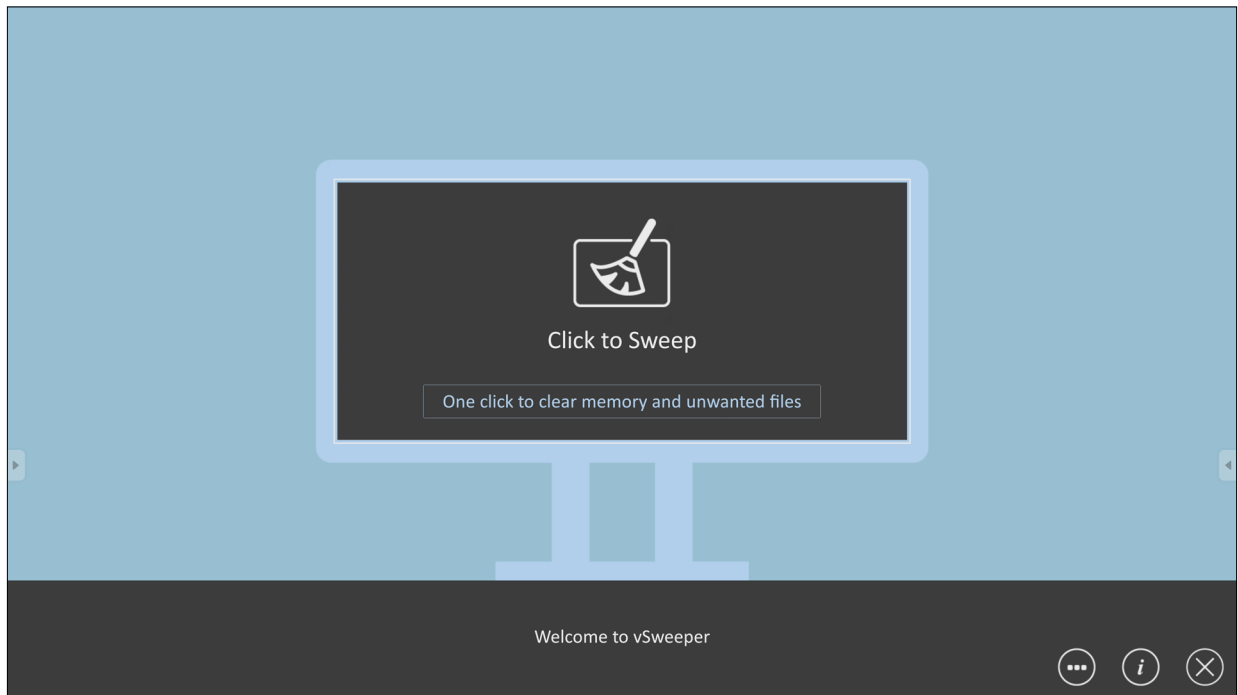
終了

選択して、エアクラスのインターフェイスを終了します。

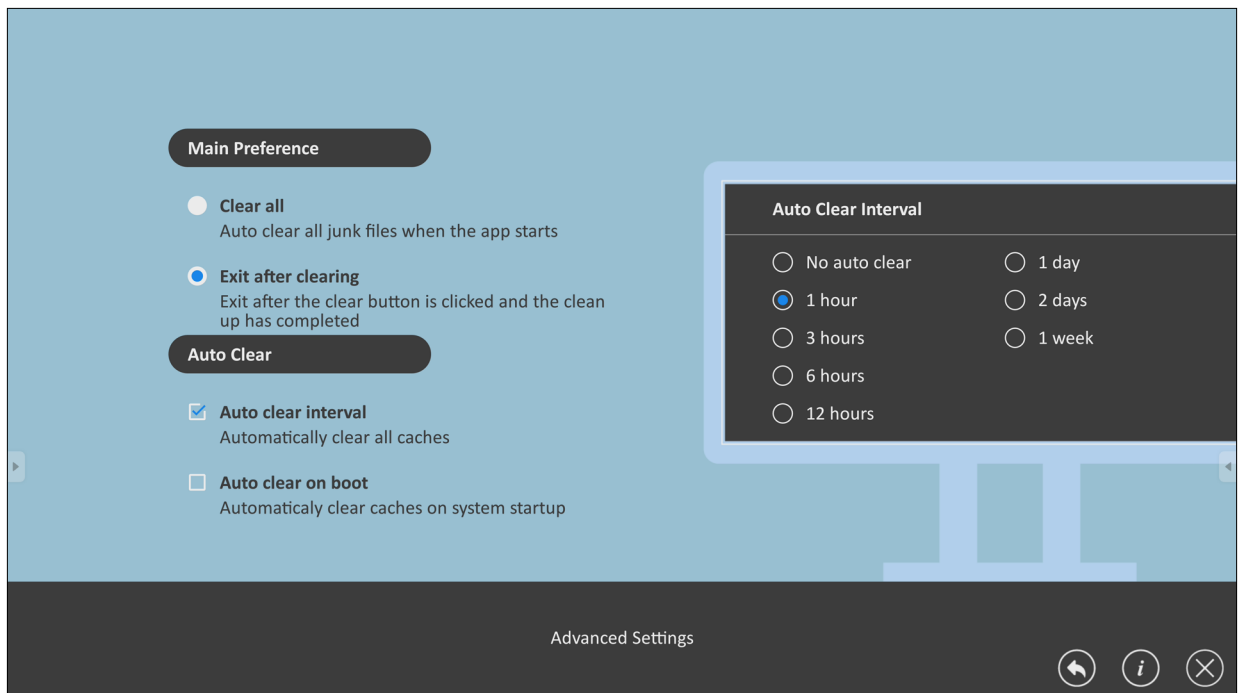
その他のデフォルトアプリケーション

vSweeper

不要なデータと不要なファイルをクリアします。



詳細設定は、ユーザーのニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。



画面ロック

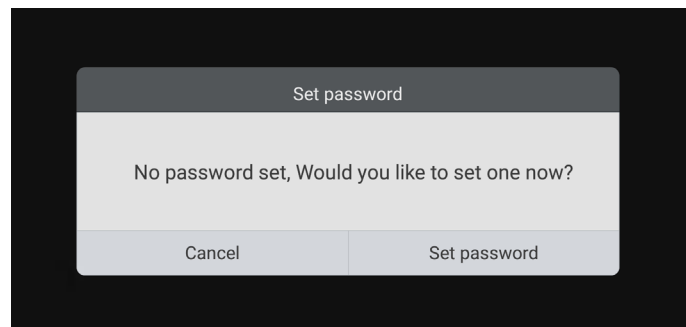
画面ロックパスワードを設定し、画面ロックを有効にします。

注意事項： ユーザーがパスワードを忘れた場合は、リモコンを使用して **INPUT-0-2-1-4** を押して、パスワードをデフォルトに戻します。

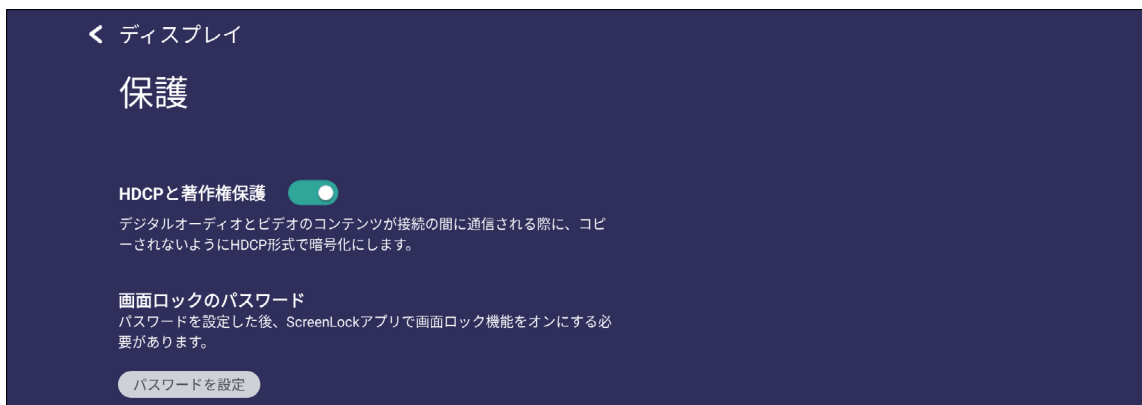
画面ロックのパスワードを設定するには：

1. 以下手順のように進みます：設定 > ディスプレイ > 保護 > 画面ロックのパスワード、またはアプリリストで画面ロックのアイコンを選択します。

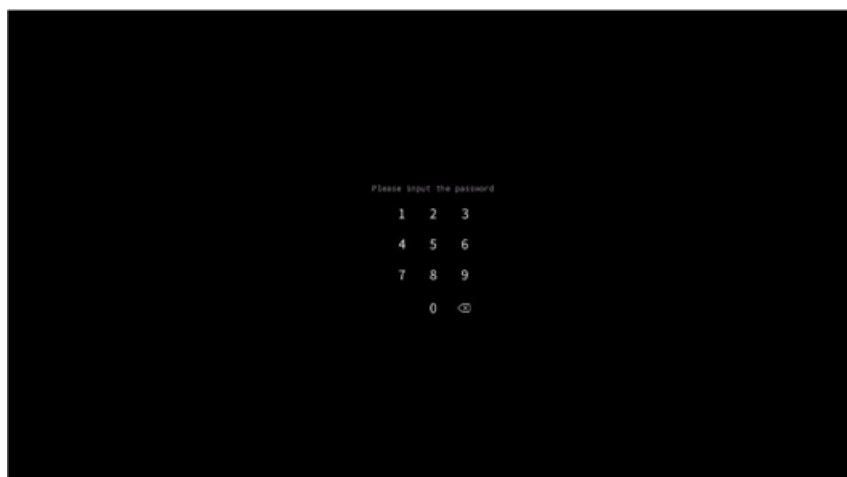
注意事項： 画面ロックアイコンを選択し、パスワードが設定されていない場合、次のメッセージが表示されます。



2. パスワードを設定を選択し、新しい4桁のパスワードを入力します。次に、OKを選択して、確定を押してください。



3. これで、画面がロックされました。

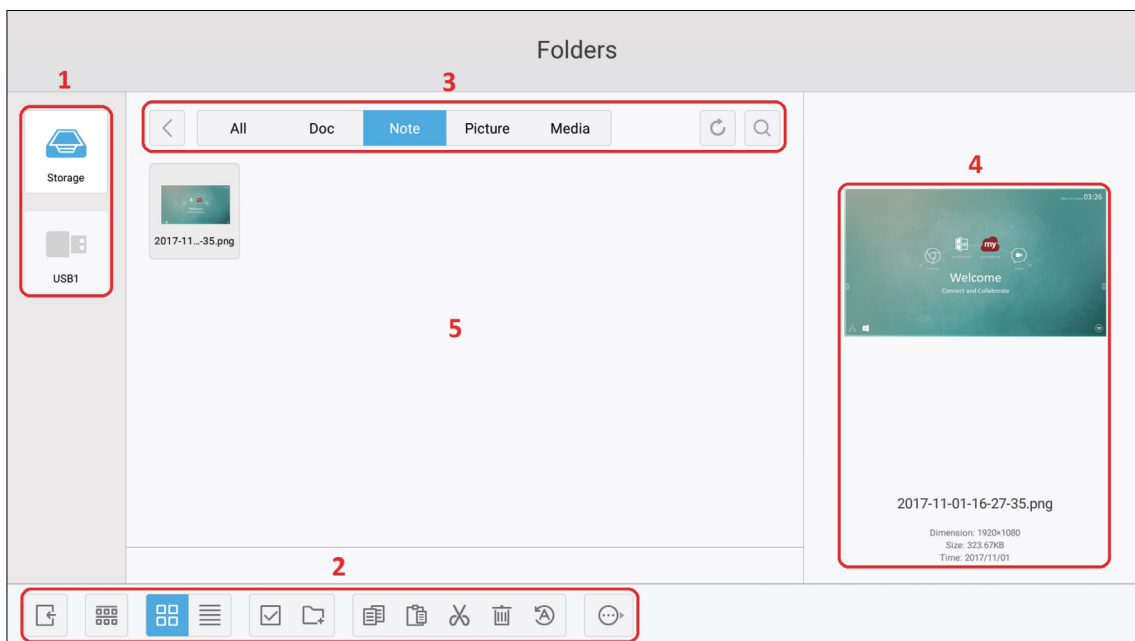


Chromium

インターネットサーフィン用の Web ブラウザ。



フォルダ



1. ストレージデバイスの表示

適切なストレージデバイスを選択します。

2. アイコン

項目	詳細
終了	クリックして終了します。
ソード	クリックしてファイルをソードします。
サムネイル	クリックすると、サムネイルモードでファイルが表示されます。
リスト	クリックすると、ファイルがリストモードで表示されます。
選択	クリックしてファイルを選択します。
フォルダの追加	クリックしてフォルダを追加します。
コピー	クリックしてファイルをコピーします。
貼り付け	クリックしてファイルを貼り付けます。
切り取り	クリックしてファイルを切り取ります。
削除	クリックしてファイルを削除します。
名称変更	クリックしてファイルの名前を変更します。
その他	クリックしてその他の機能を表示します。

3. ファイルタイプメニュー

項目	詳細
すべて	すべてのタイプ
Doc	Office ファイル
注意事項	myViewBoardにより保存された画像、サイドツールバー、リモコンの画面キャプチャボタン。
ピクチャ	画像ファイル
メディア	オーディオおよびビデオファイル

4. ファイル情報

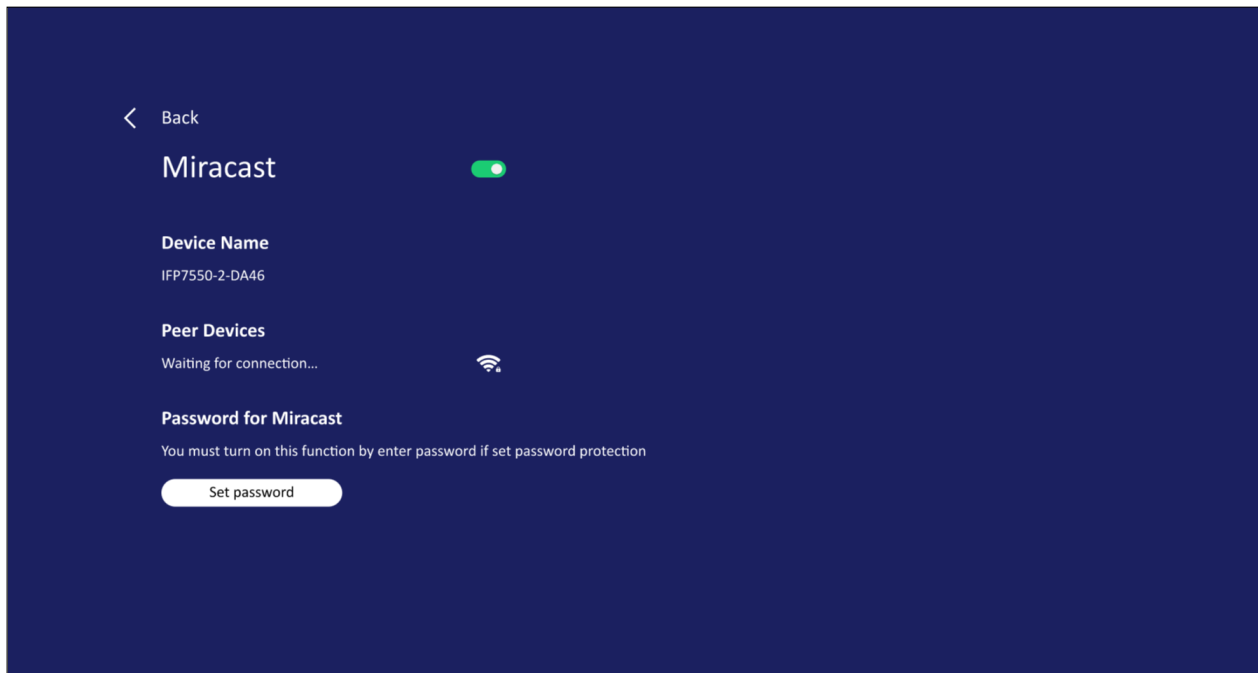
画像をプレビューし、画像の名前、サイズ、解像度、作成日を表示します。

5. メイン表示領域

対応するタイプのファイルを表示します。

Miracast

Miracast により、マルチメディアおよび接続されたデバイスの画面をワイヤレスで共有することができます。



注意事項： お使いのデバイスのハードウェアドライバーとオペレーティングシステム (OS) に関連する互換性の問題がある場合があります。

> RS-232 プロトコル

本章では、ViewSonic L と PC または RS-232 プロトコルを使用するその他の制御ユニットとの間の RS-232 インターフェイス通信のハードウェアインターフェイス仕様とソフトウェアプロトコルについて説明します。

プロトコルには 3 つのコマンドセクションがあります：

- Set- 関数
- Get- 関数
- リモコンパススルーモード

注意事項： 下記では、RS-232 プロトコルコマンドを送受信できるすべての制御装置を表します。

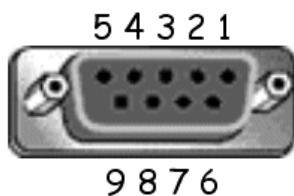
詳細

RS-232 ハードウェア仕様

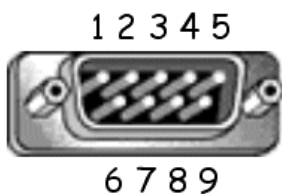
背面にある ViewSonic LFD 通信ポート：

1. コネクタのタイプ：DSUB 9 ピンオス型 (または 3.5 mm バレルコネクタ)
2. 接続にクロスオーバー (ヌルモデム) ケーブルを使用する
3. ピンの配置

メス型 DSUB 9 ピン



オス型 DSUB 9 ピン



3.5 mm バレルコネクタ
(限られたスペース用の代替)



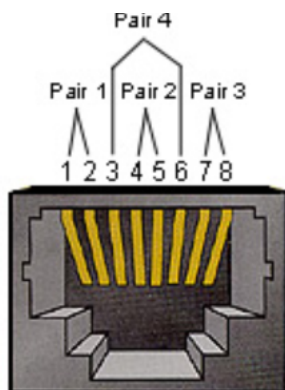
ピン番号	信号	備考
1	NC	
2	RXD	ディスプレイへの入力
3	TXD	ディスプレイからの出力
4	NC	
5	GND	
6	NC	
7	NC	
8	NC	外部の特定の dongle *3.0 に対して +5V/2A の電源を供給する
9	NC	
メス型	GND	

項目	信号	備考
先端	TXD	ディスプレイからの出力
リング	RXD	ディスプレイへの入力
スリーブ	GND	

LAN ハードウェア仕様

背面にある ViewSonic LFD 通信ポート:

1. コネクタのタイプ: 8P8C RJ45
2. ピンの配置



ピン番号	信号	備考
1	TX+	ディスプレイからの出力
2	TX-	ディスプレイからの出力
3	RX+	ディスプレイへの入力
4	BI_D3+	1G ケースの場合
5	BI_D3-	1G ケースの場合
6	RX-	ディスプレイへの入力
7	BI_D4+	1G ケースの場合
8	BI_D4-	1G ケースの場合
メス型	GND	

RS232 通信設定

- ボーレート選択: 9600bps (固定)
- データビット: 8 ビット (固定)
- パリティ: なし (固定)
- ストップビット: 1 (固定)

LAN 通信設定

- タイプ: イーサネット
- プロトコル: TCP/IP
- ポート: 5000 (固定)
- クロスサブネット: いいえ
- ログイン資格情報: いいえ

コマンドメッセージリファレンス

PC から、LED コマンドパッケージに続いて「CR」が送信されます。PC からディスプレイに制御コマンドが送信される度に、ディスプレイは毎回以下のように応答します:

1. メッセージを正しく受信した場合、「+」(02Bh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。
2. メッセージを誤って受信した場合、「-」(02Dh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。

プロトコル

Set- 関数リスト

PC からディスプレイの特定の動作を制御できます。Set- 関数コマンドを使用すると、RS-232 ポートを通してリモートサイトのディスプレイの動作を制御できます。Set- 関数パッケージフォーマットは 9 バイトです。

Set- 関数の説明:

- 長さ:** 「CR」を除くメッセージの総バイト数
- LFD ID** 各ディスプレイの ID (01 ~ 98、デフォルトは 01)。
ID「99」は、接続されているすべてのディスプレイに set コマンドを適用することを意味します。このような状況では、ID#1 ディスプレイのみが応答する必要があります。
LFD ID は、各ディスプレイの OSD メニューから設定できます。
- コマンドタイプ** コマンドタイプの説明
「s」(0x73h)：コマンドを設定する
「+」(0x2Bh)：有効なコマンド応答
「-」(0x2Dh)：無効なコマンド応答
- コマンド:** 関数コマンドコード：1 バイトの ASCII コード。
- 値[1~3]:** 値を定義する 3 バイトの ASCII。
- CR** 0x0D

Set- 関数形式

送信: (コマンドタイプ = 「s」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1		4	5	6	7	8	9

応答: (コマンドタイプ = 「+」または「-」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5

注意事項: PC がすべてのディスプレイ (ID = 99) にコマンドを適用した場合、1 番目のセットのみが ID = 1 の名称で応答する必要があります。

例 1: ディスプレイ (#02) の輝度を 76 に設定する場合、このコマンドは有効です

送信(16進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
16進数	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x36	0x0D

応答(16進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2B	0x0D

例 2: ディスプレイ (#02) の輝度を 75 に設定する場合、このコマンドは有効ではありません

送信(16進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x35	0x0D

応答(16進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2D	0x0D

Set 関数表:

A. 基本機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲 (3つのASCIIバイト)	コメント	
			タイプ(ASCII)	コード (ASCII)			コード(16 進)
電源オン/オフ(スタンバイ)	8		s		21	STBY 001: オン 1. LAN制御による電源投入は、特定のモード下でのみ機能する場合があります。詳細については、ディスプレイUGを参照してください。 2. 代わりに、「WOL by MACアドレス」を利用できる場合があります。*3.2.1	
Input Select (入力選択)	8		s		22	000: TV (テレビ) 001: AV 002: Sビデオ 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: スロットイン PC (OPS/SDM)/ HDBT 008: 内蔵メモリ 009: DP 00A: 組み込み/メイン(Android)	1. USB不要 2. 同じソースが2つある場合は、2番目の数字が拡張子を表わすために使用されます。 3. 00Aの16進は30 30 41です。
Brightness (輝度)	8		s		24	900: 明るさを上げる(-1) 901: 明るさを下げる(+1) *3.1.1	
バックライト*3.2.0	8		A	B	42	000 ~ 100	1. メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2. 色校正から抽出されません。
電源ロック	8		s	4	34	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
Volume (音量)	8		s	5	35	000 ~ 100 900: Volume (音量) ダウン (-1) 901: 音量アップ (+1)	
Mute (ミュート)	8		s	6	36	000: オフ 001: オン(ミュート)	

ボタンロック	8		s	8	38	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
メニューロック	8		s		3E	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
数字*3.1.1	8		s		40	000~009	
キーパッド*3.1.1	8		s	A	41	000: 上 001: 下 002: 左 003: 右 004: 入力 005: インプット 006: メニュー/(終了) 007: 終了	
リモコン	8		s	B	42	000: Disable (オフ) 001: Enable (オン) 002: パススルー	オフ: RCUは機能しません オン: RCUが正常に制御します パススルー: ディスプレイはRCコードを迂回して、接続された機器へとRS-232ポートを通して進みますが、ディスプレイ自体は反応しません。
デフォルトを復元	8		s		7E	000	工場出荷時設定に復元

注意事項：

1. ロックモードでの動作

ロックモード	動作
ボタンロック	<ol style="list-style-type: none"> 「電源」ボタンを除く、フロントパネルと RCU のすべてのボタンをロックします すべての SET 関数は、Mute など RCU のホットキーに準じている場合でも、RS-232 を経由して動作する必要があります。
メニューロック	<ol style="list-style-type: none"> フロントパネルと PCU の「MENU」キーをロックします 工場モードとホスピタリティモードは、MENU 組み合わせキーを使って、これらのモードに移行するモデルの場合、ブロックされないことが必要です。モデルにより制限がある場合、代替アプローチは個別に提示されます。
電源ロック	<ol style="list-style-type: none"> フロントパネルと PCU の「POWER」キーをロックします。 SET_POWER が RS-232 を経由して動作する必要があります。ただし、この場合、POWER ロックが解除されることを意味するものではありません。 OSD 設定で再設定することにより、ロック解除できなくなります。 電源ロック時に自動的に AC 電源をオンにする 電源ロック時に、これを設定すると、PC 信号がない場合でも、省エネモードに移行しません、また 15 分間ビデオ信号がない場合でもオフになりません。
リモコンオフ	RCU キーをロックしますが、フロントパネルのボタンを動作し続けます。

2. SET 電源オンの代替としての MAC アドレスによるウェイクオン LAN (長さ =126 バイト)

6バイト	6バイト(#1)	6バイト(#2)		6バイト(#16)	24バイト
0xFF FF ... FF	MAC アドレス	MAC アドレス		MAC アドレス	0x00 00 ... 00

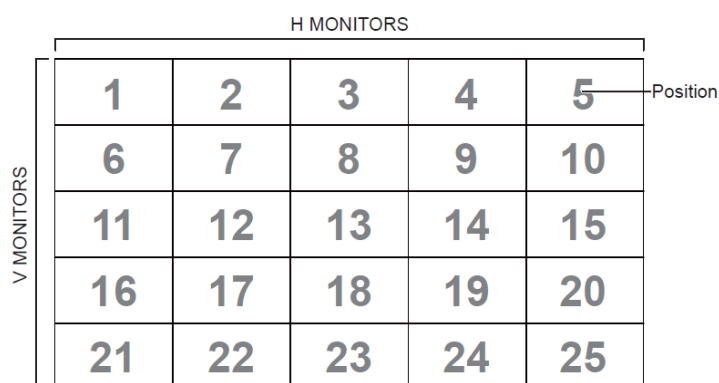
B. オプション機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲 (3つのASCIIバイト)	コメント	
			タイプ(ASCII)	コード (ASCII)			コード(16 進)
Contrast(コントラスト)	8		s		23	000 ~ 100	
Sharpness(シャープネス)	8		s		25	000 ~ 100	
Color(色)	8		s		26	000 ~ 100	
Tint(色合い)	8		s		27	000 ~ 100	
Backlight On_Off	8		s		29	000: Off(オフ) 001: On(オン)	
色モード	8		s		29	000: ノーマル 001: Warm(暖色) 002: 冷色 003: パーソナル	
サラウンドサウンド	8		s		2D	000: オフ 001: オン	
低音	8		s		2E	000 ~ 100	
高音	8		s		2F	000 ~ 100	
バランス	8		s	0	30	000 ~ 100	050は中央です
画像サイズ	8		s	1	31	000: フル(16:9) 001: ノーマル(4:3) 002: リアル(1:1) *3.1.0	
OSD言語	8		s	2	32	000: English 001: フランス語 002: スペイン語	モデルによっては対応言語を増やすために拡張可能
PIP-モード	8		s	9	39	000: オフ 001: PIP(POP) 002: PBP	
PIP-サウンド選択	8		s		3A	000: メイン 001: サブ	
PIP-位置	8		s		3B	000: 上 001: 下 002: 左 003: 右	
PIP-入力	8		s	7		000: TV 001: AV 002: Sビデオ 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: スロットインPC (OPS/SDM)/HDBT 008: 内蔵メモリ 009: DP 00A: 組み込み/メイン (Android)	値の範囲はSET-入力選択と同じ

タイルモード	8		s	P	50	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用)
タイル補正	8		s	Q	51	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用) ベゼル幅補正
Vモニターによるタイル水平	8		s	R	52	01x~09x: H 0x1~0x9: V	(ビデオウォール用) 1. 水平モニター用の2番目の桁 2. 垂直モニター用の3番目の桁
タイル位置	8		s	S	53	001~025	(ビデオウォール用) 位置#の画面を識別されたディスプレイにコピー
日付: 年	8		s	V	56	Y17~Y99	最後の2桁
日付: 月	8		s	V	56	M01~M12	2桁
日付: 日	8		s	V	56	D01~D31	2桁
時刻: 時間	8		s	W	57	H00~H23	24時間形式。2桁
時刻: 分	8		s	W	57	M00~M59	2桁
時刻: 秒	8		s	W	57	S00~S59	2桁

注意事項：

1. 水平モニター、垂直モニター、位置のタイル定義



2. 日付設定の例

日付:

送信: 0x 38 30 31 73 56 59 31 37 0D (“Y17”)

送信: 0x 38 30 31 73 56 4D 30 33 0D (“M03”)

送信: 0x 38 30 31 73 56 44 31 35 0D (“D15”)

3. 時刻設定の例

時刻:

送信: 0x 38 30 31 73 57 48 31 36 0D (“H16”)

送信: 0x 38 30 31 73 57 4D 32 37 0D (“M27”)

送信: 0x 38 30 31 73 57 53 35 39 0D (“S59”)

Get- 関数リスト

PC から LFD に特定の情報を問い合わせることができます。Get- 関数パケット形式は 9 バイトで構成されており、Set- 関数パケットの構造と似ています。「値」バイトは常に = 000 です。

Gt- 関数の説明:

- 長さ:** 「CR」を除くメッセージの総バイト数。
- TV/DS ID** 各TV/DSのID (01~98、デフォルトは01)。
- コマンドタイプ** コマンドタイプの説明
「g」(0x67h): コマンドを取得する
「r」(0x72h): 有効なコマンド応答
「-」(0x2Dh): 無効なコマンド応答
- コマンド:** 関数コマンドコード: 1バイトのASCIIコード。
- 値[1~3]:** 値を定義する3バイトのASCII。
- CR** 0x0D

Get- 関数形式

送信: (コマンドタイプ = 「g」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答: (コマンドタイプ = 「r」または「-」)

コマンドが有効な場合はコマンドタイプ = 「r」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

コマンドが有効でない場合はコマンドタイプ = 「-」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5

例 1: TV-05 の輝度を取得する場合。このコマンドは有効です。輝度の値は 67 です。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x62	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x72	0x62	0x30	0x36	0x37	0x0D

例 2: ディスプレイ (#05) からカラーを取得します。しかし、カラーコマンドは、このモデルによってサポートされていません。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x26	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x35	0x2D	0x0D

Get 関数表:

A. 基本機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲	コメント	
			タイプ(ASCII)	コード(ASCII) コード(16進)			
Get-Brightness	8		g	b	62	000 ~ 100	
Get-Backlight*3.2.0	8		a	B	42	000 ~ 100	1. メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2. 色校正から抽出されません。 *3.2.0
Get-Volume	8		g	f	66	000 ~ 100	
Get-Mute	8		g	g	67	000: Off(オフ) 001: オン(ミュートオン)	
Get-Input select	8		g	j	6A		1. 信号検出用の1番目のビット: 0は「信号なし」を表します。1は「信号が検出された」ことを表します。 2. 2番目および3番目のビット: Set-関数表を確認します
Get-Power ステータス: オン/スタンバイ	8		g	l	6C	001: オン 000: STBY	
Get-Remote control	S		g	n	6E	000: Disable (オフ) 001: Enable (オン) 002: パススルー	RCUモードのステータスを取得します
Get-Power lock	8		g	o	6F	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Button lock	8		g	p	70	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Menu lock	8		g	l	6C	000: ロック解除 001: ロック	
Get-ACK	8		g	z	7A	000	このコマンドは通信リンクのテストに使用します
Get-Thermal	8		g	0	30	0~+100 °C -1~-99 °C	
Get-Operation time*3.2.0	8		g	1	31	000	1. 6桁の整数(000,001~999,999)の累積時間*3.2.0 2. FW更新および工場出荷時初期化時にリセットできません*3.2.2 3. 新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-Device name	8		g	4	34	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-MAC address	8		g	5	35	000	(LAN対応モデルの場合) 新しい32バイト形式で応答します*3.2.0

Get-IP address *3.2.0	8		g	6	36	000	(LAN対応モデルの場合) 新しい32バイト形式で応答 します*3.2.0
Get-Serial number *3.2.0	8		g	7	37	000	新しい32バイト形式で応答 します*3.2.0
Get-FW version *3.2.0	8		g	8	38	000	新しい32バイト形式で応答 します*3.2.0

注意事項：

1. 動作時間取得の例

想定上の累積動作時間は 123,456 時間です

送信： 0x 38 30 31 67 31 30 30 30 0D (動作時間の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 31 31 32 33 34 35 36 00 00 … 00 00 0D

2. デバイス名取得の例

想定上のデバイス名は CDE-5500 です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 43 44 45 2D 35 35 30 30 00 00 … 00 00 0D

想定上のデバイス名は「NMP-302#1」です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 4E 4D 50 2D 33 30 32 23 31 00 00 …00 00 0D

3. MAC アドレス取得の例

想定上の MAC アドレスは 00:11:22:aa:bb:cc です

送信： 0x 38 30 31 67 35 30 30 30 0D (MAC アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 35 30 30 31 31 32 32 61 61 62 62 63 63 00 00…00 00
0D

4. IP アドレス取得の例

想定上の IP アドレスは 192.168.100.2 です

送信： 0x 38 30 31 67 36 30 30 30 0D (IP アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 36 31 39 32 2E 31 36 38 2E 31 30 30 2E 32 00 00…00 00
0D

5. シリアル番号取得の例

想定上のシリアル番号は ABC180212345 です

送信： 0x 38 30 31 67 37 30 30 30 0D (シリアル番号の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 37 41 42 43 31 38 30 32 31 32 33 34 35 00 00…00 00 0D

6. FW バージョン取得の例

想定上の FW バージョンは 3.02.001 です

送信: 0x 38 30 31 67 38 30 30 30 0D (FW バージョンの取得)

応答: 0x 32 30 31 72 38 33 2E 30 32 2E 30 30 31 00 00...00 00 0D

B. オプション機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲	コメント	
			タイプ(ASCII)	コード(ASCII)			
			タイプ(ASCII)	コード(ASCII)	コード(16進)	(3つのASCIIバイト)	
Get-Contrast	8		g	a	61	000 ~ 100	
Get-Sharpness	8		g	c	63	000 ~ 100	
Get-Color	8		g	d	64	000 ~ 100	
Get-Tint	8		g	e	65	000 ~ 100	
Get-Backlight On_ Off	8		g	h	68	000: Off (オフ) 001: On (オン)	
Get-PIP mode	8		g	t	74	000: オフ 001: PIP(POP) 002: PBP	
Get-PIP input	8		g	u	75		Set-input selectを参照
Get-Tiling Mode	8		g	v	76	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用)
Get-Tiling Compensation	8		g	w	77	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用) ベゼル幅補正
Get-Tiling H by V monitors	8		g	x	78	01x~09x: 水平モニター 0x1~0x9: 垂直モニター	(ビデオウォール用) 1. 水平モニター用の2番目の桁 2. 垂直モニター用の3番目の桁
Get-Tiling Position	8		g	y	79	000: オフ 001~025	(ビデオウォール用) 位置#の画面を識別されたディスプレイにコピー
Get-Date: 年	8		g	2	32	Y00~Y00	最後の2桁
Get-Date: 月	8		g	2	32	M00~M00	2桁
Get-Date: 日	8		g	2	32	D00~M00	2桁
Get-Time: 時間	8		g	3	33	H00~H00	24時間形式。2桁
Get-Time: 分	8		g	3	33	M00~M00	2桁
Get-Time: 秒	8		g	3	33	S00~S00	2桁

注意事項：

1. 日付取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在日付は次の通りです。

日付：2017-3/15

送信： 0x 38 30 31 67 32 59 30 30 0D (日付:年の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 59 31 37 0D (“Y17”)

送信： 0x 38 30 31 67 32 4D 30 30 0D (日付:月の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 4D 30 33 0D (“M03”)

送信： 0x 38 30 31 67 32 44 30 30 0D (日付:日の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 44 31 35 0D (“D15”)

2. 時刻取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在時刻は次の通りです。

時刻:

送信: 0x 38 30 31 67 33 48 30 30 0D (時刻:時間の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 48 31 36 0D (“H16”)

送信: 0x 38 30 31 67 33 4D 30 30 0D (時刻:分の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 4D 32 37 0D (“M27”)

送信: 0x 38 30 31 67 33 53 30 30 0D (時刻:秒の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 53 35 39 0D (“S59”)

3. RS232 バージョン取得の例

想定上のバージョンは 3.0.1 です

送信: 0x 38 30 31 67 36 30 30 30 0D (RS232 バージョンの取得)

応答: 0x 38 30 31 72 36 33 30 31 0D (“301”)

C. 自動応答 *3.2.1

リモコンユニット、フロントキー、タッチスクリーンなどの利用可能な方法を通して、次のデータ / ステータスが変更された場合、ディスプレイは、ホストに照会することなく、更新されたデータ / ステータスを自動的に送信します。

- 電源オン / オフ
- 入力選択
- 輝度
- バックライト
- 音量
- ミュートオン / オフ

リモコンパススルーモード

PC がディスプレイをリモコンパススルーモードに設定した場合、ディスプレイはリモコンユニット (RCU) ボタンの起動に応答し、7 バイトの packets (後に「CR」が続く) を送信します。このモードでは、リモコンはディスプレイ機能に影響を与えません。例: 「Volume +」はディスプレイの音量を変更せず、代わりに、RS-232 ポートを通して PC に「Volume +」コードを送信するのみとなります。

IR パススルー機能形式

応答: (コマンドタイプ=「p」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7

例 1: ディスプレイ (#5) に「VOL+」キーが押された場合のリモコンパススルー送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
Hex	0x36	0x30 0x35	0x70	0x31	0x30	0x0D

ボタン	コード (16 進)	基本 *3.1.1	オプション *3.1.1
1	01	V	
2	02	V	
3	03	V	
4	04	V	
5	05	V	
6	06	V	
7	07	V	
8	08	V	
9	09	V	
0	0A	V	
-	0B		V
リセット (前回)	0C		V
情報 (ディスプレイ)	0D		V
	0E		
縦横比 (ズーム、サイズ)	0F		V

音量アップ (+)	10	V	
音量ダウン (-)	11	V	
ミュート	12	V	
チャンネル / ページアップ (+)/ 輝度 +	13		V
チャンネル / ページダウン (-)/ 輝度 -	14		V
電源	15	V	
ソース(入力)	16	V	
	17		
	18		
スリープ	19		V
メニュー	1A	V	
上	1B	V	
下	1C	V	
左 (-)	1D	V	
右 (+)	1E	V	
OK (入力、設定)	1F	V	
終了	20	V	
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	2A		
	2B		
赤 ■ (F1)	2C		
緑 ■ (F2)	2D		
イエロー ■ (F3)	2E		
青 ■ (F4)	2F		

注意事項：

1. この IR パススルーコードは RCU キーコードとは異なります。
2. IR パススルーモード時の、電源キー用の特殊な制御シーケンス。
 - 2-1. ディ스플레이がオフになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイの電源が自動的に入り、その後 RS-232 を通して電源コードをホストに転送します。
 - 2-2. ディ스플레이がオンになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイは RS-232 を通して電源コードをホストに転送し、その後自動的にオフになります。
 - 2-3. SET-POWER LOCK がオンになっている場合、ディスプレイは電源キーを押す動作に反応しません。
3. キーを長押しすると、音量アップと音量ダウンのコードが繰り返し出力されます。

> 付録

仕様

項目	区分	仕様		
モデル	P/N	IFP5550-3 IFP5550-3A IFP5550-3B	IFP6550-3 IFP6550-3A IFP6550-3B	IFP7550-3 IFP7550-3A IFP7550-3B
	番号	VS18105	VS18106	VS17117
スクリーンサイズ		54.6"	65.5"	74.5"
入力信号		3 x HDMI 1 x VGA 1 x オーディオ入力 1 x LAN (RJ45) 4 x USB Type A (3.0) 3 x USB Type A (2.0)		
出力信号		1 x HDMI 1 x オーディオ出力 1 x SPDIF 2 x USB タイプ B		
スピーカー出力		10W x 2、15W サブウーファー x 1		
RS-232		RS-232 通信		
電源	電圧	100V-240V AC 50/60Hz		
動作環境	気温	32° F ~ 104° F (0° C ~ 40° C)		
	湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)		
	高度	≤ 2,000 m		
保管環境	気温	-4° F ~ 140° F (-20° C ~ 60° C)		
	湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)		
	高度	≤ 2,000 m		
寸法	寸法 (mm)	1268 x 773 x 85	1488 x 897 x 90	1710 x 1020 x 90
重量	重量 (kg)	26.4	40.5	53.9
消費電力	オン (標準)	80W	108W	138W
	オフ (待機時)	<0.5W	<0.5W	<0.5W

注意事項： 国や地域によって、規格が異なる場合があります。

ディスプレイモード

VGA (D-SUB) モード

Resolution (解像度)	リフレッシュレート (@)
640 x 480	60Hz、72Hz、75Hz
720 x 400	70Hz
800 x 600	56Hz、60Hz、72Hz、75Hz
832 x 624	75Hz
1024 x 768	60Hz、70Hz、75Hz
1152 x 864	60Hz、75Hz
1152 x 870	75Hz
1280 x 768	60Hz、75Hz
1280 x 960	60Hz
1280 x 1024	60Hz、75Hz
1360 x 768	60Hz
1366 x 768	60Hz
1400 x 1050	60Hz、75Hz
1440 x 900	60Hz、75Hz
1600 x 1200	60Hz
1680 x 1050	60Hz
1920 x 1080	60Hz
1920 x 1200	60Hz

HDMI モード

Resolution (解像度)	リフレッシュレート (@)
640 x 480	60Hz、72Hz
720 x 400	70Hz
800 x 600	60Hz、72Hz
1024x768	60Hz、70Hz、75Hz
1280x800	60Hz
1280x1024	60Hz
1360x768	60Hz
1440x900	60Hz
1680x1050	60Hz
1920x1080	60Hz
3840x2160	30Hz、60Hz
480i	60Hz
480p	59Hz、60Hz
576i	50Hz
576p	50Hz
720p	50Hz、60Hz
1080i	50Hz、60Hz
1080p	50Hz、60Hz

トラブルシューティング

本章では、ViewBoard を使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイのリモコンレシーバーを妨害している物がないかどうかを確認してください。2. リモコンの電池が正しく取り付けられていることを確認してください。3. 電池を交換する必要があるかどうかを確認してください。
ユニットが予期せずオフになります	<ol style="list-style-type: none">1. スリープモードが有効になっているかどうかを確認してください。2. お住まいの地域で停電が発生していないかどうかを確認してください。3. ディスプレイをオンにして、信号および制御システムに問題があるかどうかを確認してください。

PC モード

問題	解決策
PC 信号がありません	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイの設定を確認してください。2. ディスプレイの解像度を確認してください。3. OSD メニューを使用して、水平および垂直 (同期) 設定を調整してください。
背景に縞模様が表示されます	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. 色と位相を調整してください。
間違った色が表示されます	<ol style="list-style-type: none">1. VGA (D-SUB) 接続を確認してください。2. 彩度、明るさおよびコントラストの設定を調整してください。
サポートされない形式です	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. クロックと位相の設定を調整してください。

タッチ機能

問題	解決策
タッチ機能が動作しません	<ol style="list-style-type: none">1. ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。2. ドライバーを再インストールしてください。3. 設定を確認し調整してください。4. タッチペンが適切に動作しているかどうかを確認してください。

ビデオが正常に動作しません

問題	解決策
映像 / 音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 電源の状態を確認してください。2. 入力ケーブルを確認してください。3. スロットイン PC が正しくインストールされていることを確認してください。
画像が不明瞭であるか、切り取られています	<ol style="list-style-type: none">1. 入力ケーブルを確認してください。2. 他の電子機器が信号を遮断していないか同課を確認してください。
映像が正しく表示されません	<ol style="list-style-type: none">1. メニューで彩度、明るさおよびコントラストの設定を調整してください。2. 信号ケーブルを確認してください。

オーディオ正常に動作しません

問題	解決策
音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 消音 / 消音解除ボタンを押してください。2. 音量を調整してください。3. オーディオケーブルを確認してください。
1 台のスピーカーのみから出力されます	<ol style="list-style-type: none">1. メニューでサウンドバランスを調整してください。2. PC のサウンド操作パネルの設定を確認してください。3. オーディオケーブルを確認してください。 <p>注意事項： SPDIF とオーディオ出力は、組込 Player、HDMI、および DisplayPort 入力でのみ機能します。</p>

メンテナンス

お手入れの際の注意

- デバイスのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- 暗い色のデバイスは、擦り傷があると、明るい色のデバイスよりもはっきりと跡が残る可能性があるため、デバイスの取り扱いには注意してください。
- 本製品は、24 時間連続使用を前提として設計されておりません。部品の消耗を加速させる原因や帯電による不具合の原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。
連続使用は 1 日最大約 8 時間が推奨となります。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついていている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、デバイスの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

注意事項： ガラスとパネルの間に結露が発生した場合は、湿気がなくなるまでディスプレイをオンにしてください。

> 規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC 規則パート 15 に従って試験され、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があります。指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

警告： コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

欧州諸国の CE 適合

CE 本装置は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠しています。

次の情報は、EU 加盟国のみにも適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要がありますを示しています。



RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令 2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2 指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます。

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 ⁺)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2- エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記の RoHS2 指令の附属書 III の下で免除されています。

- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。
- 定格電圧 125V AC または 250V DC 以上の場合のコンデンサの誘電体セラミック内の鉛。

ENERGY STAR® に関する声明

ENERGYSTAR® は、米国環境保護庁の自主的なプログラムです、企業や個人が優れたエネルギー効率を通じて、お金を節約し、気候を保護できるようにすることを目指しています。温室効果ガスの排出を防ぐために、米国環境保護庁によって設定された厳格なエネルギー効率基準または要件を満たすことにより、製品に ENERGYSTAR® が与えられます。

ViewSonic は、ENERGYSTAR® パートナーとして、ENERGYSTAR® ガイドラインを満たし、すべての認定モデルに ENERGYSTAR® ロゴを付けることを決定しています。次のロゴは、すべての ENERGYSTAR® 認定モデルに表示されます。



注意事項： 電源管理機能により、製品を使用していないときのエネルギー消費量が大幅に削減されます。電源管理により、デバイスは、定義された非アクティブ期間の後に、自動的に低電力の「スリープ」モードに移行します。また、電源管理機能により、ホストコンピュータから切断されてから 5 分後にスリープモードまたはオフモードになります。エネルギー設定を変更すると、エネルギー消費量が増えることに注意してください。

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2020.All right reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社 Apple Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporation は本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項:

ViewSonic® Corporation は、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporation は製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporation から事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては、
下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.viewsonic.com/jp/support>

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、
下記ウェブサイトからお送りください。

<https://www.viewsonic.com/jp/contact/>



ViewSonic®